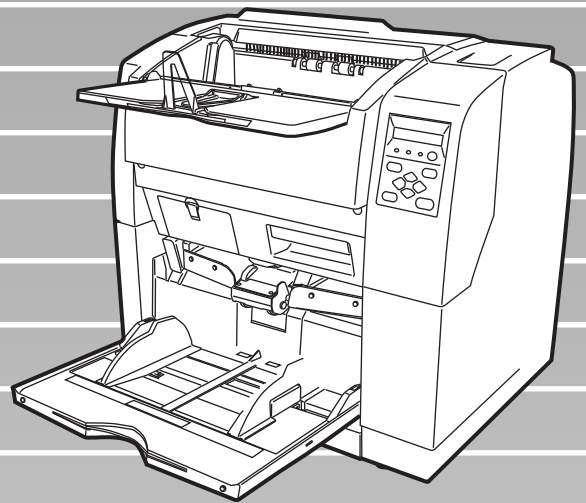


P3PC-1692-02Z0

fi-4860C2 イメージスキャナ オペレーターガイド



FUJITSU

はじめに

このたびは、fi-4860C2 両面カラーレスキヤナ装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
fi-4860C2 は、多様な原稿を大量に読み取ることのできるスキヤナ装置です。
fi-4860C2 には、次のような特長があります。

■ **高速読み取り可能、特にカラー読み取りが速い！**

A4 サイズの原稿を、両面カラー 60 枚 / 分のスピードで読み取ります。

■ **原稿のサイズや厚さ、紙質などの制限が少ない！**

■ **一度に大量の原稿を読み取れます！**

大容量ホッパを標準装備していますので、一度に 500 枚の原稿を読み取ることができます。

本書の構成

このマニュアルは、以下のような構成になっています。

1. **スキヤナの基本的な操作方法**

スキヤナの基本的な操作方法、および基本的な原稿の読み取り方法について説明しています。

2. **いろいろな読み取り方法について**

いろいろな原稿の読み取り方法について説明しています。

3. **日常のお手入れ**

スキヤナの清掃方法について説明しています。

4. **消耗品の交換**

消耗品の交換方法について説明しています。

5. **困ったときには**

原稿詰まりの処理方法、およびトラブルの対処方法について説明しています。

6. 原稿について

本装置で利用できる原稿について説明しています。

7. 各種モードについて

セットアップモードおよびテストモードについて説明しています。

8. オプションについて

本装置のオプションについて説明しています。

9. スキャナの仕様

fi-4860C2 両面カラーレスキャナの仕様について説明しています。

また、本装置にはインストレーションガイドが添付されています。
スキャナ導入時に必要な情報が書かれています。あわせてご一読ください。
インストレーションガイドは以下のような構成になっています。

1. お使いになる前に

本体と付属品、およびスキャナの各部の名称について説明しています。

2. スキャナの設置と接続

スキャナの設置の仕方、ケーブルの接続の仕方、および、ソフトウェアのインストールについて説明します。

本書が fi-4860C2 両面カラーレスキャナを活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

電源高調波抑制について

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引き取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へお問い合わせをお願いします。
- 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-B

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。
本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。
本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。
本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「環境活動」をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>



いつも地球を見守っている

紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキヤナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。

刑法 第148条、第149条、第162条、
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条
等

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ISIS, QuickScan およびそれぞれのロゴは、EMC Corporation の米国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 95 : Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版

Windows 98 : Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版

Windows Me : Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版

Windows NT 4.0 : Microsoft® Windows NT® Server operating system Version4.0 日本語版

Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version4.0 日本語版

Windows 2000 : Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版

Windows XP : Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、

Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

製造・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）

TEL:044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright© 株式会社 PFU 2006

■ 本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

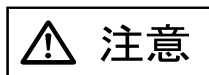
本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えらるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に記載している画面は、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ、FUJITSU ISIS スキャナドライバ、およびイメージキャプチャリングソフトウェア ScandAll 21、QuickScan™ および Adobe® Acrobat® のものです。

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身でおこなわないでください。

製品をお求めになった販売店、あるいは PFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。

■ 安全上のご注意



本書中に記載されている重要な警告事項は以下のとおりです。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

また、たこ足配線をしないでください。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しますと、火災や感電の原因となることがあります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを押して電源を切り、その後、必ず電源をコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店またはPFU イメージングサービス & サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFU イメージングサービス & サポートセンターにご連絡ください。

内部に水や異物を入れない



開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源をコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

本装置は日本国内専用です



本装置は日本国内専用です。海外で使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

注意

本書中に記載されている注意事項は以下のとおりです。

装置を不安定なところに置かない



スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動が少なく、装置が傾かない平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

通気口をふさがない



通気口をふさぎますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

エアスプレーを使用しない



清掃などの目的でエアスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。

歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まないようにする



歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まないようにしてください。けがの原因となることがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

装置をひとりで持たない



装置を動かすときは決してひとりで行わないでください。

目次

1	基本的な操作方法	1
	電源の投入と切断	2
	省電力モードからの復帰	5
	操作パネルの基本操作	6
	ホッパのセット	14
	スタッカーのセット	15
	スタッカーエクステンションのセット	17
	ホッパへの原稿のセット	18
	手挿入での原稿のセット	21
	原稿の読み取り方法	23
	スキャナドライバの使い方	27
2	いろいろな読み取り方法	45
	幅の違う原稿の読み取り	46
	読み取った画像を PDF 形式で保存	47
	色情報を除いて読み取り (ドロップアウトカラー)	53
	空白ページをスキップして読み取り	55
	ダブルフィード (マルチフィード) の検出	57
	原稿の傾きを自動で補正するとき	59
3	日常のお手入れ	61
	清掃用品および清掃が必要な場所	62
	パッドの清掃	65
	各種ローラの清掃	68
	搬送路の清掃	81
	除電ブラシの清掃	83
	ガラス面の清掃	87
	センサーの清掃	93
	ランプの清掃	99
4	消耗品の交換	107
	消耗品の番号と交換周期	108
	消耗品カウンタ値の確認方法	109
	パッドユニットの交換	110
	ピックローラユニットの交換	114
	ブレーキローラユニットの交換	116

表面ランプの交換	119
裏面ランプの交換	124
5 困ったときには	127
原稿づまりが発生したときは	128
困ったときには	133
サービスセンターに連絡する前に	154
装置ラベルの確認	156
6 原稿について	157
原稿のサイズ	158
原稿の紙質	159
穴をあけてはいけない領域	162
印字禁止領域	163
背景色の領域の制限	164
ジョブ区切りシート	165
ホッパにセットできる原稿の枚数	166
7 各種モードについて	167
セットアップモードの概要	168
セットアップモードの設定内容	175
セットアップモードの詳細	182
テストモードの概要	232
テストモードの詳細	238
8 オプションについて	251
本装置のオプション	252
fi-486PRFR（プレインプリンタ）に ついて	253
fi-486PRRE（ポストインプリンタ）について	254
fi-486TRK（薄紙キット）について	255
9 スキャナの仕様	257
装置基本仕様	258
設置諸元	260
外形寸法	262

付録 1	ドロップアウトカラー	AP-1
付録 2	ダブルフィード（マルチフィード）の検出条件	AP-2
付録 3	操作パネルのメッセージ	AP-5
	修理・お問い合わせについて	RM-1
索引	IN-1

1 基本的な操作方法

この章では、スキャナの基本的な操作について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。お使いの OS によって表示される画面、および操作が多少異なります。また、FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバ、FUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章に記載している画面、および操作が多少異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

1.1 電源の投入と切断	2
1.2 省電力モードからの復帰	5
1.3 操作パネルの基本操作	6
1.4 ホッパのセット	14
1.5 スタッカークのセット	15
1.6 スタッカークエクステンションのセット	17
1.7 ホッパへの原稿のセット	18
1.8 手挿入での原稿のセット	21
1.9 原稿の読み取り方法	23
1.10 スキャナドライバの使い方	27

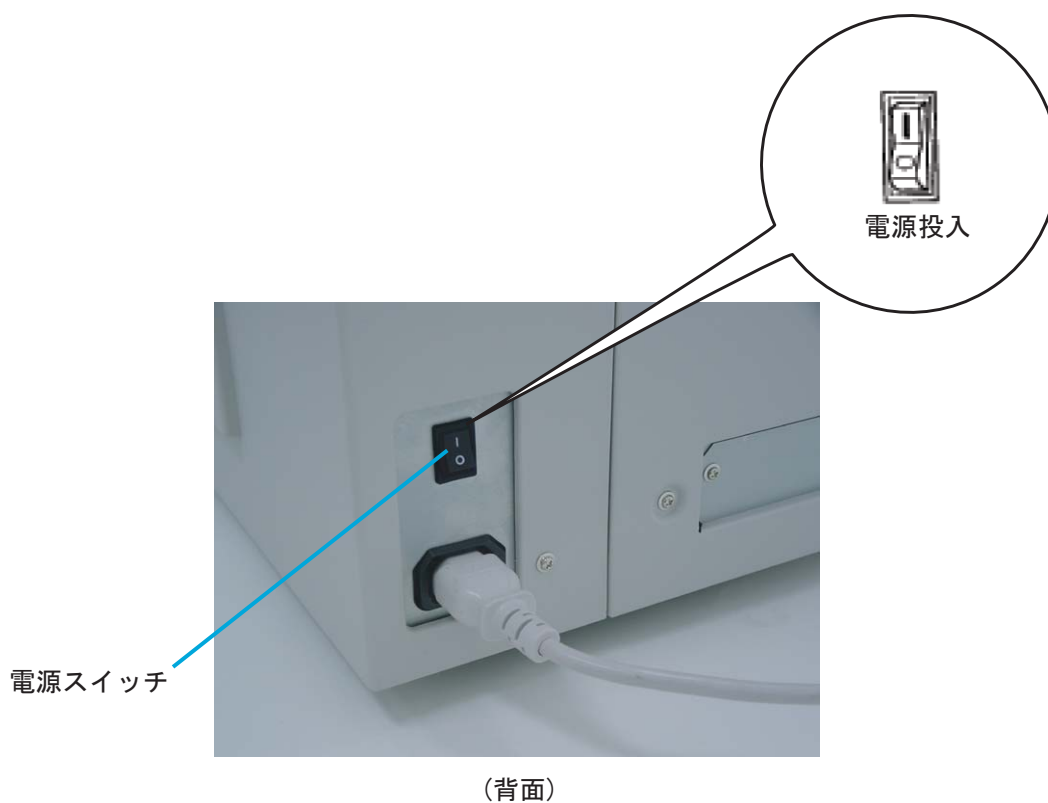
1.1 電源の投入と切断

■ 電源の投入方法



先にスキャナの電源を入れて、LCD の表示が [レディ] になったことを確認してから、パソコンの電源を入れてください。

1. スキャナの背面にある電源スイッチの [I] 側を押します。



2. 操作パネルの電源ボタンを押します。

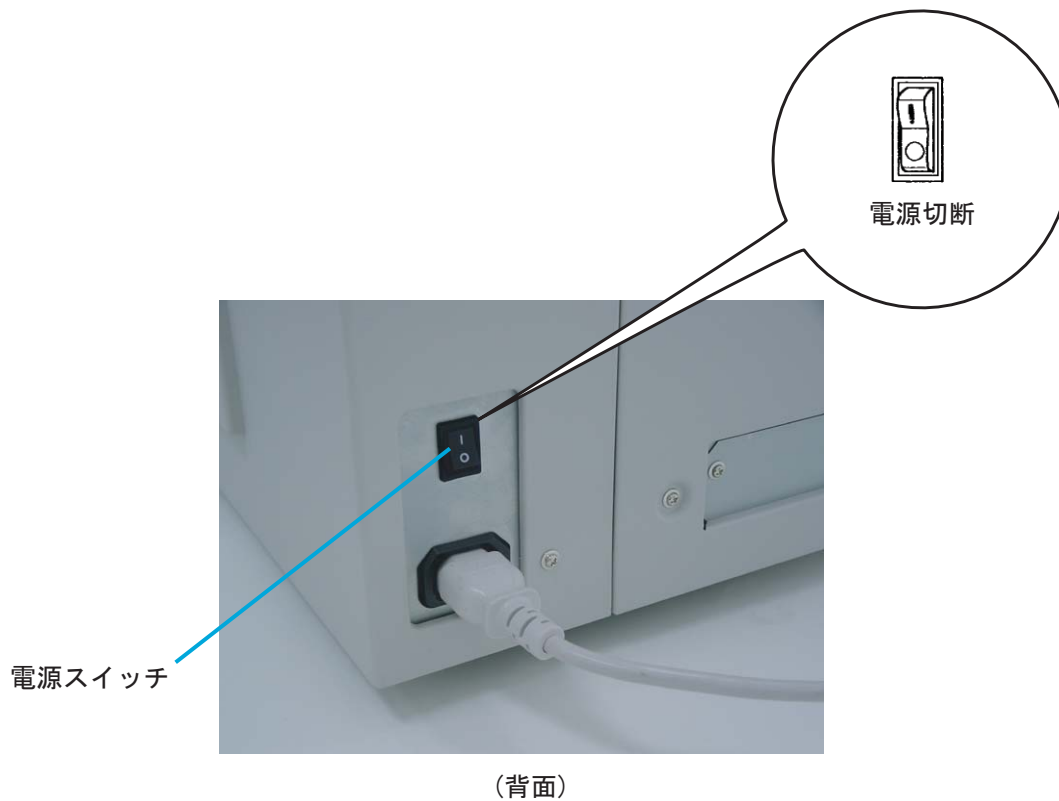
電源が投入され、操作パネルの緑色の LED ランプが点灯します。

操作パネルの LCD の表示が [レディ] になれば、レディ状態です。



■ 電源の切断方法

1. 操作パネルの電源ボタンを2秒以上押します。
2. スキャナの背面にある電源スイッチの〔O〕側を押します。



1.2 省電力モードからの復帰

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナの使用電力を省電力状態に保つことです。スキャナの電源を投入したままで15分（出荷時設定の場合）以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わると、操作パネルのLCD表示が非表示状態になります。操作パネルの緑色のLEDランプは点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のいずれかの操作を行います。

- ・ ホッパに原稿をセットする
- ・ 操作パネル（電源ボタン以外）のボタンを押す
なお、電源ボタンは2秒以上押しつづけると、電源が切れます。
- ・ パソコンのスキャナドライバの画面から任意のコマンドを実行する

1.3 操作パネルの基本操作

この基本操作の中には、セットアップモードおよびテストモードへの入りかたも含まれています。

■ エラーのクリア

エラーが発生すると、[Check] LED が点滅し、LCD にエラーメッセージが表示されます。たとえば、以下のようなメッセージが表示されます。

タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` エ ラ ー

エラーを解除するには、**Stop** ボタンを押します。



まって!

初期診断エラーは解除できません。

■ ホッパの上げ下げ

スキャナにアラームがない（[Check] LED が点灯していない）状態のときにホッパの位置を移動することができます。



注意

ホッパの昇降を調節する際、ホッパに触ったりホッパに物をおいて、指をはさまれないようにしてください。

この機構の中に物がはさまれると、スキャナが損傷することがあります。

ホッパの昇降を調節する際、下に物や手を置かないでください。

この機能は以下の条件の時には利用できません。

- ・ [Read] LED が点灯している
- ・ 読み取り動作をしている
- ・ テストモードの状態（ソウコウテスト1 およびソウコウテスト2 を除く）
- ・ セットアップモードの状態

(1) 通常モード時

ホッパは現在の位置によって、以下の動作をおこないます。

1. ボトム位置（一番下の位置）にある場合
250 枚ホッパ位置に移動します。
2. 250 枚ホッパ位置にある場合
ボトム位置に移動します。
3. トップ位置（一番上の位置）にある場合
前回読み取りしたホッパ位置に移動します。

ホッパを移動させるためには [Exit] ボタン 2 秒以上押します。



電源投入直後は、ボトム位置に設定されます。

(2) テストモード時（ソウコウテスト1 およびソウコウテスト2）
ホッパは現在の位置によって、以下の動作をおこないます。

1. ボトム位置（一番下の位置）にある場合
250枚ホッパ位置に移動します。
2. 250枚ホッパ位置にある場合
ボトム位置に移動します。
3. トップ位置（一番上の位置）にある場合
前回読み取りしたホッパ位置に移動します。

ホッパを移動させるためには◇（下方向ボタン）を押します。



まって!

◇（上方向ボタン）は無効です。



ヒント

電源投入直後は、ボトム位置に設定されます。

■ 消耗品交換メッセージのクリア

本装置には、消耗部品の寿命を見積もる消耗品カウンタがあります。本カウンタが規定値になると、LCDに消耗品の交換時期がきたことを知らせるメッセージが表示されます。たとえば、以下のようなメッセージが表示されます。

シ ョ ウ モ ウ ヒ ン チ ェ ッ ク

セットアップモードに入り（詳細は「7章：各種モードについて」（167ページ）を参照してください）

LCDに下記の画面が出てくるまで◁（下方向ボタン）を押します。

！ 0 9 シ ョ ウ モ ウ ヒ ン カ ウ ン タ
ヒ ° ッ ク / フ ° レ ー キ / ハ ° ッ ト °

この画面から消耗品カウンタ（ピックアップローラ、ブレーキローラまたはパッドユニット）を選択し「リセット」します。リセット方法については「7.3 セットアップモードの詳細」（182ページ）を参照してください。

■ セットアップモードおよびテストモードの使用

本装置には、ユーザーが各種設定を変更できるセットアップモードおよびオフラインでの動作チェックを行うテストモードがあります。

セットアップモードはレディ状態で設定できるモード（オンラインセットアップモード）とオフライン時にしか設定できないモード（オフラインセットアップモード）にわかれます。この2つの方法では使用可能な機能が異なっています。詳細については「7章：各種モードについて」（167 ページ）を参照してください。

これらのモードに入るには、以下の手順にしたがってください。

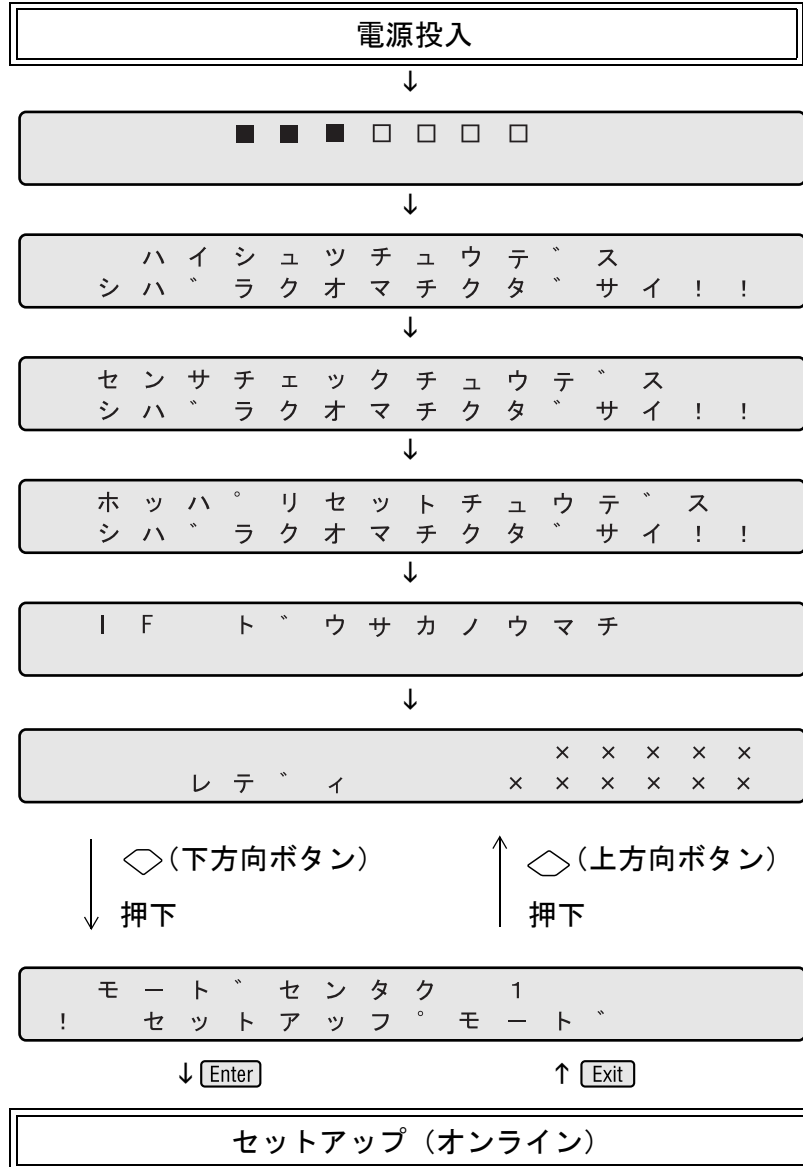
・オンラインセットアップモード

LCD に [レディ] が表示されている画面において ◁ (下方向ボタン) を 1 回押します。

以下のメッセージが表示されます。

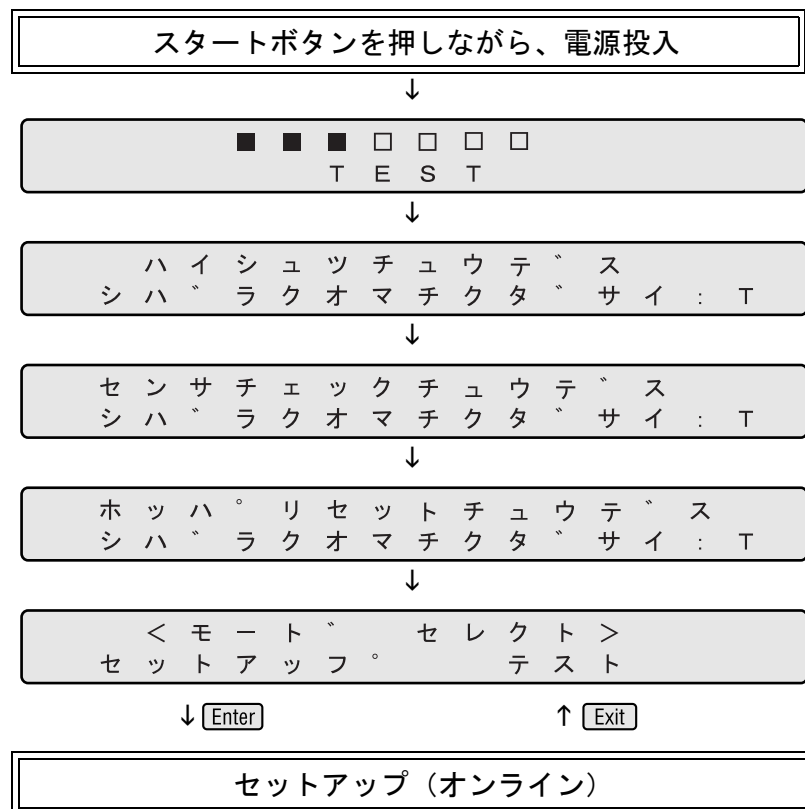
A rectangular box representing the LCD display. The text inside is arranged in two lines: the first line contains "モート ` センタク 1" and the second line contains "! セットアップ ` モート `". The characters are spaced out and include backticks and apostrophes.

Enter ボタンを押すと、オンラインセットアップモードに入ります。



・オフラインセットアップモードおよびテストモード

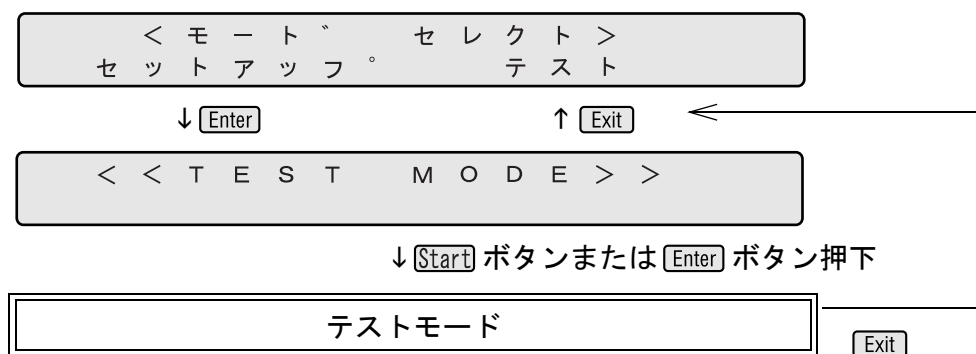
[Start] ボタンを押しながら、電源を投入します。



- ・セットアップモードに入るには、[<モードセレクト>] の画面で◀ (左方向ボタン) または▶ (右方向ボタン) を押して [セットアップ] を選択してから [Enter] ボタンを押します。

このモードを終了するには、電源を切断します。

- ・テストモードに入るには [<モードセレクト>] の画面で ◀ (左方向ボタン) または ▶ (右方向ボタン) を押して [テスト] を選択してから [Enter] ボタンを押します。操作パネルの遷移図は以下を参照してください。



このモードを終了するには、電源を切断します。

1.4 ホッパのセット

1. 青い部分を持ってホッパを開きます。



1.5 スタッカートのセット

1. スタッカートを開きます。





スタッカーを格納するときは折りたたむ部分を
手前に引き出して隙間を作ってから、折りたた
んでください。



1.6 スタッカーエクステンションのセット

1. スタッカーエクステンションの青い部分の中央を持って引き出します。

ストッパ



スタッカーエクステンション



ストッパを持ってスタッカーエクステンションを引き出さないでください。ストッパが破損する場合があります。

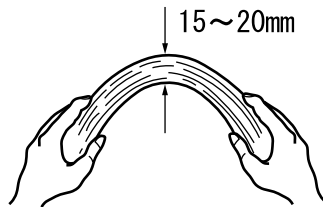
1.7 ホツパへの原稿のセット

1. 原稿をそろえます。

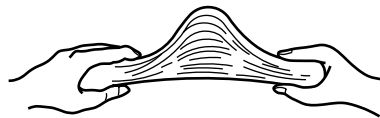
- 1) セットする原稿の両端をそろえます。

2. 原稿をさばきます。

- 1) 原稿を 15mm ~ 20mm 程度の厚みで取り出します。
- 2) 両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。



- 3) 原稿の両端にできた傾斜が元にもどらないように、両手で原稿を強くつかみ、湾曲を元に戻します。



- 4) 操作 1) ~ 操作 3) の動作を 2 ~ 3 回繰り返します。
- 5) 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

3. ホッパに原稿をセットします。

読み取り面が上側になるように、原稿をセットします。



ホッパ

4. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

ロックレバーを押しながらサイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

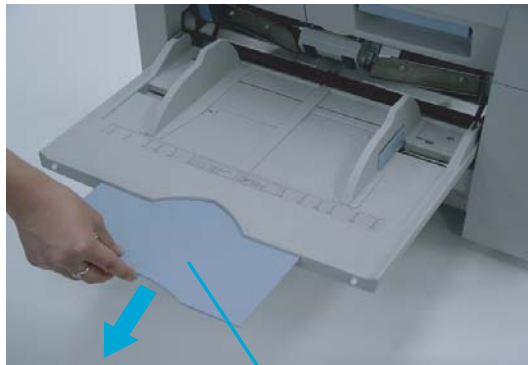
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



サイドガイド



- ・原稿はサイドガイド内側のラインマークより下にセットしてください。
- ・長い原稿をセットするときはホッパエクステンションを引き延ばして使用してください。



ホッパエクステンション

- ・幅の異なる原稿を混ぜてセットしないでください。

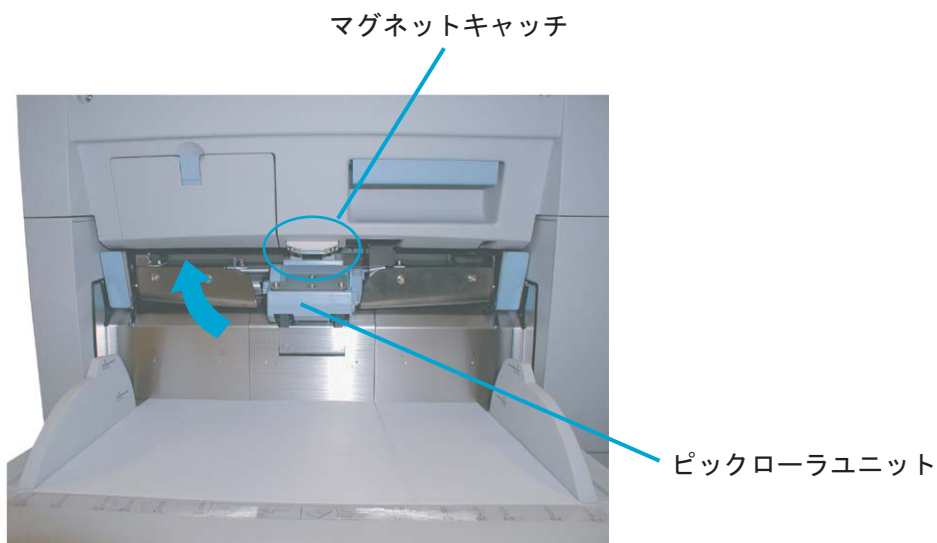
5. スキャナを使うことができるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。

“ScandAll 21”からの読み取り手順については「1.9 原稿の読み取り方法」(23 ページ)を参照してください。

1.8 手挿入での原稿のセット

以下に、手挿入で原稿をセットする手順を示します。

1. マグネットキャッチに付くまでピックアップユニットを上げると、ホッパが給紙位置まで上がります。



ホッパが上がる時に、指や異物をはさんだりしないように注意してください。

2. 読み取り面が上になるように原稿をホッパにセットします。



手挿入でセットする場合のタイムアウトの設定については「7章：各種モードについて」（167 ページ）を参照してください。

3. サイドガイドを原稿の幅に合わせ、1 番上の原稿の先端がガイドプレートに軽く当たるまで差し込みます。



ホッパ

1.9 原稿の読み取り方法

以下に、ScandAll 21 からの原稿の読み取り手順を示します。

1. スキャナのホッパに、原稿をセットします。

原稿のセット方法については、本章の「1.7 ホッパへの原稿のセット」（18 ページ）を参照してください。

2. スタッカーを原稿のサイズに合わせて調整します。



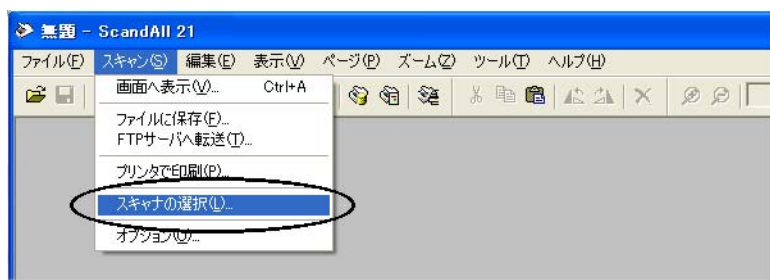
- ・長い原稿をホッパにセットする時はスタッカーエクステンションを引きのばしてください。
- ・小さい原稿をホッパにセットした時はストッパで長さの調整をしてください。

3. ScandAll 21 を起動します。

[スタート] メニューから [プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] の順に選択します。ScandAll 21 が起動されます。

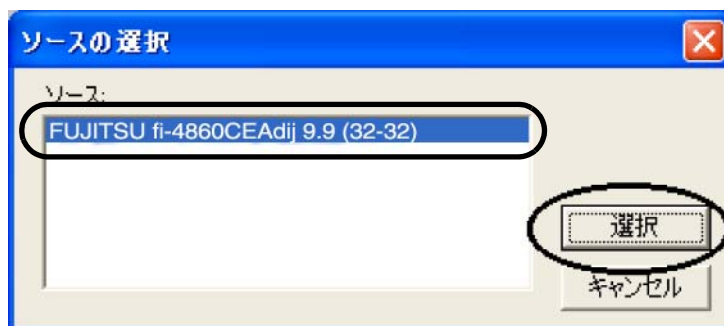
4. 使用するスキャナを指定します。

[スキャン] メニューから [スキャナの選択] を選択します。

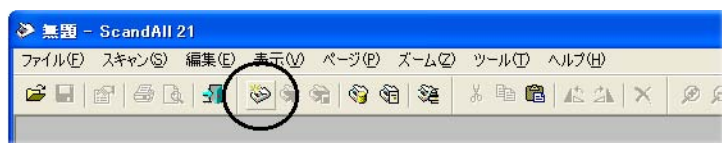


[ソース選択] ダイアログボックスが表示されます。

[FUJITSU fi-4860CEAdj] (Windows NT 4.0 の場合は [FUJITSU TWAIN 32]) を選択して、[選択] ボタンをクリックします。

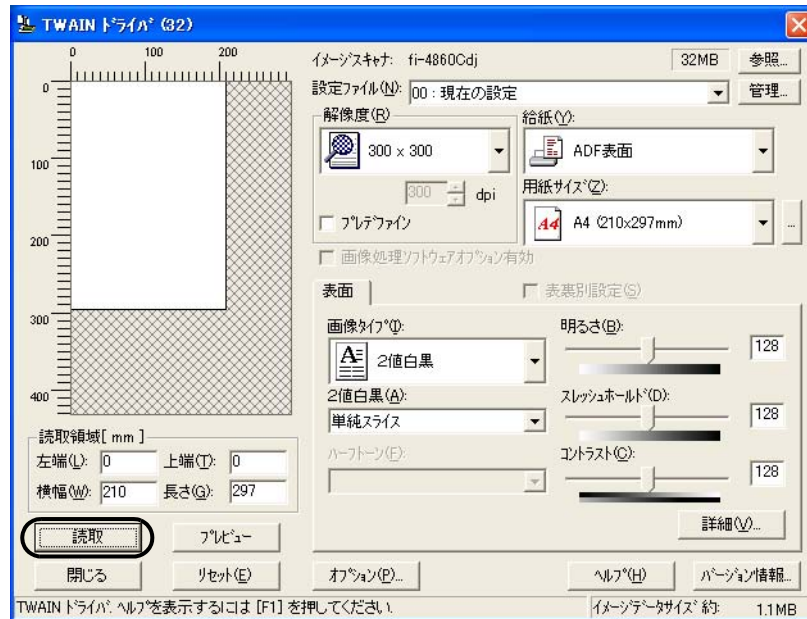


5. ツールバーの [スキャン - 画面へ表示] ボタンをクリックします。

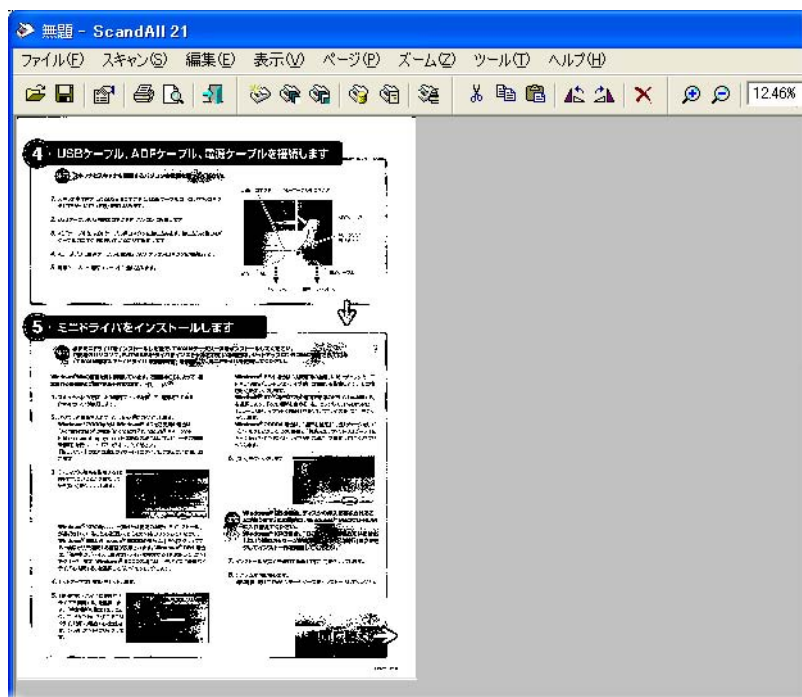


[TWAIN ドライバ] ダイアログボックス (読み取り条件を設定する画面) が表示されます。

6. 読み取り解像度や原稿サイズなどを設定して、[読取] ボタンをクリックします。
[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定については、スキャナドライバCD-ROMに格納されている[FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバ取扱説明書]を参照してください。



原稿が読み取られ、ScandAll 21 の画面にイメージが表示されます。



これ以外のいろいろな読み取り操作については「2章：いろいろな読み取り方法」（45ページ）を参照してください。

ScandAll 21 の機能・操作については [ScandAll 21 ヘルプ] を参照してください。

1.10 スキャナドライバの使い方

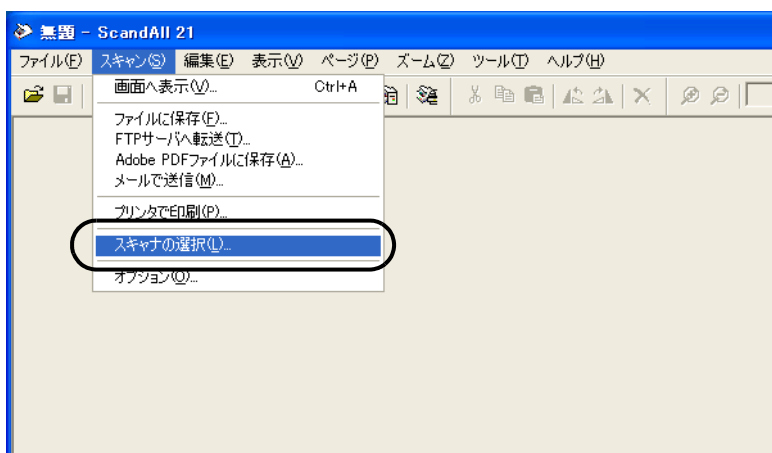
■ FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ

FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバは、TWAIN 規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うためのドライバソフトウェアです。

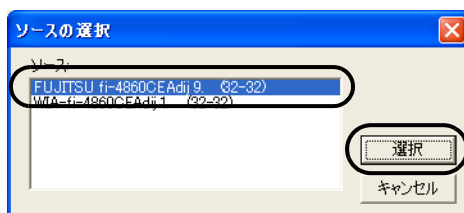
以下に、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバを使用した一般的な読み取り手順について説明します。ここでは、「ScandAll 21」を用いて説明します。

1. 基本的な読み取り手順

- 1) アプリケーションを起動します。
[スタート] メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] を選択します。
- 2) スキャナ選択画面を表示して、使用するスキャナ名を指定します。
[スキャン] メニューの [スキャナの選択] を選択します。



- 3) 使用するスキャナを指定します。



- FUJITSU TWAIN32 V9 の場合 : 「FUJITSU fi-4860Cdj」
 - FUJITSU TWAIN32 V8 の場合 : 「FUJITSU TWAIN32」
- を選択して、[選択] ボタンをクリックします。

4) スキャナに原稿をセットします。

原稿のセット方法の詳細については、「1.7 ホッパへの原稿のセット」(18 ページ)を参照してください。

5) FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ画面を起動します。

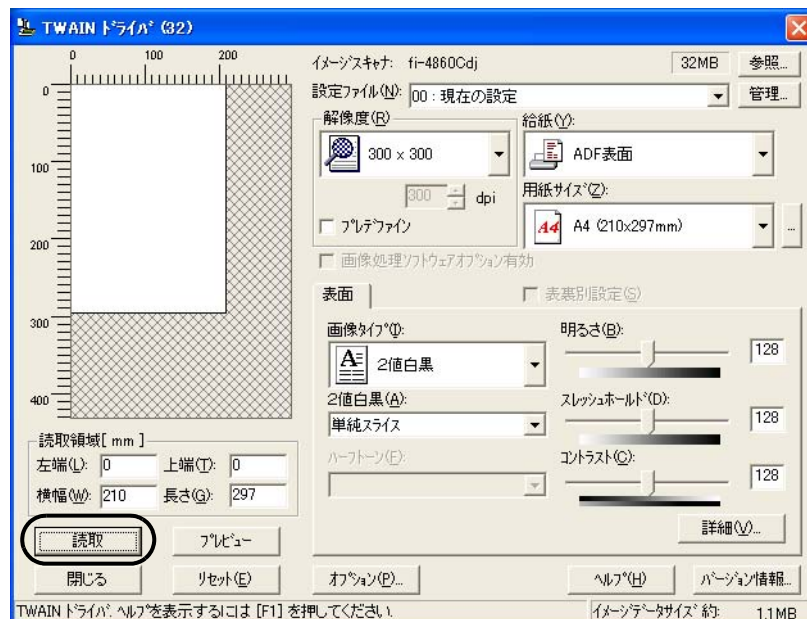
[スキャン] メニューの「画面に表示」を選択します。

ScandAll 21 では、以下のような読み取り方法があります。

- 「画面へ表示」：読み取った画像を画面に表示します。
- 「ファイルに保存」：読み取った画像をファイル (*.BMP, *.TIF, *.JPG) に保存します。
- 「FTP サーバへ転送」：読み取った画像を FTP サーバに転送します。
- 「Acrobat PDF ファイルに保存」：読み取った画像を PDF ファイルにして保存します。
(※あらかじめ、Adobe Acrobat をインストールしておく必要があります。)
- 「Microsoft Share Point Portal Server へ転送」：
読み取った画像を Microsoft Share Point Portal Server に転送します。
- 「メールで転送」：読み取った画像を添付ファイルとして、メールソフトウェアを起動します。

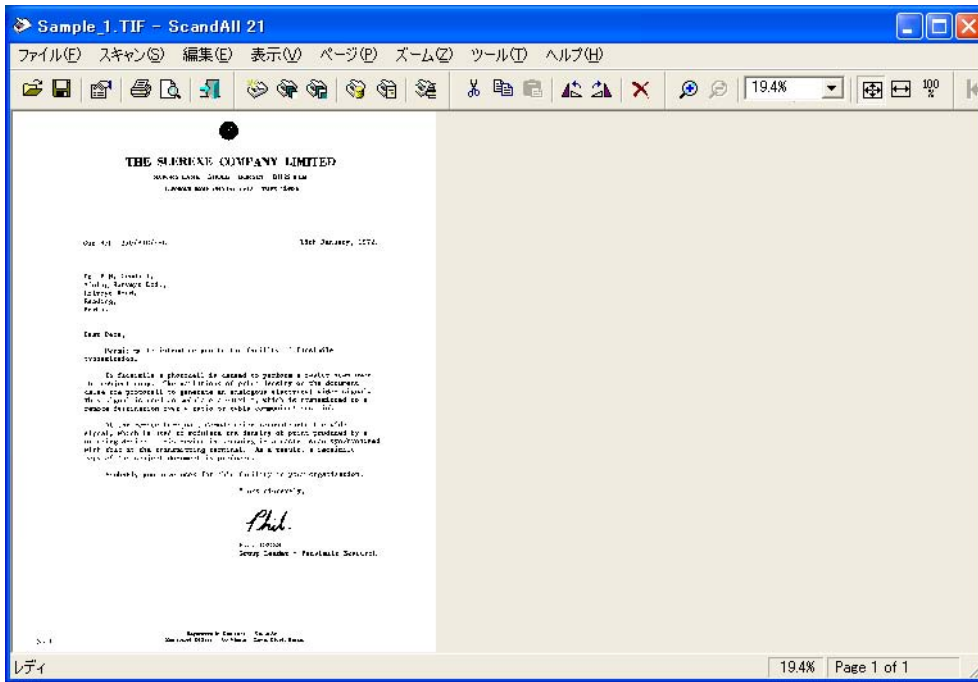
詳細は、「ScandAll 21 ヘルプ」を参照してください。

6) 読み取り条件を設定して、[読取] ボタンをクリックします。



この画面で設定できる内容については、「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバの設定」(30 ページ)を参照してください。

⇒ 原稿が読み取られ、ScandAll 21 の画面にイメージが表示されます。

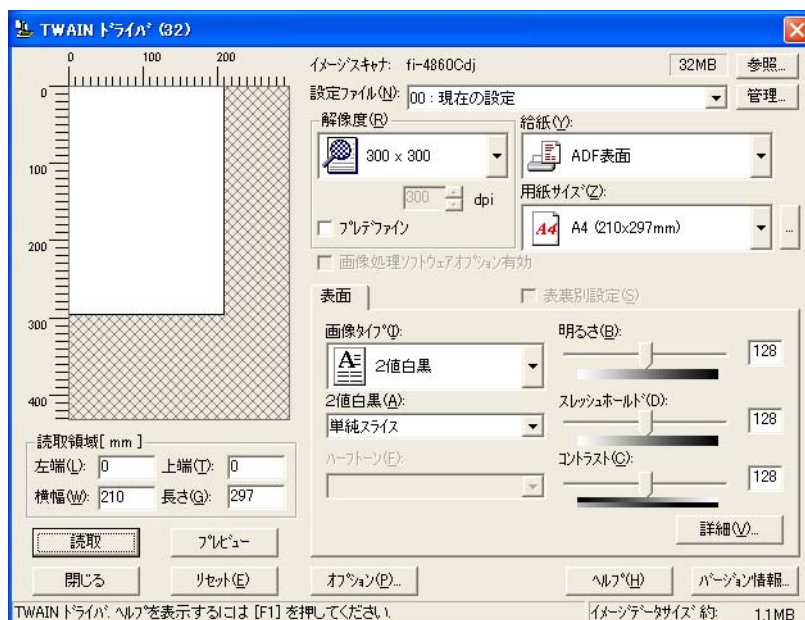


アプリケーションの設定によっては、画像が表示されない場合があります。詳しくは、ご使用のアプリケーションの取扱説明書または、ヘルプを参照してください。例) ScandAll 21 の場合、「ファイルに保存」で読み取りを行うと、読み取った画像は画面には表示されません。

- 7) 読み取った画像を保存します。
[ファイル] メニューの「名前をつけて保存 ...」を選択して、読み取った画像をファイルに保存します。

続けて新しい読み取りを行う場合は、手順 4 に戻ってください。
- 8) アプリケーションを終了します。
[ファイル] メニューの「終了」を選択します。

2. FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバの設定



FUJITSU TWAIN ドライバの設定は、この画面で行います。

以下に、代表的な設定項目について説明します。

- 各機能の詳細については、「TWAIN ドライバ ヘルプ」を参照してください。
（[ヘルプ] ボタン、または [F1] ボタンを押すと表示されます。）
- お使いのスキャナ装置の機種によって、設定できる項目や、設定範囲が異なります。

解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。

定型（リストから選択）およびカスタム指定（1dpi 刻みで、任意の解像度を指定）ができます。

また、「プレデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りを行うことができます。

プレデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

給紙

原稿の読み取り面（表面 / 裏面 / 両面）、長尺帳票の設定を行います。

用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。

[...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録することができます。

また、表示されるリストの並び順を変更することもできます。

画像タイプ

読み取った画像を出力するイメージのタイプを指定します。

2値白黒	白と黒の2階調で読み取ります。
ハーフトーン	白と黒の2階調で中間調処理を行って読み取ります。
グレースケール	白黒 256 階調で読み取ります。
カラー	カラーで読み取ります。24 ビット、256 色、8 色の中から選びます。

[読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

[プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認することができます。
現在の設定で試し読みを行い、プレビューウィンドウに表示します。

[閉じる] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

[リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

[ヘルプ] ボタン

TWAIN ドライバのヘルプを表示します。[F1] ボタンでも表示することができます。

[バージョン情報] ボタン

TWAIN ドライバのバージョン情報を表示します。

[オプション] ボタン

以下の画面で、オプション機能の設定を行います。



[回転] タブ

両面原稿のとじ方向、画像の回転、原稿の傾き補正、原稿サイズ検出、後端検出などの設定を行います。

[動作] タブ

キャッシュ、ジョブ制御、ダブルフィード（マルチフィード）検出、ブランクページスキップなどの設定を行います。

[全般] タブ

TWAIN ドライバ画面に表示される単位の設定を行います。
ミリ (mm)、インチ (inch)、ピクセル (pixel) の中から選択します。

[起動] タブ

スキャナ操作パネルに関する設定を行います。
(※ 対応機種のみ表示されます。)

[フィルタ] タブ

画像処理フィルタの設定を行います。
縁消しフィルタ：読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。
デジタルエンドーサ：読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。

[圧縮] タブ

JPEG 転送時の圧縮率の設定を行います。

[詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定を行います。
輪郭処理、ガンマ補正、下地追従、ドロップアウトカラー、白黒反転などの設定が可能です。

[管理] ボタン

設定ファイルの管理を行います。
TWAIN ドライバ画面で設定した内容を、[設定ファイル] に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更することができます。

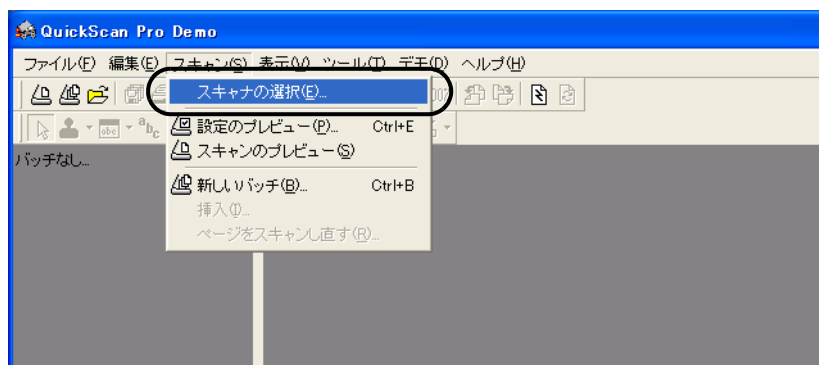
各機能の詳細については、「TWAIN ドライバのヘルプ」を参照してください。

■ FUJITSU ISIS スキャナドライバ

ここでは FUJITSU ISIS スキャナドライバと QuickScan Pro の基本操作について説明します。
お使いのアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。
QuickScan Pro 以外のアプリケーションの場合、当該アプリケーションのガイドもしくはヘルプを参照してください。

1. 基本的な読み取り手順

- 1) アプリケーションを起動します。
[スタート] から [プログラム] - [QuickScan] の順に選択し、[QuickScan] をクリックします。
- 2) メニューバーから [スキャン] - [スキャナの選択] を選びます。
⇒ 以下の画面が表示されます。

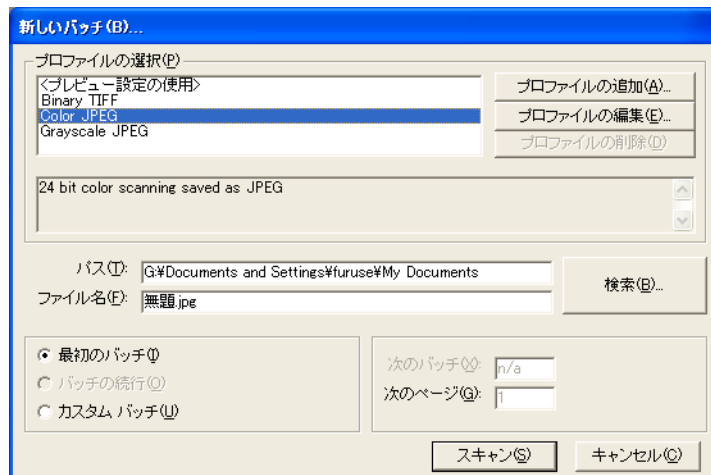


- 3) FUJITSU fi-4860C を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



- 4) メニューバーから [スキャン] - [新しいバッチ ...] を選択します。

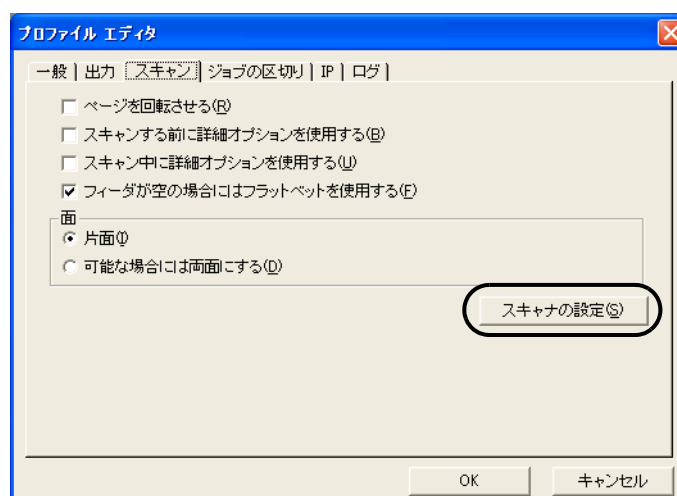
5) 以下の画面が表示されるので、プロファイルを選択します。



- プロファイルを追加するときは、[プロファイルの追加] を選択します。
⇒ 新規にプロファイルが作成されます。
- プロファイルを変更するときは、[プロファイルの編集] を選択します。
⇒ 選択したプロファイルを変更することができます。
- プロファイルを削除するときは、[プロファイルの削除] を選択します。
⇒ 選択したプロファイルが削除されます。

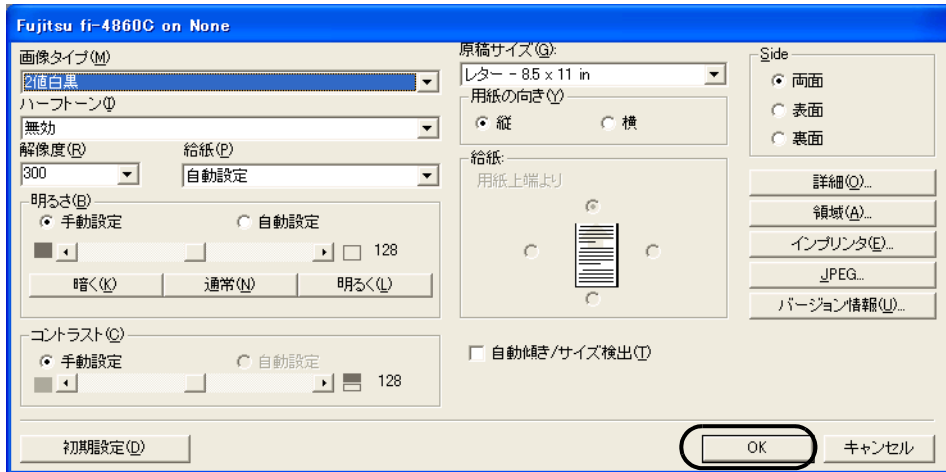
プロファイルを追加、編集または削除した場合は、手順 10 へ進みます。

6) [スキャン] タブを選択し、[スキャナの設定] ボタンをクリックします。



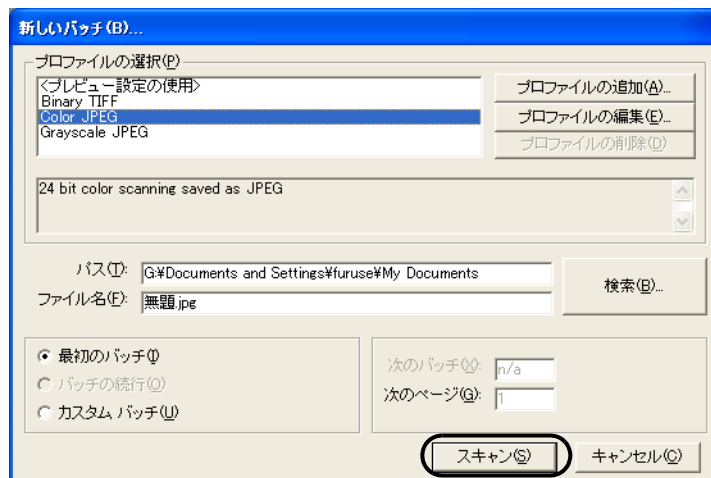
⇒ FUJITSU ISIS スキャナドライバのダイアログが表示されます。

- 7) 必要な項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



このダイアログボックスの詳細については、“FUJITSU ISIS スキャナドライバの設定”を参照してください。

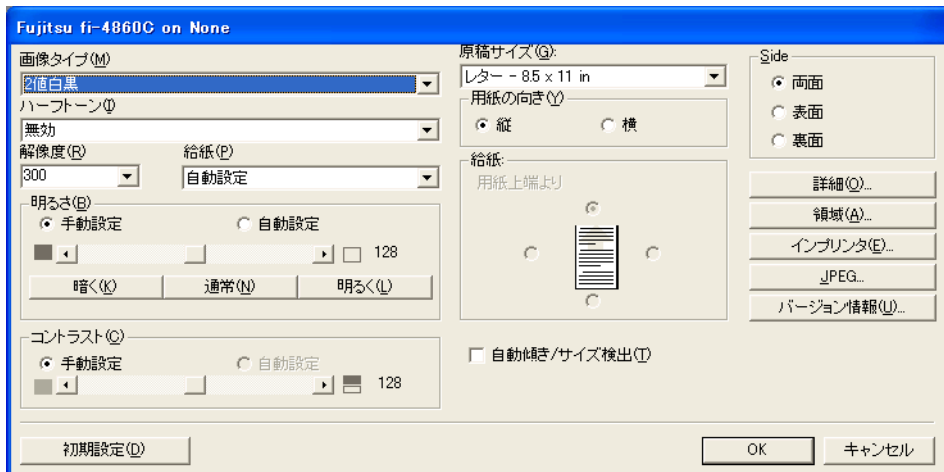
- 8) [プロファイルエディタ] ダイアログが表示されます。[新しいバッチ ...] ダイアログに戻る場合は、[OK] ボタンをクリックします。
- 9) 読み取る原稿を ADF 給紙シュートにセットしてください。
- 10) [スキャン] ボタンをクリックすると読み取りが開始されます。



⇒ 原稿が読み取られ、画面にイメージが表示されます。

QuickScan の機能や操作については、「QuickScan 概要」もしくは「QuickScan ヘルプ」を参照してください。[スタート] メニュー から [プログラム] - [QuickScan] を選択し、参照するファイルを開いてください。

2. FUJITSU ISIS スキャナドライバの設定



画像タイプ

メニューから使用する色調モードを選択します。以下のモードが設定できます。

- | | |
|----------------|--|
| 2 値白黒 | 白黒 2 値のしきい値にしたがって原稿を読み取ります。設定したしきい値に従って白と黒が判別されます。このモードは線画や文字の読み取りに適しています。 |
| 256- 階調グレースケール | 原稿は 254 段階の中間階調と白黒の 2 階調で読み取ります。このモードでは 1 ピクセルあたり 8 ビットを使用します。 |
| 24- ビットカラー | 原稿は 24 ビットフルカラーで読み取られます。このモードはカラー写真の読み取りに適していますが、グレースケールモードよりメモリを消費します。 |

解像度

1 インチあたりのピクセル数（ドット数）を指定します。指定には、あらかじめ設定された解像度を一覧から選択するか、50 から 600 の間の値を入力します。解像度が高いほど消費されるメモリも増加します。

ハーフトーン

リストからハーフトーンのパターンを選択します。この項目は画像タイプで2値白黒が設定されている場合に有効になります。

濃い写真画像用	色調の濃い写真の読み取りに適しています。
濃い文字+写真混在用	文字と写真を含んだ色調の濃い原稿の読み取りに適しています。
淡い写真画像用	淡い色調の写真の読み取りに適しています。
淡い文字+写真混在用	文字と写真を含んだ色調の淡い原稿の読み取りに適しています。
誤差拡散法	ピクセル間の格差が最小化されます。

明るさ

1 (最も暗い) から 255 (最も明るい) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。画像を明るくするには値を高くし、暗くするには値を低く設定します。

コントラスト

読み取った画像のコントラストを設定します。1 (ソフト) から 255 (シャープ) までの値でイメージ全体のコントラストを設定します。陰影を際立たせる場合は値を高く設定します。

給紙

読み取り方法を指定します。

ADF (表面)	原稿の表面だけを読み取ります。
ADF (両面)	原稿の各ページの表裏両面を同時に読み取ります。この方法は両面読み取りをサポートしているスキャナでのみ利用可能です。またお使いのアプリケーションが「連続読み取り」をサポートしている必要があります。「連続読み取り」がサポートされていない場合、原稿の表面のデータだけがアプリケーションに送られません。

原稿サイズ

読み取る原稿のサイズを指定します。リストの中から任意のサイズを選択します。

原稿の向き

原稿の向き (縦か横) を指定します。

自動傾き/サイズ検出

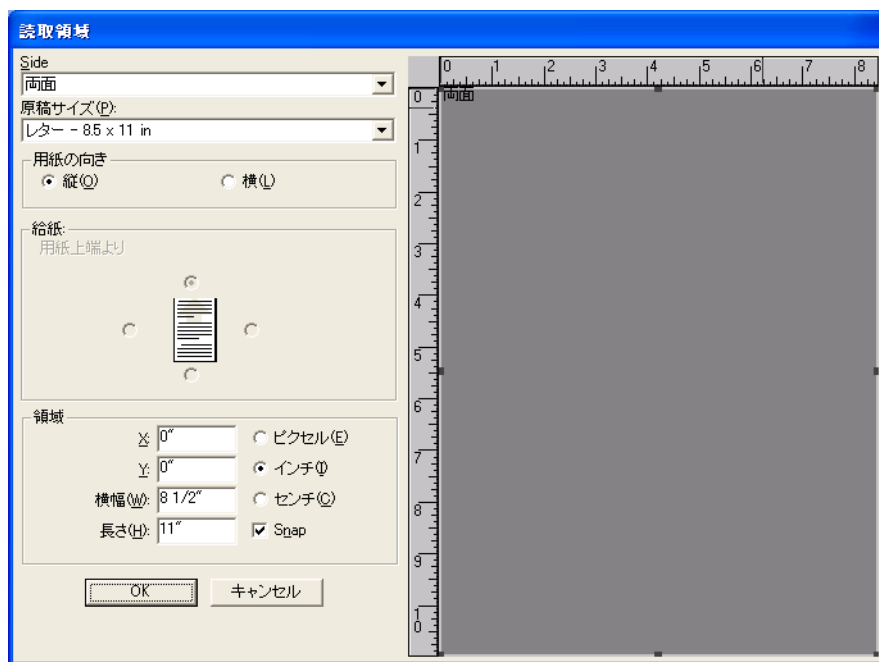
読み取る原稿のページサイズを自動検出し、読み取った画像をそのサイズで出力します。また原稿の傾きも自動に検出・補正し、イメージを出力します。

[詳細 ...] ボタン

その他のオプション機能の設定に使用します。

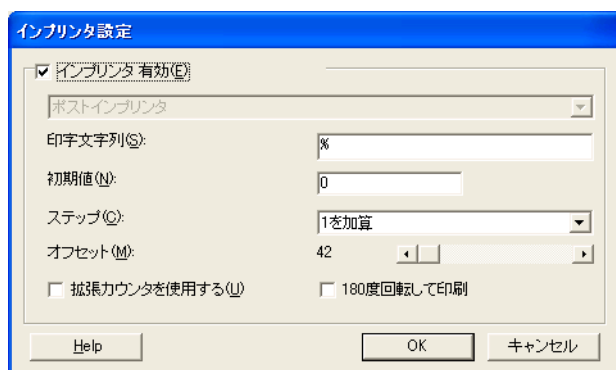
[領域 ...] ボタン

[読取領域] ダイアログボックスを表示します。



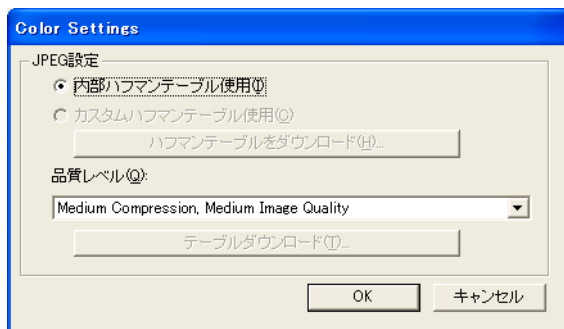
[インプリンタ] ボタン

[インプリンタ設定] ダイアログボックスを表示します。このボタンは別売りの「インプリンタオプション」がインストールされている場合に機能します。詳細についてはインプリンタオプションに添付の取扱説明書を参照してください。



[JPEG...] ボタン

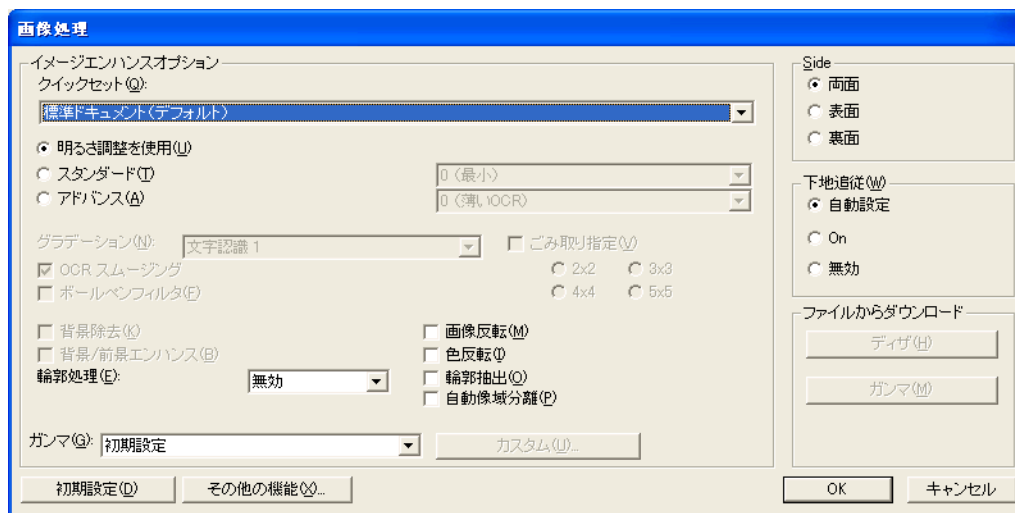
[JPEG 設定] ダイアログボックスを表示します。

**[バージョン情報] ボタン**

バージョン情報を表示します。

3. [画像処理]画面での設定項目

[画像処理]画面ではオプション機能の設定が可能です。以下に、代表的な設定項目について説明します。



ガンマ

ガンマ補正の設定をおこないます。補正パターンには、通常、ソフト、シャープの3通りの設定が可能です。

イメージエンハンスオプション

2値化画像処理の設定をおこないます。「画像タイプ」に「2値白黒」を選択したときのみ有効です。

クイックセット

イメージエンハンスオプションでよく使用される設定パターンがあらかじめ用意されています。一覧から設定パターンを選択することで、各設定項目を一つ一つ設定しなくても、一度に設定されます。以下の設定パターンを選択できます。

標準ドキュメント 一般的なオフィス文書の読み取りに適しています。
(デフォルト)

背景/前景エンハンス 輪郭処理が無効になり、イメージと背景の境界が強調されず、全体的にぼやけたイメージとなります。

背景を取り除いたNCR形式 背景除去をおこない、ギザギザになった輪郭線を取り除いて画像内の曲線を滑らかにします。

雑誌、パンフレット等 雑誌、パンフレットのように、文字と画像の混在した原稿を読み取るのに適しています。

スタンダード 単純な2値化処理をおこないます。画像の濃さは0から6の間で選択できます。

アドバンス 自動2値化処理をおこないません。OCR原稿の読み取りには1から4を、画像の読み取りには5か6を選択します。

輪郭処理

読み取った画像に輪郭処理をほどこします。

弱、中、強 輪郭を強調します。処理の度合いは弱、中、強の3種類です。

スムージング 曲線部のギザギザを取り除き、輪郭をなめらかにします。

画像反転

画像の左右を反転した状態で出力します。

色反転

読み取った画像の白と黒を反転します。

輪郭抽出

読み取った画像から輪郭を抽出します。

自動像域分離

線画（文字）の部分と、写真画像部分を自動的に認識して、写真部分にハーフトーン処理をほどこします。

[Side]

選択した面（両面 / 表面 / 裏面）に対して、この画面で設定された機能が適用されます。

両面 裏・表同じ設定になります。

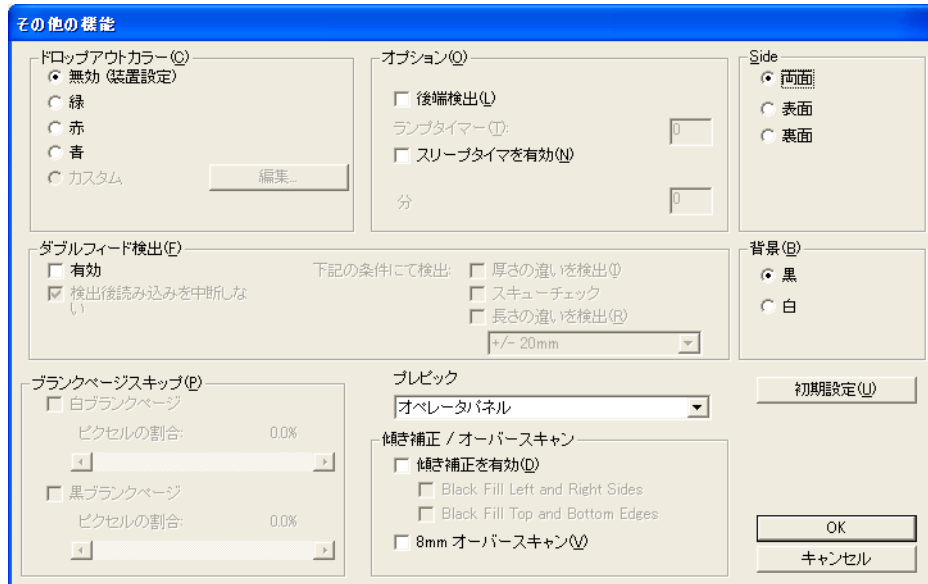
表面 / 裏面 適用する機能を、表・裏面に対して個別に設定できます。（個別に設定できない項目は、表示がグレイアウトされて、変更できなくなります）

[その他の機能] ボタン

[その他の機能] を画面を開きます。[その他の機能] 画面ではさらに高度な機能の設定が可能です。

4. [その他の機能] 画面での設定項目

[その他の機能] 画面ではさらに高度な機能の設定が可能です。以下に、代表的な設定項目について説明します。



ドロップアウトカラー

指定した色（光の3原色：赤、青、緑が選択可能）を読み取った画像から消します。たとえば原稿に緑色の枠で囲まれた黒い文字がある場合、文字だけを読み取って緑色の枠を消すように設定ができます。

後端検出

読み取る原稿の後端を検出し、原稿長さ分の読み取りをおこないます。短いページが原稿に含まれる場合は、そのサイズにあわせて出力するイメージを調整します。

スリープタイマーを有効

ランプを消灯する時間を設定します。スキャナを使用してから一定時間が経過するとランプが消灯するように設定できます。

ダブルフィード検出

ダブルフィードとは2枚以上の原稿が同時に ADF に給紙された場合に発生するエラーです。ダブルフィードの検出条件を設定して、検出時に読み取りを停止してエラーメッセージを表示させることが可能です。

スキューチェック

読み取り時に、原稿の傾きを監視します。原稿が傾いた状態で搬送された場合に、装置を停止させ、エラーメッセージを表示します。

プレピック

読み取り時に、読み取り動作を開始する前にあらかじめ原稿をピック（プレピック）するかどうかを指定します。プレピックとは、読み取り動作を開始する前に、原稿を読み取り位置手前まで搬送しておくことを指します。

オーバースキャン

オーバースキャン機能の設定をおこないます。[原稿サイズ] で指定した原稿サイズより大きめに読み取ります。

[Side]

選択した面（両面 / 表面 / 裏面）に対して、この画面で設定された機能が適用されます。

両面 裏・表同じ設定になります。

表面 / 裏面 適用する機能を、表・裏面に対して個別に設定できます。（個別に設定できない項目は、表示がグレースアウトされて、変更できなくなります）

2 いろいろな読み取り方法

この章では、スキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。お使いの OS によって表示される画面、および操作が多少異なります。また、FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバ、FUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

2.1 幅の違う原稿の読み取り	46
2.2 読み取った画像を PDF 形式で保存	47
2.3 色情報を除いて読み取り（ドロップアウトカラー）	53
2.4 空白ページをスキップして読み取り	55
2.5 ダブルフィード（マルチフィード）の検出	57
2.6 原稿の傾きを自動で補正するとき	59

2.1 幅の違う原稿の読み取り

幅の違う原稿を ADF で一度にまとめて読み取ると、幅の小さな原稿が傾いて読み取られる場合があります。

原稿の幅は必ず合わせて読み取りを行うようにしてください。

以下に、幅の違う原稿を読み取る場合の手順を示します。

1. 原稿の幅が同じものに分類します。
2. サイドガイドを原稿の幅に合わせてます。
3. 同じサイズごとに複数回に分けて読み取ります。

なお、原稿の読み取り方法については「1.9 原稿の読み取り方法」(23 ページ) を参照してください。

2.2 読み取った画像を PDF 形式で保存

読み取った画像を PDF 形式で保存するときは、お使いのパソコンに Adobe Acrobat 7.0 をインストールしてください。

Adobe Acrobat 7.0 は、付属の Adobe Acrobat 7.0 CD-ROM からインストールできます。

PDF の作成は、以下の 2 通りの方法があります。

(1) ScandAll 21 からおこなう方法

カラーおよびグレースケールで読み取る場合にお勧めいたします。

- ・ PDF のデータサイズを小さくすることができます。
- ・ 特別な操作を必要とせず、簡単に PDF を作成できます。

(2) Adobe Acrobat 7.0 からおこなう方法

PDF を短時間で作成するとき、およびモノクロ二値で読み取る場合にお勧めいたします。

- ・ PDF (読み取った解像度のまま) を短時間で作成できます。
- ・ PDF の圧縮率を変更することで、任意のデータサイズで作成できます。



まって!

Adobe Acrobat の使用上の注意点について

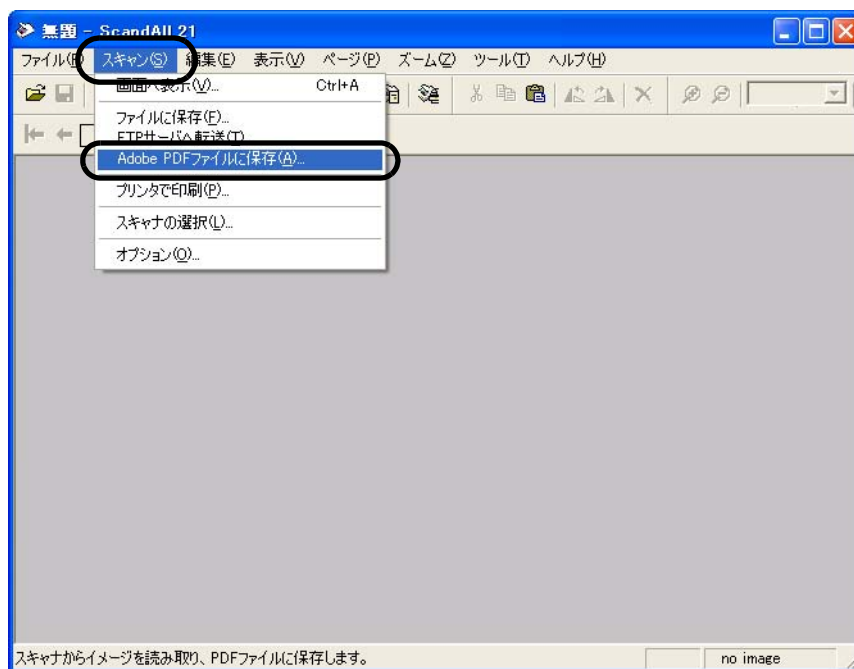
- 解像度、給紙方法、画像タイプは、アプリケーションからの指定が有効になるため、読み取り時に前回指定の設定項目で表示されません。
- 以下の機能は、ご使用できません：
 - － 256 色カラーおよび 8 色カラー
 - － 後端検出指定時の回転角度指定
 - － 長尺帳票での読み取り
- Adobe Acrobat を使用してスキャナから原稿を読み取り PDF に変換する際に、意図しない画像が出力されることがあります。
 - 1) Acrobat の輪郭除去オプションと TWAIN ドライバのデジタルエンドーサまたは黒背景オプションを設定した場合、画像に埋め込んだ文字列や背景部分が欠落することがあります。
解決方法 1 : Acrobat の [ファイル] メニューから [PDF の作成] → [スキャナ] → [画像の設定...] を選択して、「輪郭除去」を "オフ" に設定、または「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を "アダプティブ" 以外に設定する。
解決方法 2 : TWAIN ドライバの読取濃度を調整する。
 - 2) Acrobat の圧縮オプションの「カラー/グレースケール」、「白黒」を "アダプティブ" に設定して、Acrobat の推奨解像度より低い解像度で読み取る場合、適切でない画像が出力されることがあります。
解決方法 : 「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を "アダプティブ" 以外に設定する。
 - 3) Acrobat はダブルレター (11 × 17) や A3 より長い原稿は読み取れないため、TWAIN ドライバでオーバースキャンを設定した場合、正しく読み取れないことがあります。
解決方法 : ダブルレター (11 × 17) や A3 の原稿を読み取る場合は、オーバースキャンを設定しない。

※ Acrobat の使い方や詳細な情報については、Acrobat ヘルプ (紙の文書からの PDF の作成) や www.adobe.co.jp/support の「サポートデータベース」を参照してください。

■ ScandAll 21 からおこなう方法

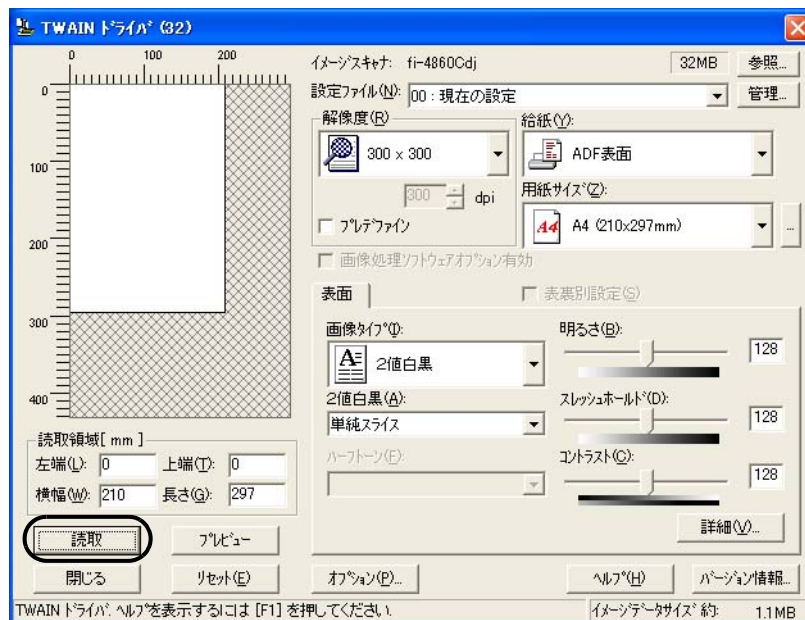
次に、読み取った画像を ScandAll 21 から PDF 形式で保存する手順を示します。

1. スキャナのホッパに、原稿をセットします。
2. ScandAll 21 を起動します。
[スタート] メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] の順に選択します。ScandAll 21 が起動します。
3. [スキャン (S)] メニューの [Adobe PDF ファイルに保存 (A)...] を選択します。

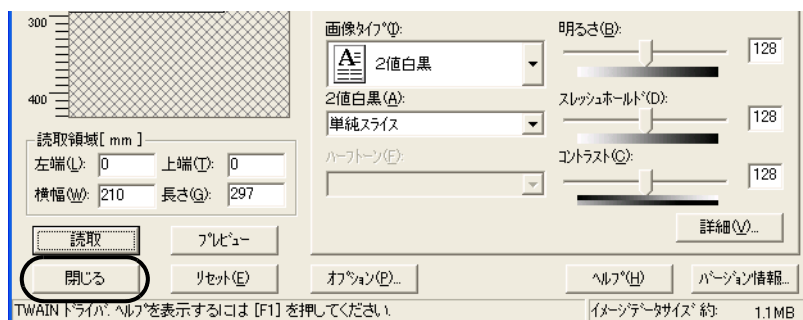


[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスが表示されます。

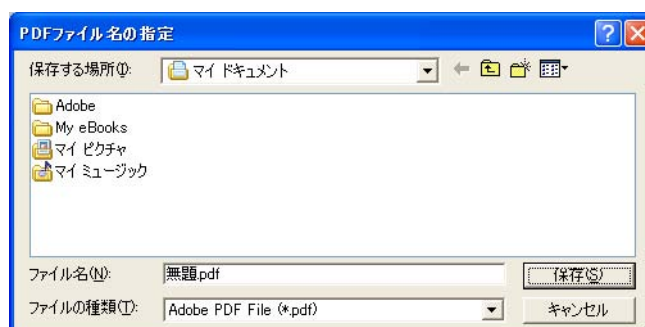
4. 読み取り解像度や原稿サイズなどを設定して、[読取] ボタンをクリックします。



5. 読み取りを終了するときには、[閉じる] ボタンをクリックします。
保存先を指定する画面が表示されます。



6. ファイル名と保存先を指定して、読み取ったデータを保存します。
詳細は、ScandAll 21 のヘルプを参照してください。



■ Adobe Acrobat 7.0 からおこなう方法

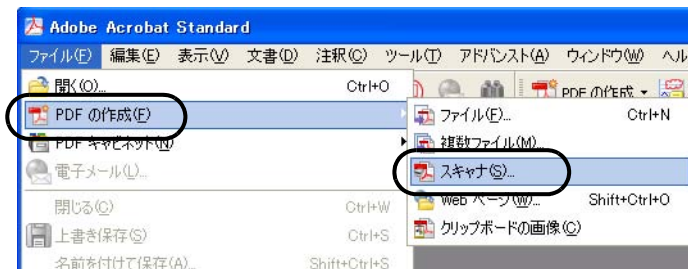
以下に、読み取った画像を Adobe Acrobat から PDF 形式で保存する手順を示します。

1. スキャナのホッパに、原稿をセットします。

2. Adobe Acrobat を起動します。

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Adobe Acrobat] の順に選択します。Adobe Acrobat が起動します。

3. [ファイル] メニューから、[PDF の作成] → [スキャナ] の順に選択します。



「スキャナから PDF を作成」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「スキャナ : 」に、[FUJITSU fi-4860CEAdj] を指定して、[スキャン] ボタンをクリックします。



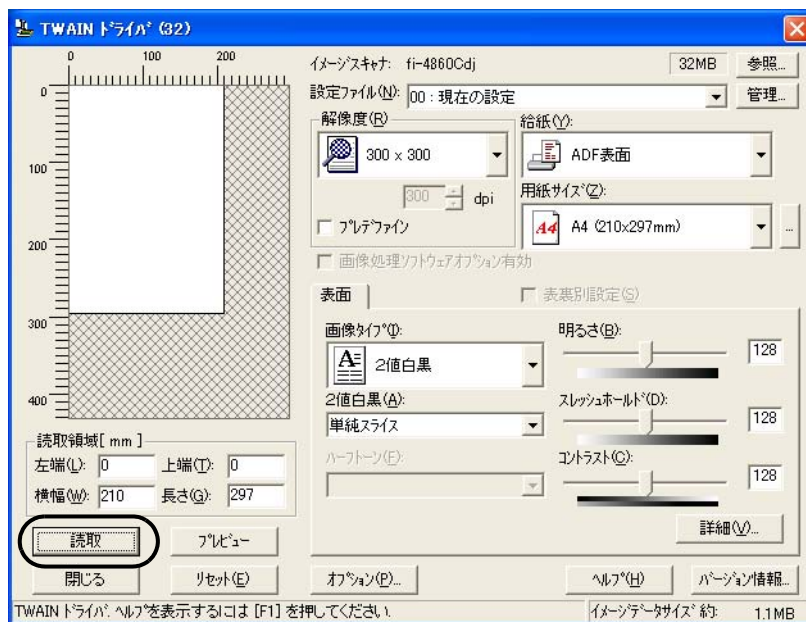
[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスが表示されます。



デフォルト設定のまま読み取りをおこなうと、期待通りの画像を得られない場合があります。その場合は、以下のように設定を変更することをお勧めします。

- 「OCR を使用してテキストとして認識」のチェックを外します。
- [画像設定] ボタンをクリックします。
「画像の設定」画面が表示されます。
以下の項目を変更します。
 - ・ カラー / グレースケール : なし
 - ・ 白黒 : JBIG2 または、CCITT Group 4
 - ・ 背景を削除 : オフ
 - ・ 輪郭除去 : オフ

5. 読み取り解像度や原稿サイズなどを設定して、[読取] ボタンをクリックします。

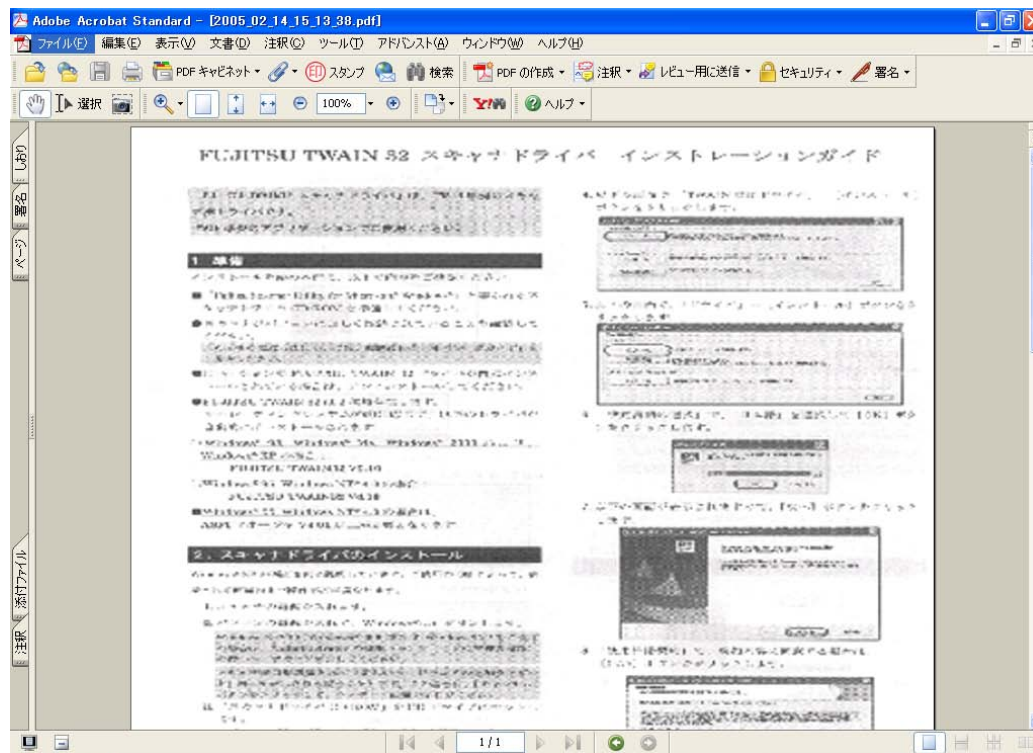


読み取りが実行されます。

6. 読み取りを終了するときには、[完了] ボタンをクリックします。



読み取った画像が表示されます。



7. [ファイル] メニューから、[名前を付けて保存] もしくは [上書き保存] を選択して読み取ったデータを保存します。



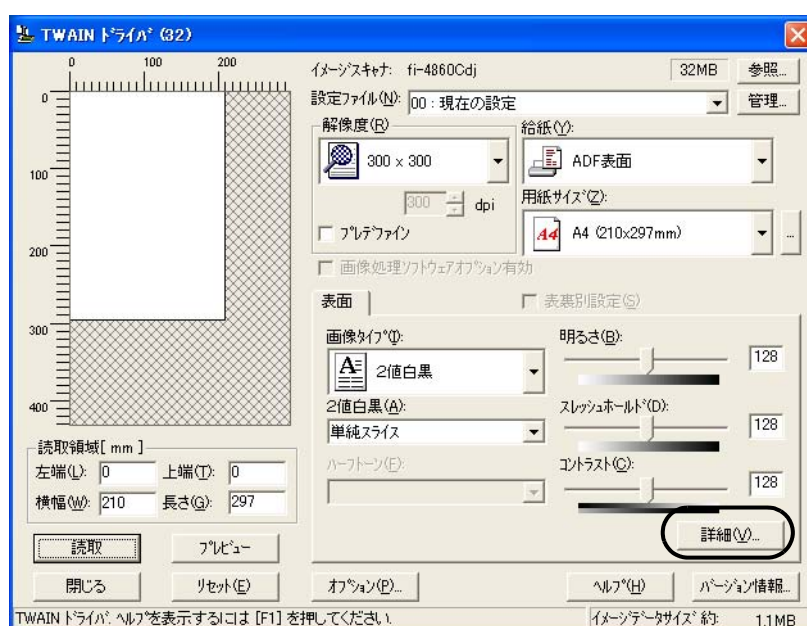
Adobe Acrobat の操作については、Adobe Acrobat のマニュアルおよびヘルプをご覧ください。

2.3 色情報を除いて読み取り（ドロップアウトカラー）

赤、緑、青（光の三原色）の中から、選択した色情報を除いて読み取ることができます。たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。色情報を除いて読み取るときは、[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更して読み取ります。

以下に、[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更する手順を以下に示します。

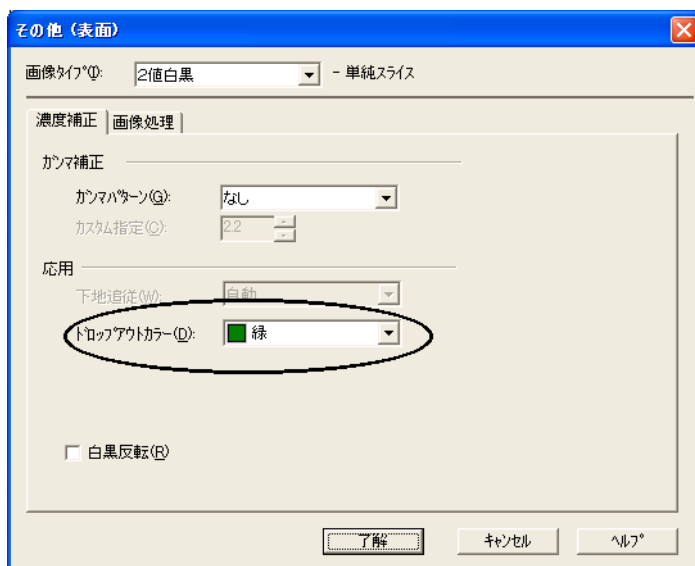
1. [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの [詳細] ボタンをクリックします。



[その他] ダイアログボックスが表示されます。

2. [応用] の [ドロップアウトカラー] から、除きたい色を指定します。

たとえば、緑色の枠がついた黒い文字の原稿を読み取る場合で、黒い文字の部分だけを読み取るときは、[緑] を指定します。



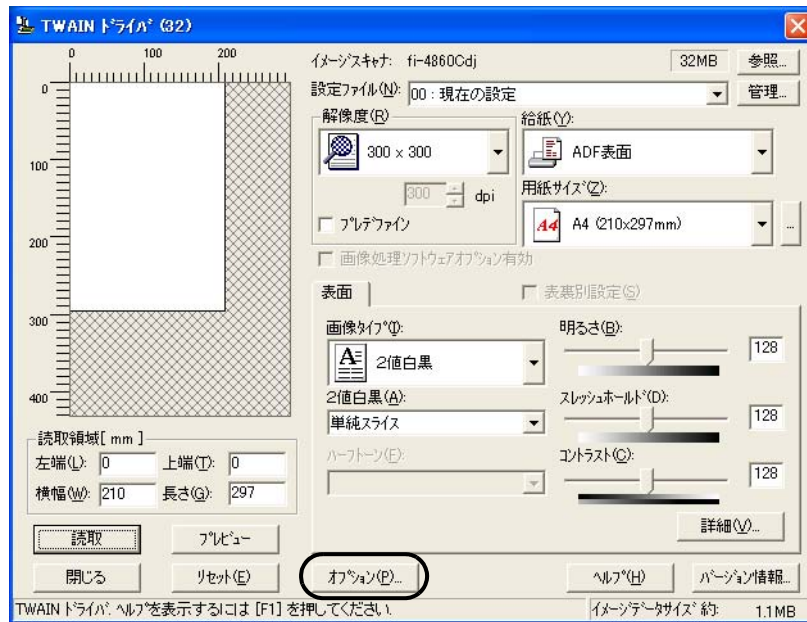
3. [了解] ボタンをクリックします。

[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作してください。

2.4 空白ページをスキップして読み取り

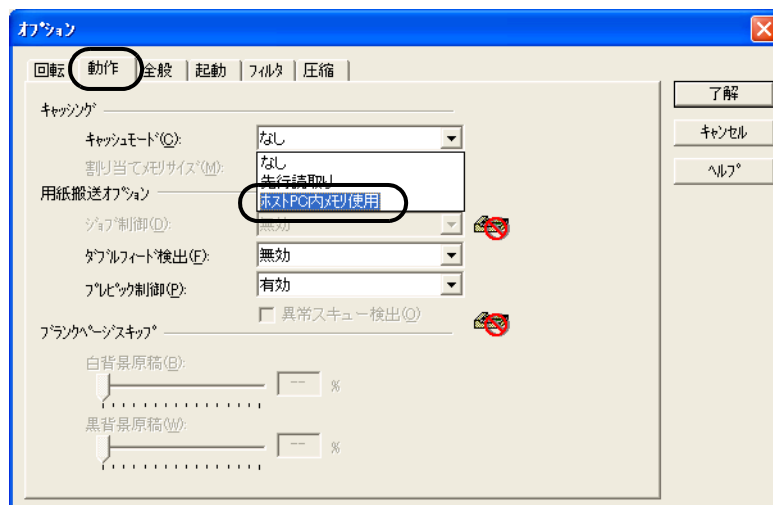
空白ページを除いて読み取る時は、[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更して読み取ります。

1. [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ [オプション] ダイアログボックスが表示されます。

2. [動作] タブを選択します。
3. [キャッシュモード] で、[ホスト PC 内メモリ使用] を選択します。



-
4. [ブランクページスキップ] の [白背景原稿] および [黒背景原稿] のスライダでスキップする原稿の黒点率（原稿全体における黒色の部分の割合）を設定します。
[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスに戻ります。
続けて、読み取り操作をしてください。

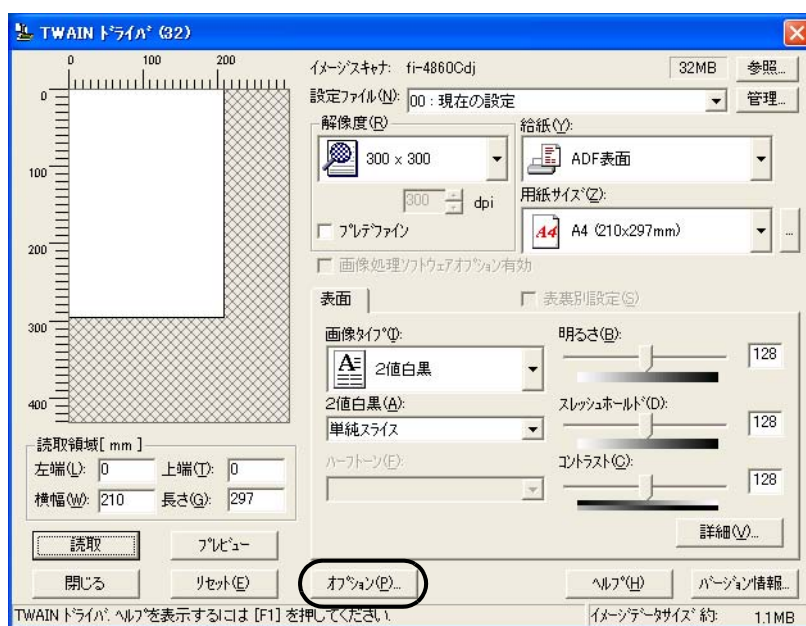
2.5 ダブルフィード (マルチフィード) の検出

ダブルフィード (またはマルチフィード) とは、一度に2枚以上の原稿が重なって ADF 給紙シートに送り込まれてしまう現象のことです。

ダブルフィードを検出し、エラーメッセージを表示するように設定することができます。

ダブルフィードの設定は、[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更しておこないます。

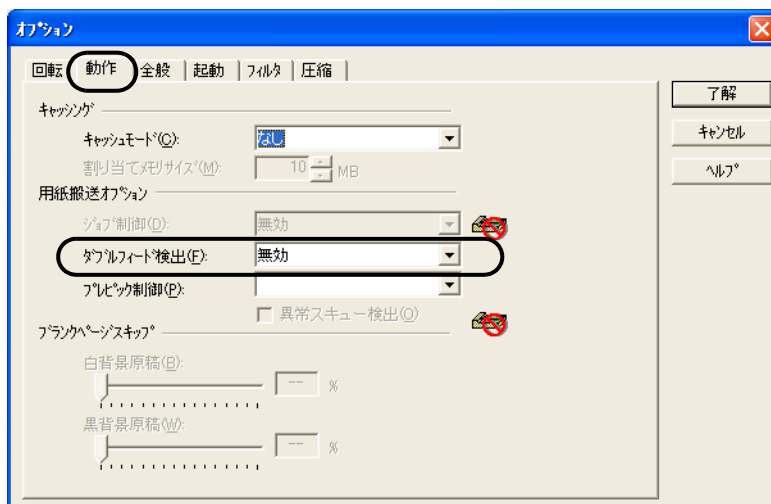
1. [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ [オプション] ダイアログボックスが表示されます。

2. [動作] タブをクリックします。

3. [用紙搬送オプション] の [ダブルフィード検出] ([マルチフィード検出]) から、検出条件を指定します。



次の検出条件があります。

無効	ダブルフィード検出を行いません。
重なりを検出	原稿の厚さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの厚さの変化によってダブルフィード検出を行います。
長さの違いを検出	原稿の長さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの原稿の長さの変化によってダブルフィード検出を行います。
重なりと長さの違いを検出	重なりと長さの両方を監視し、ダブルフィード検出を行います。

なお、ダブルフィード検出の詳細については、" 付録2 ダブルフィード (マルチフィード) の検出条件 " (2 ページ) を参照してください

4. [了解] ボタンをクリックします。

[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作をしてください。

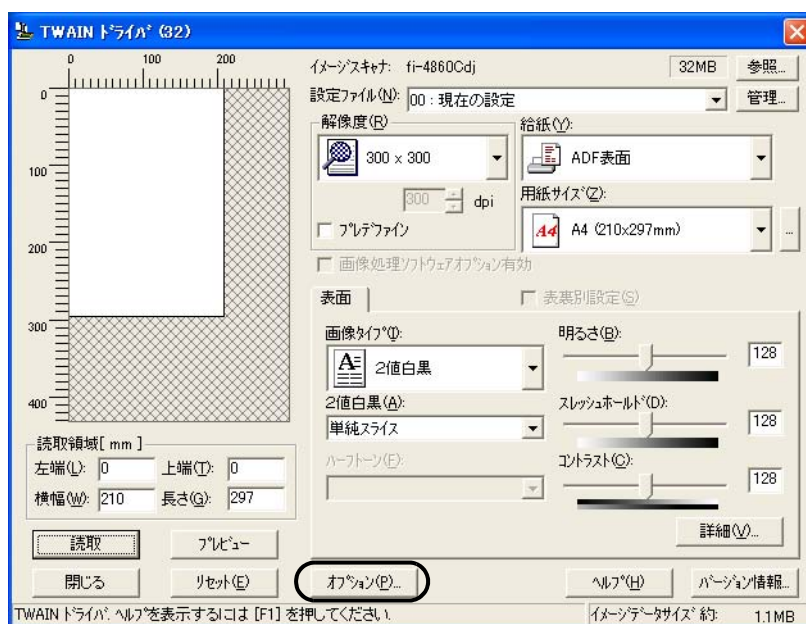
2.6 原稿の傾きを自動で補正するとき

原稿を読み取る際 ADF 内へ原稿が傾いて送り込まれた場合は、自動で傾きを検出・補正して出力することができます。

自動傾き検出は、[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更しておこないます。

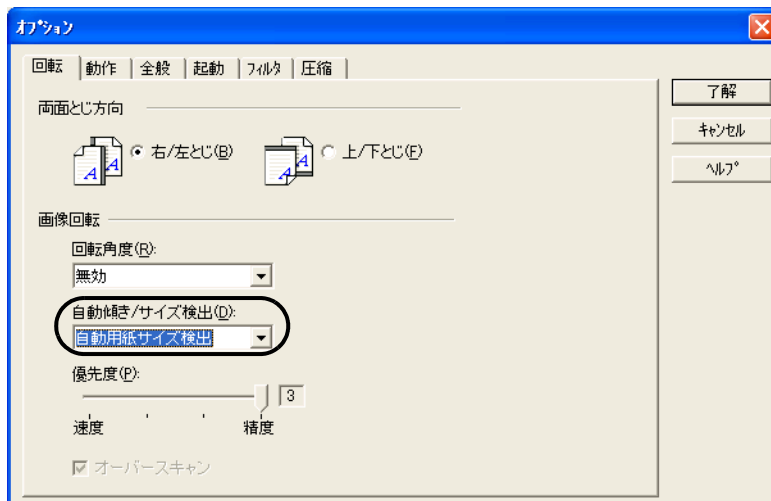
以下に [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定を変更する手順を示します。

1. [TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの [オプション] ボタンをクリックします。



⇒ [オプション] ダイアログボックスが表示されます。

2. [回転] タブをクリックします。
3. [自動傾き / サイズ検出] メニューから [自動用紙サイズ検出] を指定します。



4. [了解] ボタンをクリックします。

[TWAIN Driver] ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作をおこないます。



下記のいずれかの原稿の場合、自動用紙サイズ検出が出来ません。

- 厚さが 52 g/m² 以下の薄い原稿。
- 長方形でない原稿。
- 端を濃く塗りつぶした原稿。

3 日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。

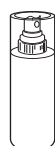


本装置を清掃する場合は必ず電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。

3.1 清掃用品および清掃が必要な場所	62
3.2 パッドの清掃	65
3.3 各種ローラの清掃	68
3.4 搬送路の清掃	81
3.5 除電ブラシの清掃	83
3.6 ガラス面の清掃	87
3.7 センサーの清掃	93
3.8 ランプの清掃	99

3.1 清掃用品および清掃が必要な場所

■ 清掃用品

清掃用具	商品番号	備考
クリーニングシート 	0631170 (* 1)	20 枚 / 1 パック
クリーナ F2 	0631161 (* 1)	1 ボトル (80ml)
クリーナ F1 	0631151 (* 1) (* 2)	1 ボトル (100ml) 布にしみこませて使用し ます。
綿棒 	市販品	
乾いた布	市販品 (* 3)	

- * 1) 本装置をご購入された販売会社または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。
- * 2) 大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。
- * 3) 繊維クズの発生しにくい布であれば使用可能です。

■ 清掃部品と清掃頻度

以下に、清掃頻度の目安を示します。

清掃部品	清掃頻度
パッド	10 万枚読み取りごと
ピックローラ	10 万枚読み取りごと
ブレーキローラ	
ブンリローラ	
フィードローラ	
ピンチローラ	
搬送路	
除電ブラシ	10 万枚読み取りごと
リムーバブルシートガイド	20 万枚読み取りごと
ガラスシートガイド	
原稿幅検出センサー	20 万枚読み取りごと
超音波センサー	
SF0	
SF1	
SF1.5	
SF2	
表面ランプ	10 万枚読み取りごと
裏面ランプ	



クリーニングシートによる清掃は、5万枚読み取りごとにおこなってください。



以下のような原稿を使用している場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- ・コート紙のような表面が滑らかな原稿
- ・ほぼ全面に印刷してある原稿
- ・ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- ・カルシウムを多く含む原稿
- ・鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合



清掃などの目的でエアスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。



fi-486PRFR、fi-486PRRE を使用する場合は原稿の種類および印刷位置によって以下の箇所が汚れる場合がありますので、こまめに清掃してください。

- ・リムーバブルシートガイド
 - ・ガラスシートガイド
 - ・フィードローラ
 - ・ピンチローラ
-

3.2 パッドの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

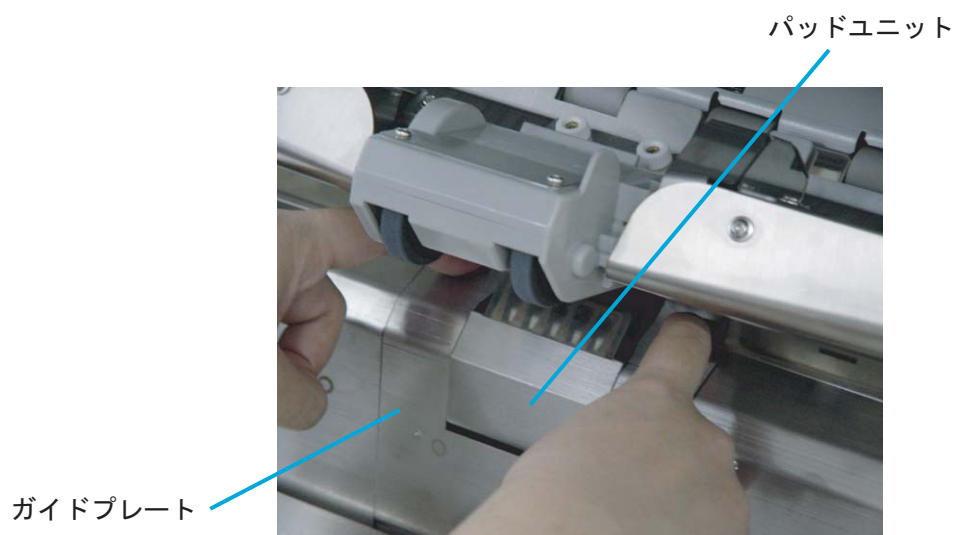
上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



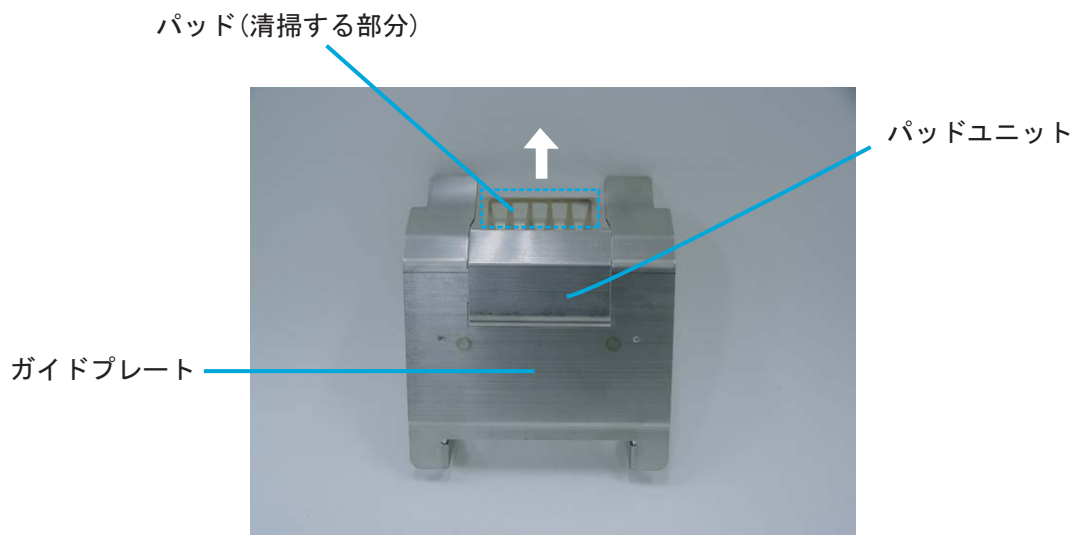
2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



3. ガイドプレートの上側のニヶ所を指で押しながら、手前に引き出してガイドプレートを取り外します。



4. パッドユニットの透明なゴム部分クリーナ F1 を浸した布で下から上へ向かって清掃します。



まって!

大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

5. ガイドプレートを取り外した逆の手順で取り付けます。下に押し込みながらはめ込むとスムーズに取り付けられます。
6. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。
7. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

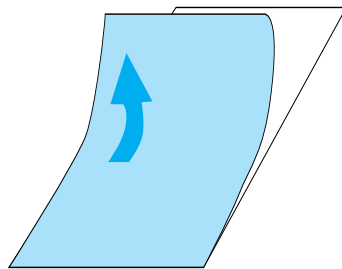
3.3 各種ローラの清掃

■ クリーニングシートによるローラの清掃

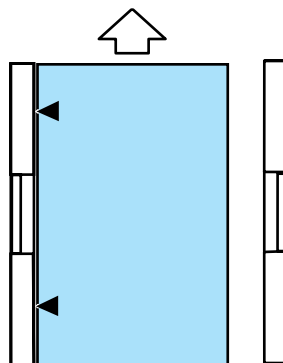
1. サイドガイドを B4 幅にします。
2. テストモードに入ります。手順は「7.4 テストモードの概要」(232 ページ) を参照してください。
3. ◇ (下方向ボタン) を 1 回押して以下の画面を表示させます。

T 0 2 ソ ウ コ ウ テ ス ト 2

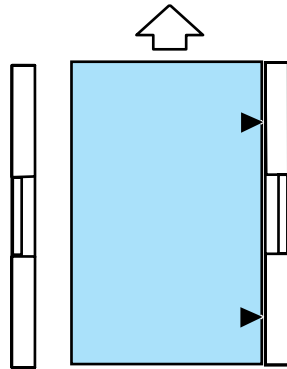
4. クリーニングシートの保護紙を外します。



5. 接着面を上にして、クリーニングシートをサイドガイドの左側に揃えてホッパに置きます。**Start** ボタンを押すと、クリーニングシートが搬送されます。



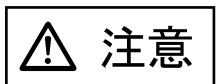
6. [ヨウシナシ] と表示されたら、**Stop** ボタンを押します。
7. 装着面を上にして、同じクリーニングシートをサイドガイドの右側に揃えてホッパに置きます。**Start** ボタンを押すと、クリーニングシートが搬送されます。



8. [ホッパエンプティ] と表示されたら、**Stop** ボタンを押します。
 9. 新しいクリーニングシートから保護紙をはずし、接着面を下にしてサイドガイドの左側に揃えてホッパに置きます。**Start** ボタンを押すと、クリーニングシートが搬送されます。
6. から 8. の手順を繰り返します。清掃が終わったら電源を切断します。

■ ピックローラとブンリローラの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



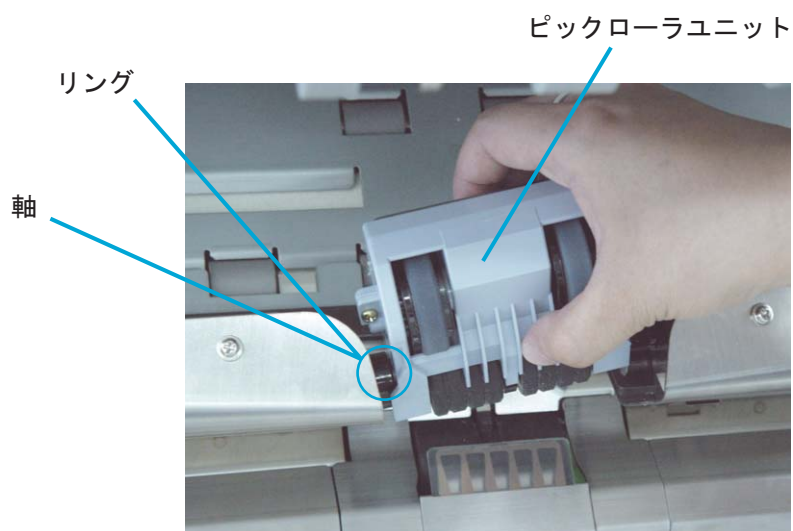
注意

上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。

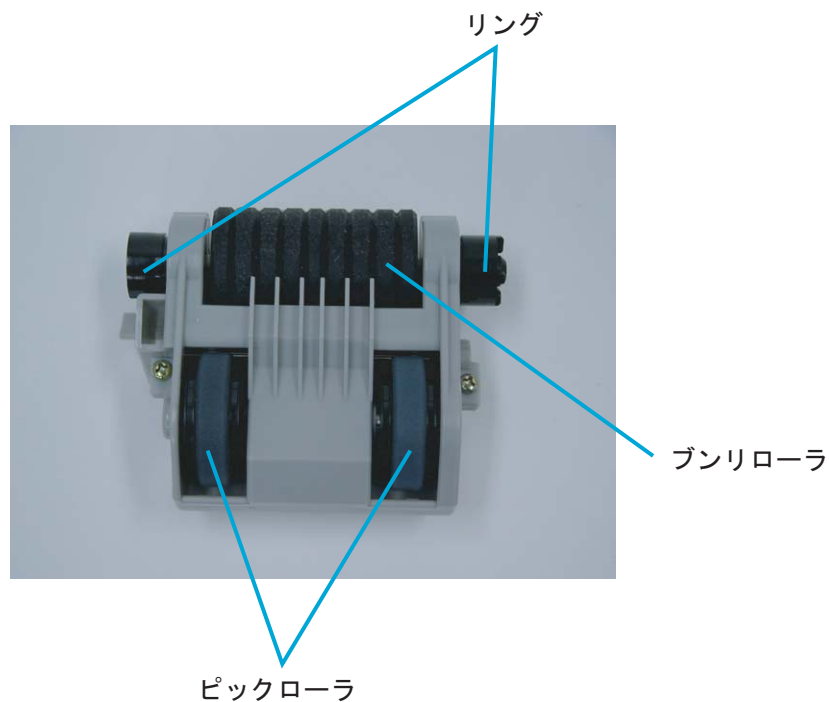


2. ADF レバーを手前に引きながら ADF 上シートガイドを持ち上げます。

3. ピックローラユニットを 左側に少し押し込みながら、右側のリングを軸から外します。



4. ピックローラ（2ヶ所）とブンリローラをクリーナ F1 を浸した布で清掃します。



まって!

大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

5. 取り外しと逆の手順でピックローラユニットを取り付けます。



ヒント

ピックローラユニットを取り付けた時、先端部が垂れ下がった状態になることがあります。そのときはピックローラユニットをいったん持ち上げると正しい位置に取り付けられます。

誤った取り付け



正しい取り付け



6. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。

7. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ ブレーキローラの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

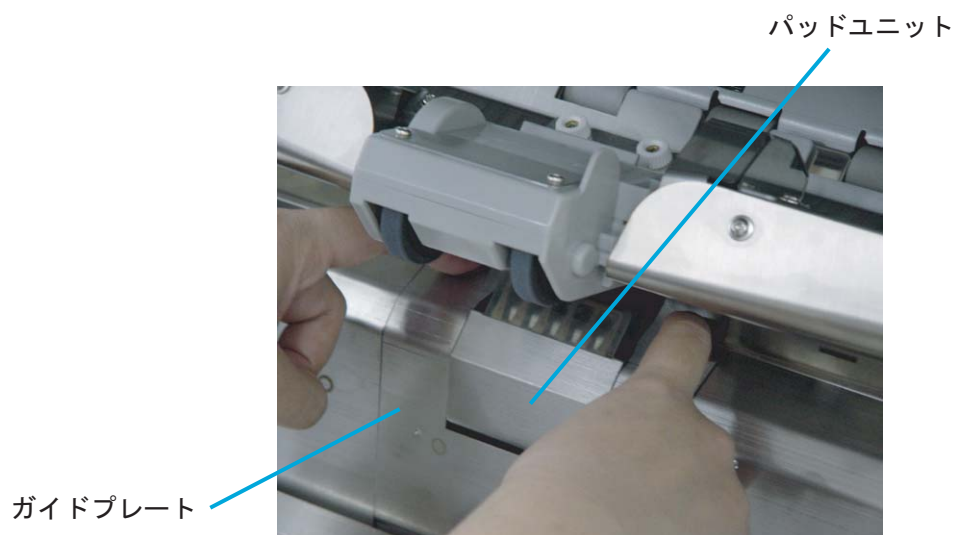
上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



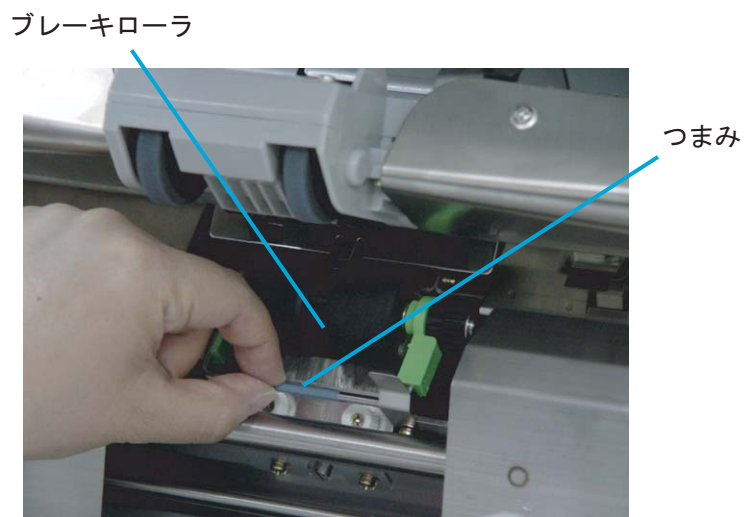
2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



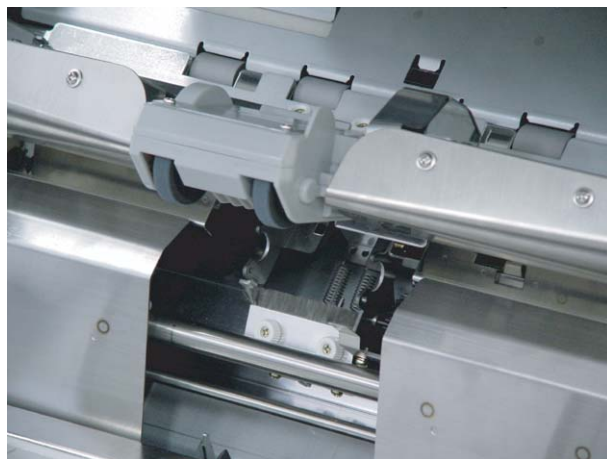
3. ガイドプレートの上側のニヶ所を指で押しながら、手前に引き出してガイドプレートを取り外します。



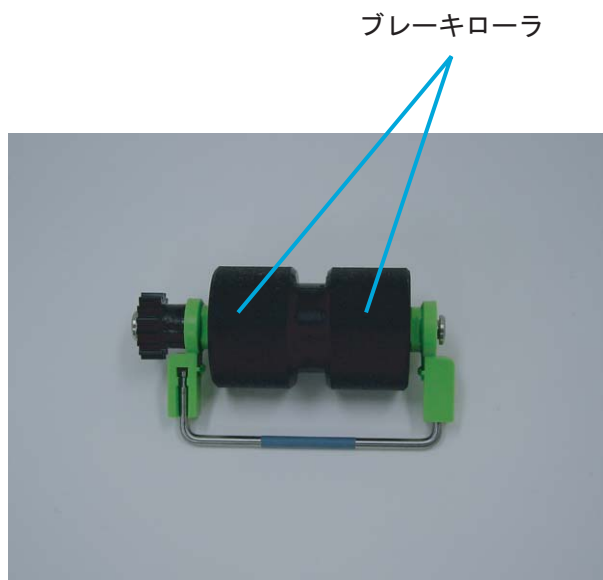
4. ブレーキローラユニットのつまみを持って上に引き上げてロックを外します。



5. そのまま手前に引き出してブレーキローラユニットを取り外します。



6. ブレーキローラをクリーナ F1 を浸した布で清掃します。

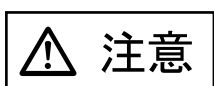


大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

7. 取り外しと逆の手順でブレーキローラユニットを取り付けます。ブレーキローラがロックされるまでしっかり取り付けます。
8. 取り外しと逆の手順でガイドプレートを取り付けます。下に押し込みながらはめ込むと、スムーズに取り付けられます。
9. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。
10. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ フィードローラの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



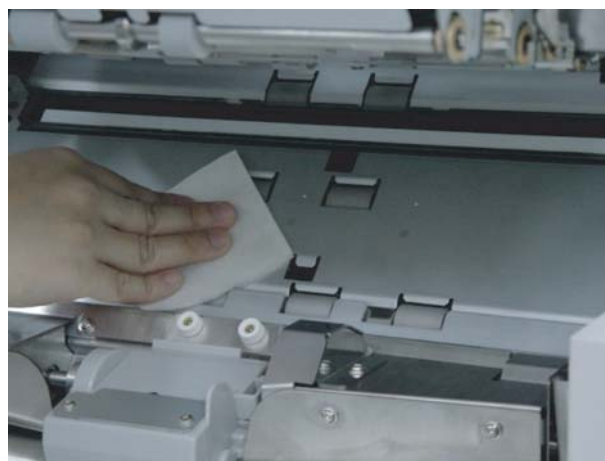
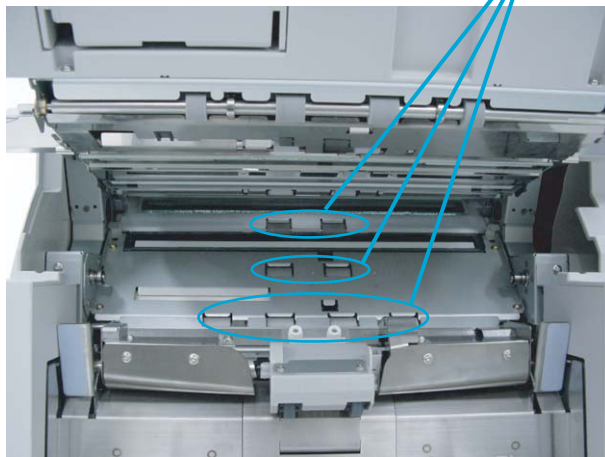
注意

上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



2. フィードローラをクリーナ F2 を浸した布で清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので清掃を十分におこなってください。

フィードローラ (12個)



クリーナ F2 は、フィードローラにのみ使用してください。

3. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ ピンチローラの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



2. ピンチローラをクリーナ F1 を浸した布で清掃します。

ピンチローラ (12個)



大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

3. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

3.4 搬送路の清掃

■ 搬送路の清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



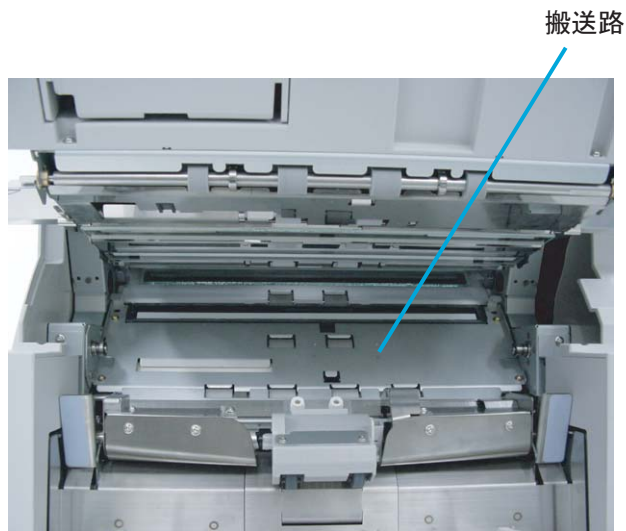
3

日常のお手入れ

2. 搬送路全体をクリーナ F1 を浸した布で清掃します。



搬送路に紙粉などがあるときは、掃除機で吸い取ってください。



大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

3. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

3.5 除電ブラシの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

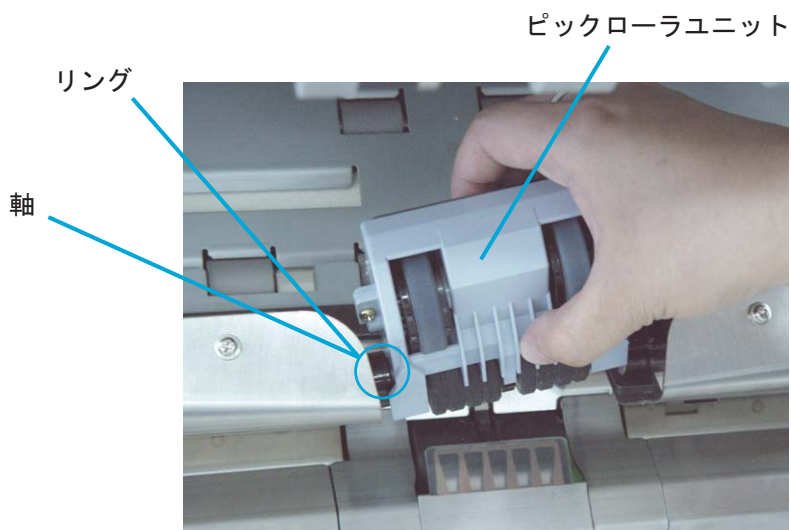
上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



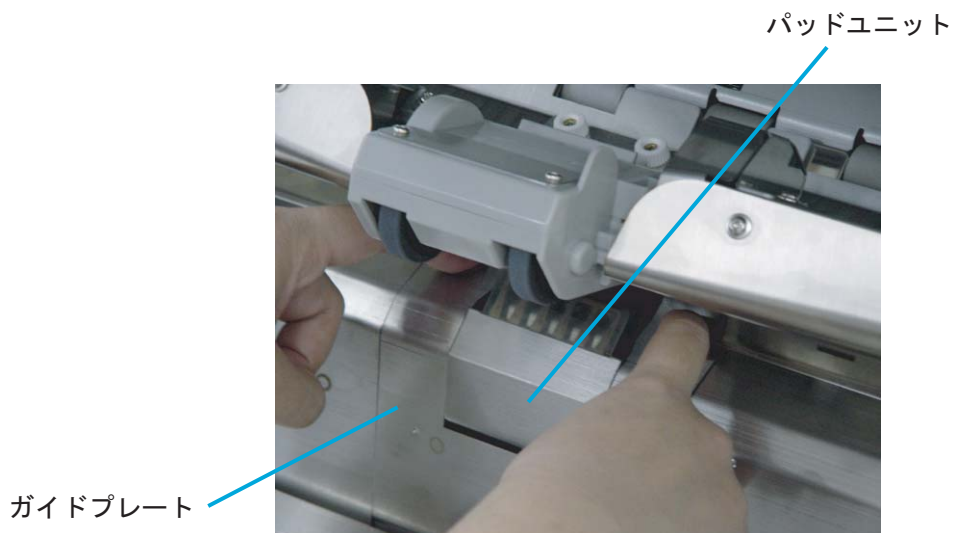
2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



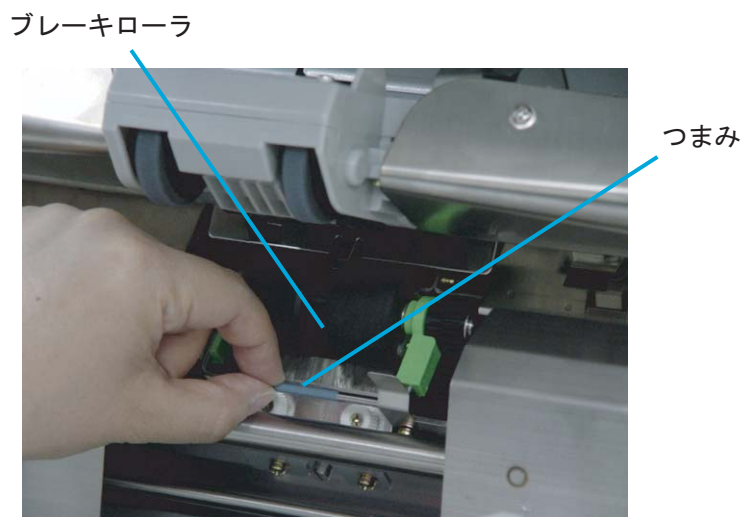
3. ピックローラユニットを 左側に少し押し込みながら、右側のリングを軸から外して取り出します。



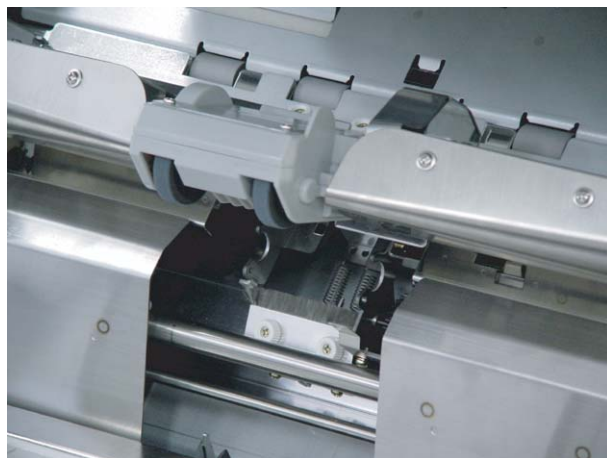
4. ガイドプレートの上側のニケ所を指で押しながら、手前に引き出してガイドプレートを取り出します。



5. ブレーキローラユニットのつまみを持って引き上げてロックを外します。

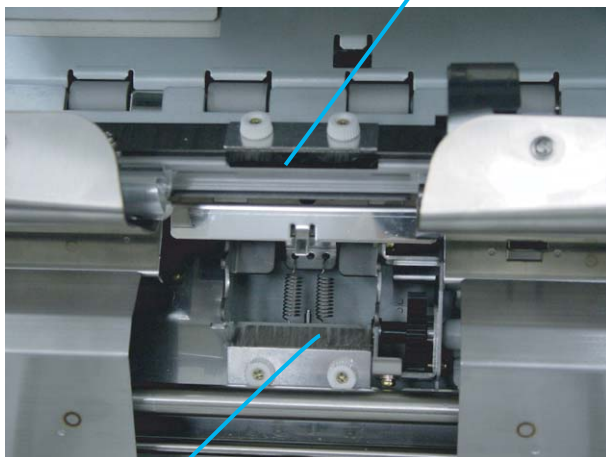


6. そのまま手前に引き出して、ブレーキローラユニットを取り外します。



7. 乾いた布で除電ブラシのほこりを拭き取ります。除電ブラシは、ピックアップユニット側とブレーキローラユニット側の2ヶ所にあります。

除電ブラシ(ピックアップユニット用)



除電ブラシ(ブレーキローラ用)

8. 取り外しと逆の手順でブレーキローラユニットを取り付けます。ブレーキローラユニットがロックされるまでしっかり取り付けます。
9. 取り外しと逆の手順でガイドプレートを取り付けます。下に押し込みながらはめ込むとスムーズに取り付けられます。
10. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。
11. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

3.6 ガラス面の清掃

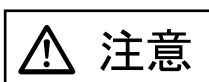
■ リムーバブルシートガイドの清掃



電源を切断して3分以上たってから清掃してください。



1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキヤナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



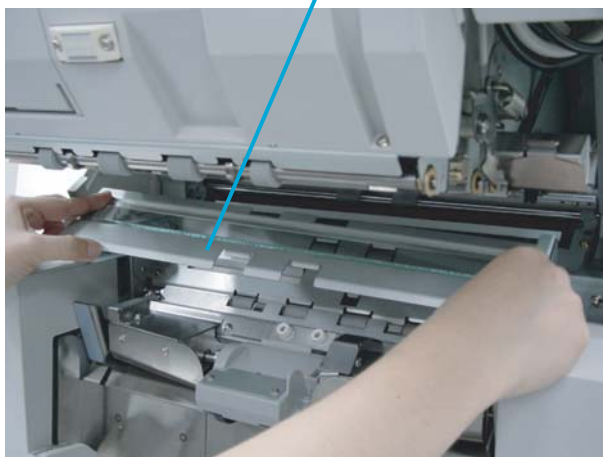
2. リムーバブルシートガイドの両端に人差し指を引っ掛けます。



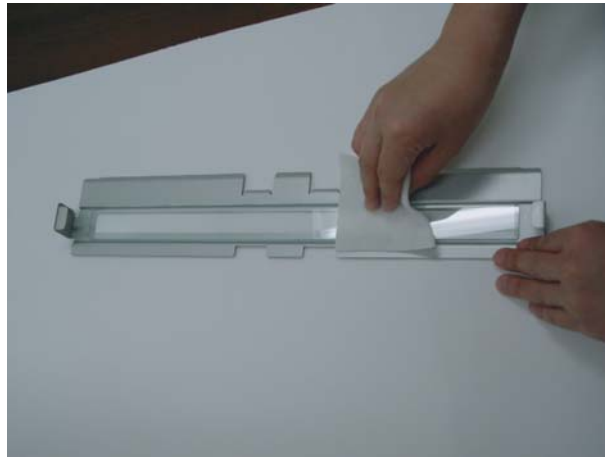
3. 右側を先に上に少し持ち上げます。

4. 左にずらしながら、上に持ち上げて取り外します。

リムーバブルシートガイド



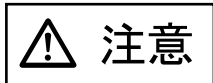
5. ガラス面の両面をクリーナ F1 を浸した布で清掃します。



大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

6. 取り外しと逆の手順でリムーバブルシートガイドを取り付けます。
7. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ ガラスシートガイドの清掃



電源を切断して3分以上たってから清掃してください。



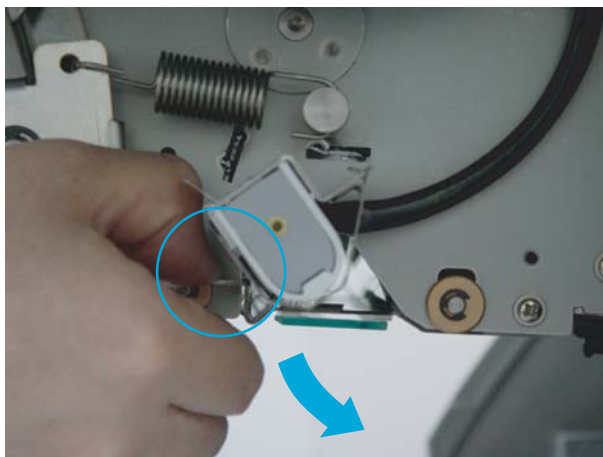
1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。

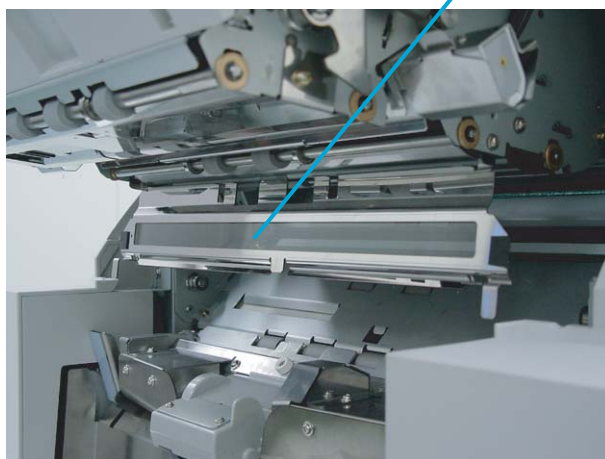


2. ガラスシートガイドのタブを手前に引き下げます。

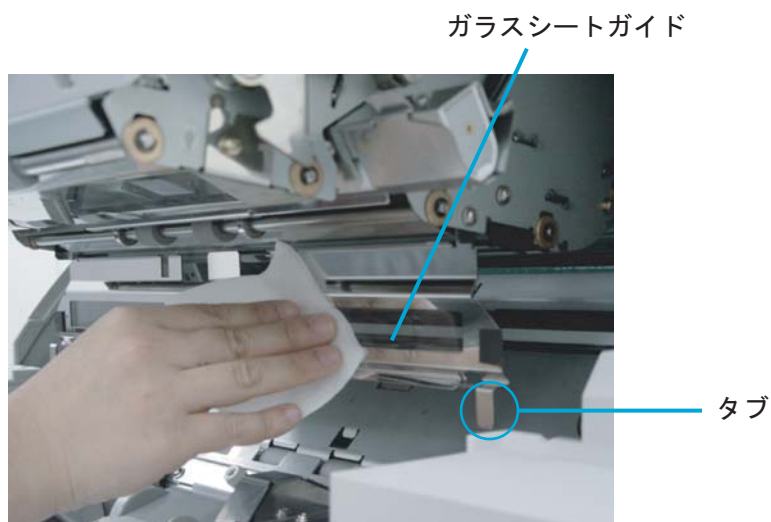


* 側面から見たところ

ガラスシートガイド



3. ガラスシートガイドをクリーナ F1 を浸した布で清掃します。



大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

4. タブを持ちロックがかかるまで上に持ち上げて、ガラスシートガイドを閉じます。きちんとロックされていることを確認してください。

5. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

3.7 センサーの清掃

■ 原稿幅検出センサーの清掃（6ヶ所）

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。

3

日常のお手入れ



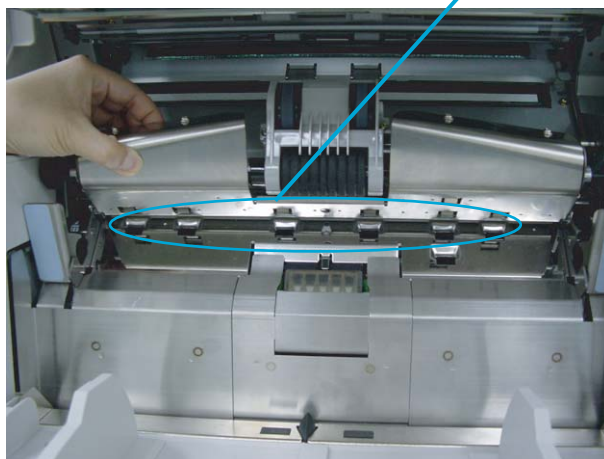
2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



3. ADF 上シートガイドは手で押さえて開けたままの状態にします。

4. センサーの表面（6ヶ所）をクリーナ F1 を浸した布で清掃します。

用紙幅センサ (6ヶ所)



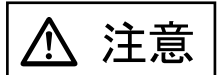
大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

5. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。

6. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ SF0 センサー及び SF1 センサーの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。

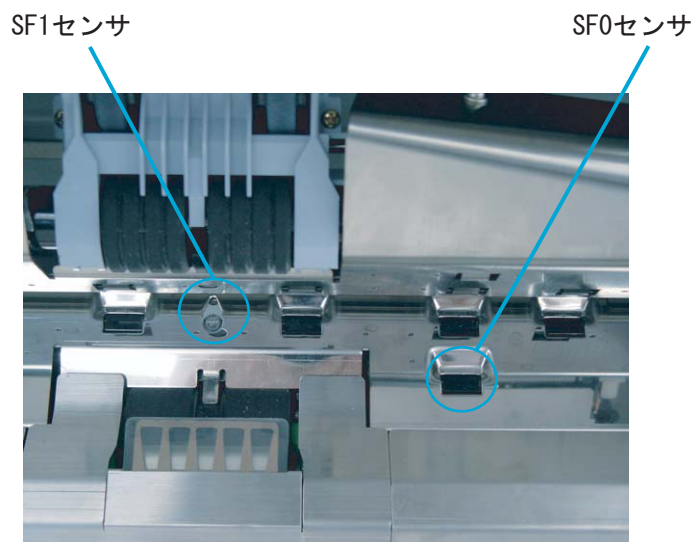


2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



3. ADF 上シートガイドは手で押さえて開けたままの状態にします。

4. SF0 及び SF1 センサーの表面をクリーナ F1 を浸した布で清掃します。



大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

5. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。

6. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ SF1.5 センサー及び SF2 センサーの清掃

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。

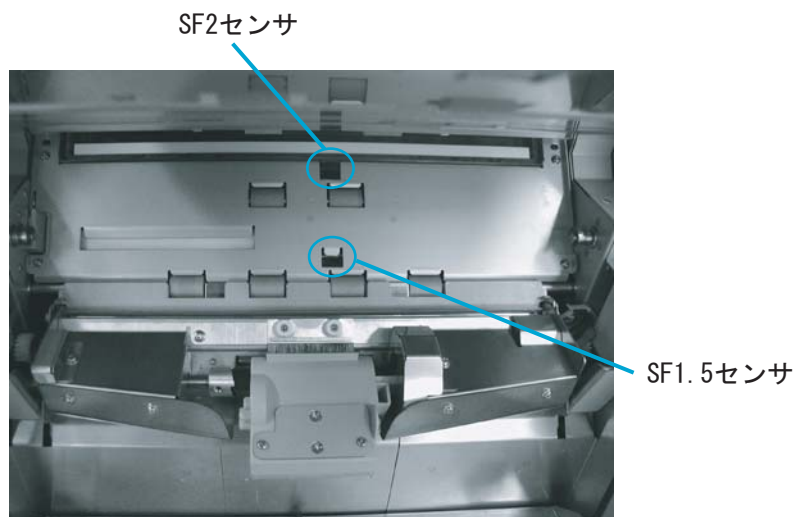


注意

上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



2. SF1.5 及び SF2 センサーの表面をクリーナ F1 を浸した布で清掃します。



大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

3. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

3.8 ランプの清掃



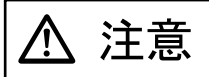
ランプの交換は、必ず電源を切断してから行ってください。



電源を切断して5分以上たってから清掃してください。

■ 表面ランプ

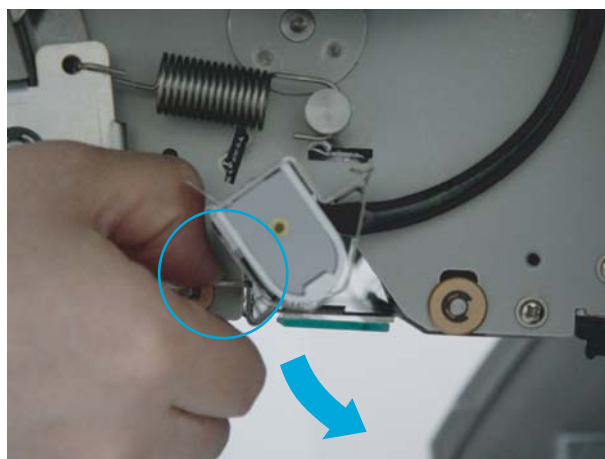
1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキヤナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。

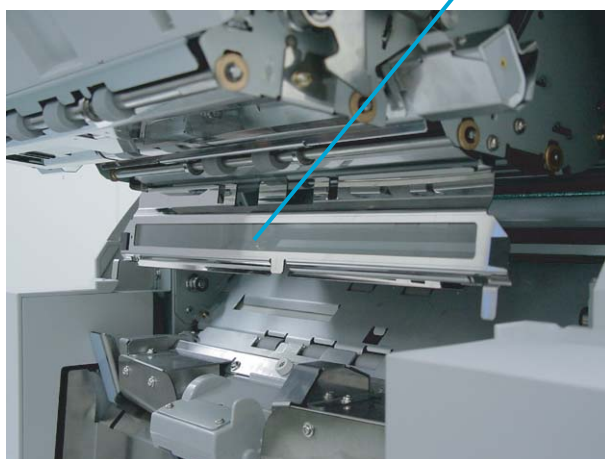


2. ガラスシートガイドのタブを引き下げて、ガラスシートガイドを開きます。

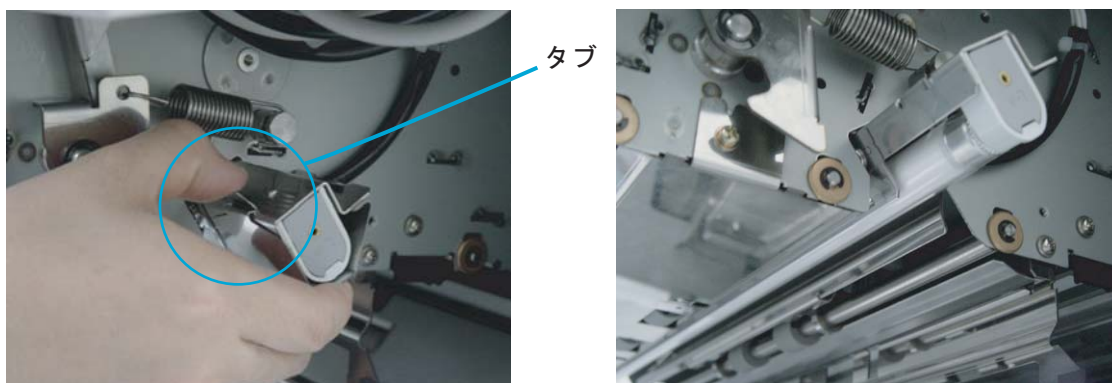


* 側面から見たところ

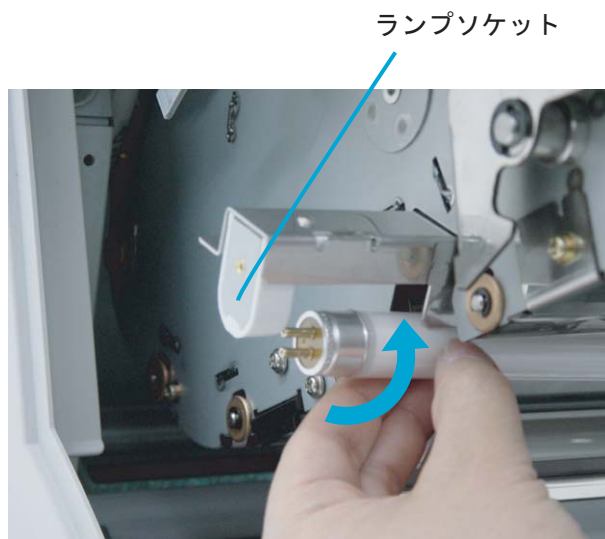
ガラスシートガイド



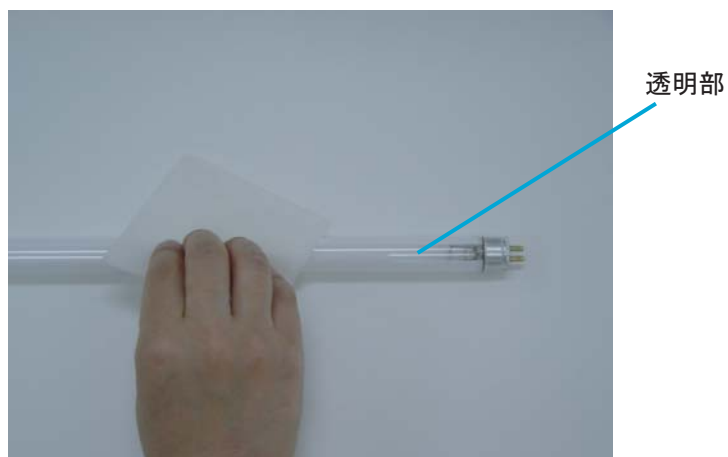
3. 表面ランプを取り付けているソケットの両端にある金具を手前のタブを親指で引き下げながら外します。



4. ランプ両端の電極がランプソケットのスロットに合うように、ランプを半回転させて取り外します。



5. 乾いた布でランプの透明部を清掃します。



6. 表面のランプソケットにランプを取り外した逆の手順で取り付けます。このとき透明部が下になるように取り付けてください。

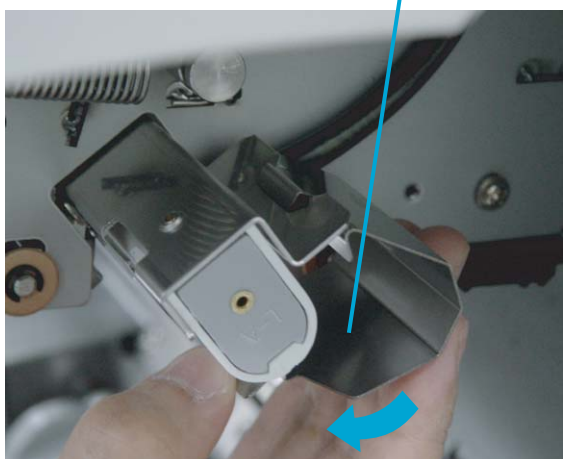


まって!

透明部を逆に取り付けますと、光量不足となりエラーが発生します。

7. 取り外したランプソケットカバーを取り外した逆の手順で取り付けます。下図のように金具の突起部分を引っかけてはめ込んでください。

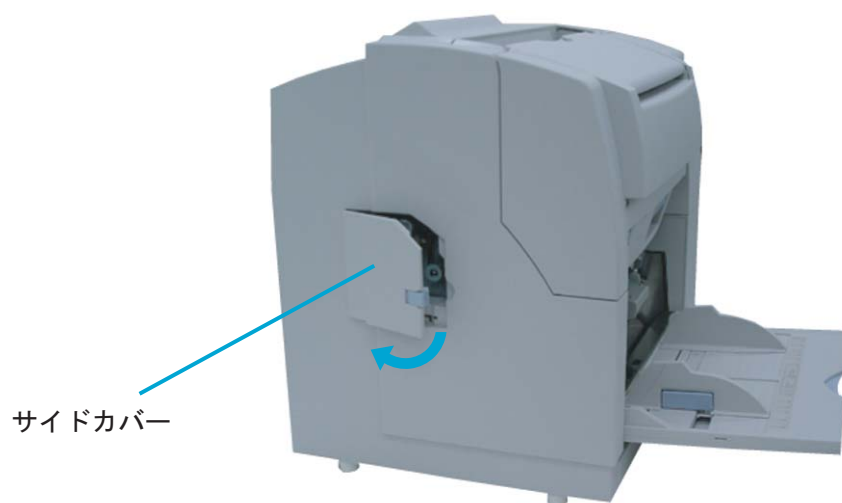
ランプソケットカバー



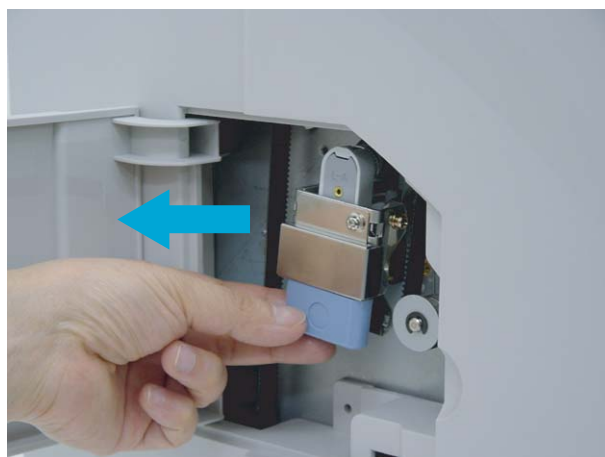
8. ガラスシートガイドを閉じます。きちんとロックされていることを確認してください。
9. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ 裏面ランプ

1. サイドカバーを開きます。

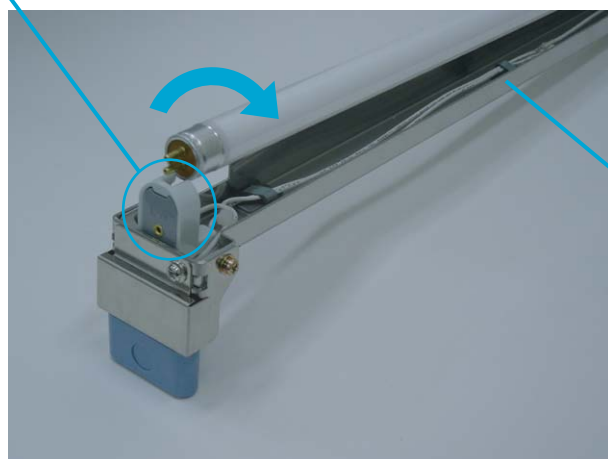


2. つまみ (青色の部分) を持って、裏面ランプユニットを引き出します。



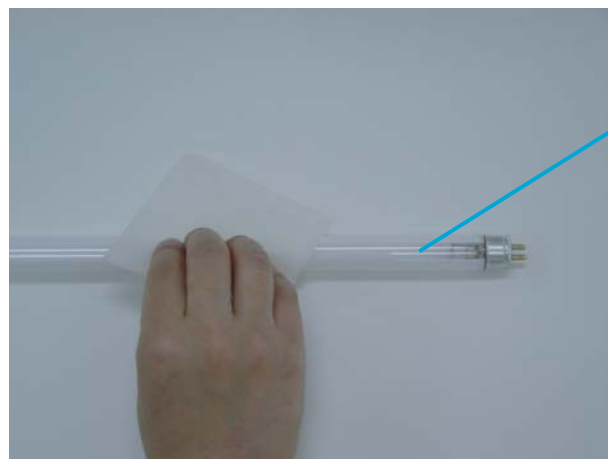
3. ランプ両端の電極がランプソケットのスロットに合うようにランプを半回転させて取り外します。

ランプソケット



裏面ランプユニット

4. 乾いた布でランプの透明部を清掃します。



透明部

5. 裏面ランプユニットにランプを取り外した逆の手順で取り付けます。このとき透明部が上になるように取り付けてください。



透明部を逆に取り付けますと、光量不足となりエラーが発生します。

6. 取り外しと逆の手順で裏面ランプユニットを取り付けます。コネクタがきちんとはまっていることを確認してください。



7. サイドカバーを閉じます。しっかり閉じていることを確認してください。

4 消耗品の交換

この章では、消耗品の交換方法について説明します。

4.1 消耗品の番号と交換周期	108
4.2 消耗品カウンタ値の確認方法	109
4.3 パッドユニットの交換	110
4.4 ピックローラユニットの交換	114
4.5 ブレーキローラユニットの交換	116
4.6 表面ランプの交換	119
4.7 裏面ランプの交換	124

4.1 消耗品の番号と交換周期

以下の表に、本装置に使用される消耗品を示します。寿命前にあらかじめ消耗品を準備されることをお勧めします。消耗品は定期的に交換することが必要です。本装置では、各消耗品取り付け後の読み取り原稿枚数（パッドユニット、ピックアップユニット、ブレーキローラユニット、プリントカートリッジ）およびランプの累計点灯時間をそれぞれ記録していますので、使用枚数または使用時間をチェックすることができます。

チェックをおこないたい場合は「7.3 セットアップモードの詳細」（182 ページ）を参照してください。

品名	仕様	商品番号	交換周期（目安）
ランプ	PA83950-0290	0634460	1,000 時間（60,000 分）
パッドユニット	CA04315-G730	0961131	300,000 枚または 1 年間
ピックアップユニット	PA03296-F711	0634450	300,000 枚または 1 年間
ブレーキローラユニット	CA04315-F705	0961133	300,000 枚または 1 年間
プリントカートリッジ	CA00050-0262	0330610	黒色インクカートリッジ 4,000,000 文字

交換周期は、A4 原稿（80 g/m²）の上質紙、または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって交換周期が異なります。

消耗品はサプライ用品として富士通コワーコ株式会社より販売しております。購入につきましては、本装置をお買い求めの販売代理店や担当営業、PFU イメージングサービス & サポートセンターにご相談ください。



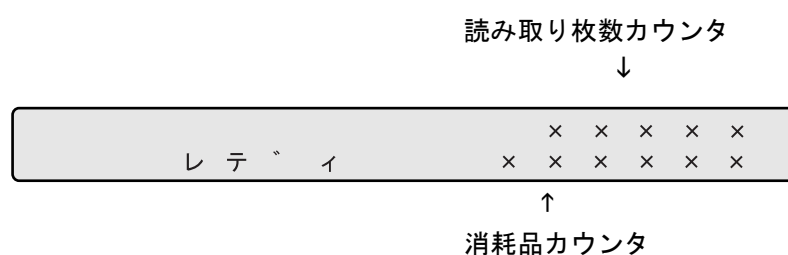
当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

4.2 消耗品カウンタ値の確認方法

■ 操作パネルからの確認

レディ状態において、右下に表示されている数字が消耗品カウンタ値になります。
これはパッドユニット、ピックアップユニット、ブレーキローラユニットの3つの消耗品のうち交換後の累計読み取り枚数の最も大きな値を示しています。

(単位: 1枚)



カウンタの値が0の時は、数値は表示されません。

4.3 パッドユニットの交換

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

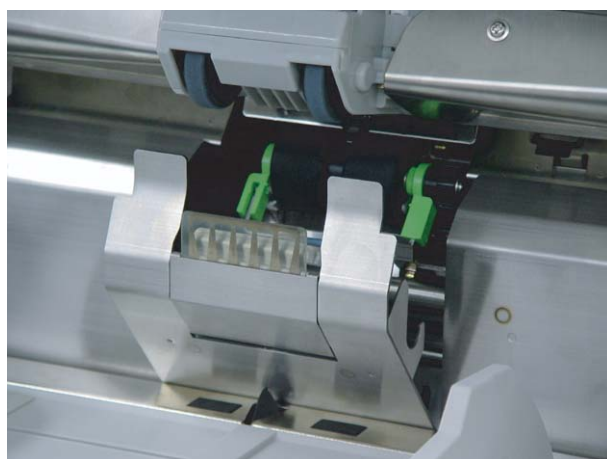
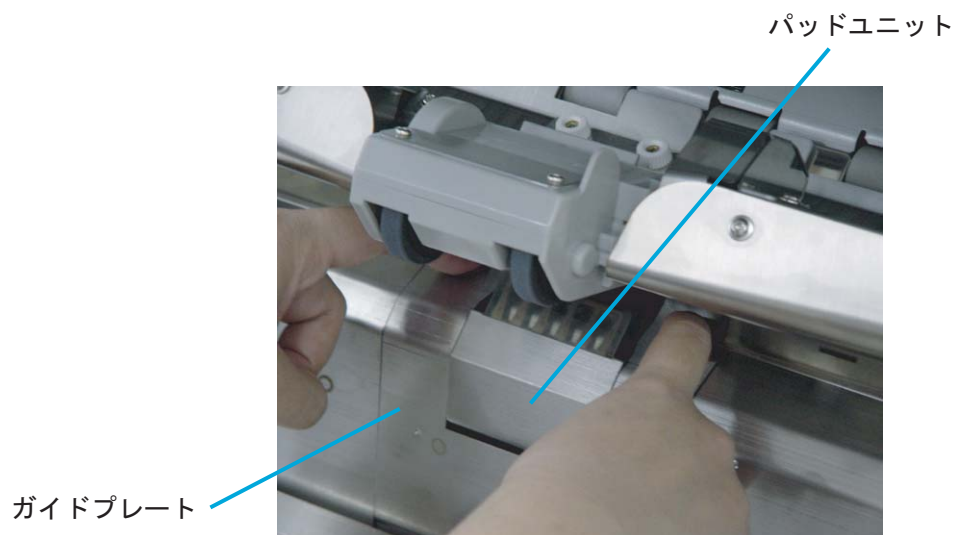
上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



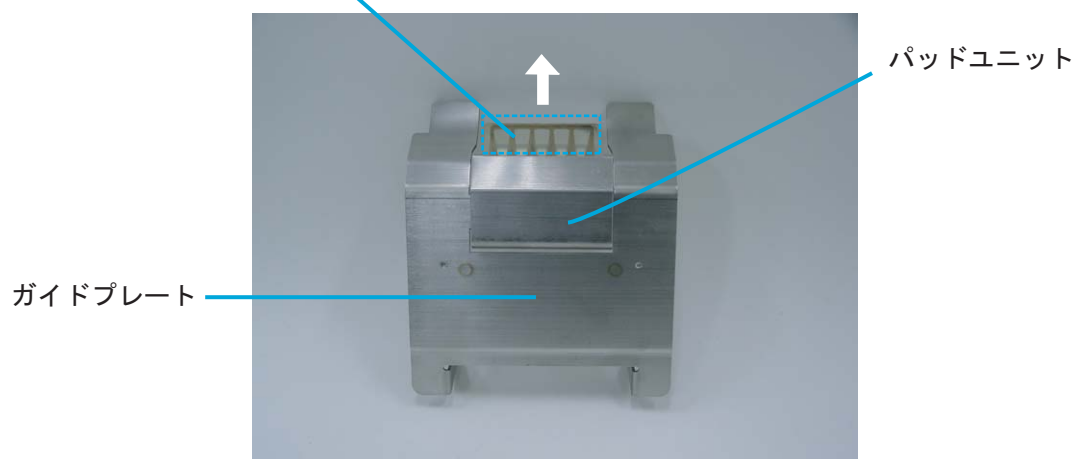
2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



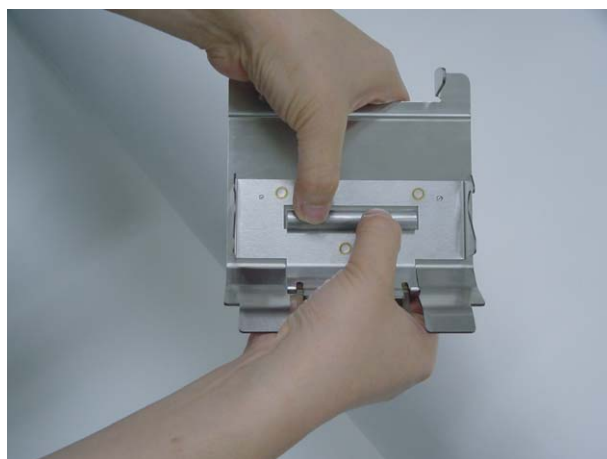
3. ガイドプレートの上側のニケ所を指で押しながら、手前に引き出してガイドプレートを取り外します。



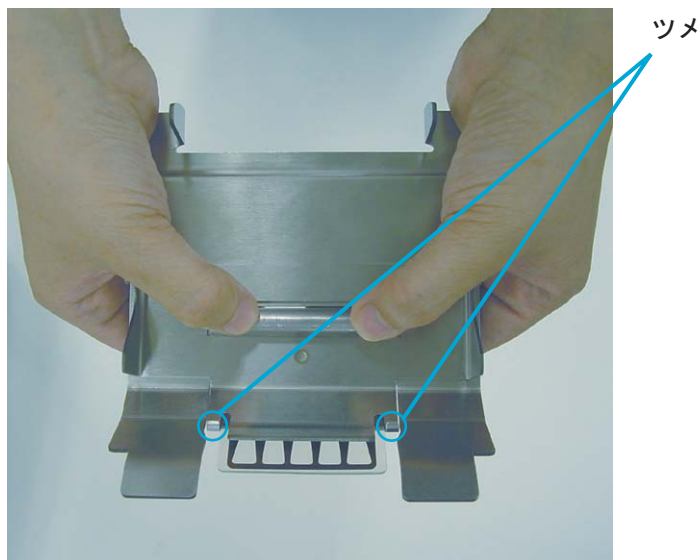
パッド(清掃する部分)



4. パッドユニットをガイドプレートから取り外します。



5. 新しいパッドユニットのツメをガイドプレートに引っ掛けてから、はめ込んで取り付けます。



まって!

パッドユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。
両方のツメがガイドプレートに掛かっていることを確認してください。
完全に取り付けられていないと、原稿詰まりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

6. 取り外しと逆の手順でガイドプレートを取り付けます。下に押し込みながらはめ込むとスムーズに取り付けられます。
7. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。
8. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。
9. パッドユニットの消耗品カウンタをリセットします。
「7.3 セットアップモードの詳細」(182 ページ) を参照してください。

4.4 ピックローラユニットの交換

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

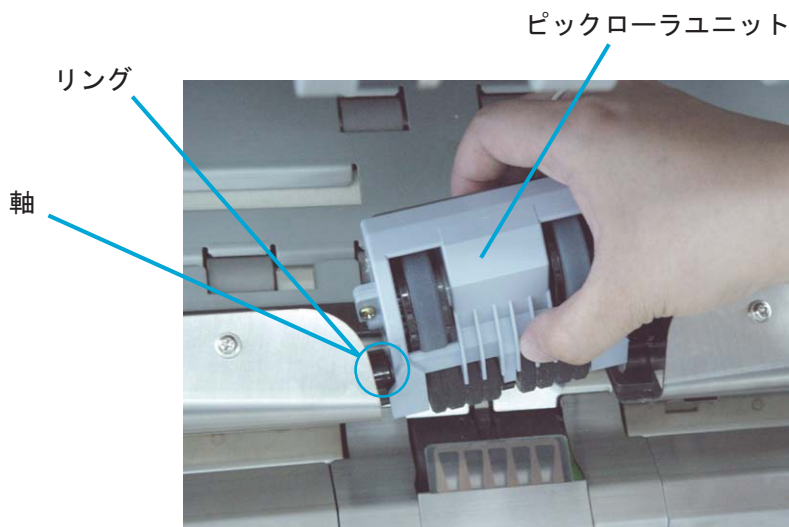
上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



2. ADF レバーを手前に引きながら ADF 上シートガイドを持ち上げます。



3. ピックローラユニットを少し持ち上げます。左側に少し押し込みながら、右側のリングを軸から外します。



4. 取り外しと逆の手順で新しいピックアップユニットを取り付けます。



ピックアップユニットを取り付けた時、先端部が垂れ下がった状態になることがあります。そのときはピックアップユニットをいったん持ち上げると正しい位置に取り付けられます。

誤った取り付け



正しい取り付け



5. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。
6. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。
7. ピックローラの消耗品カウンタをリセットします。
「7.3 セットアップモードの詳細」(182 ページ) を参照してください。

4.5 ブレーキローラユニットの交換

1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



注意

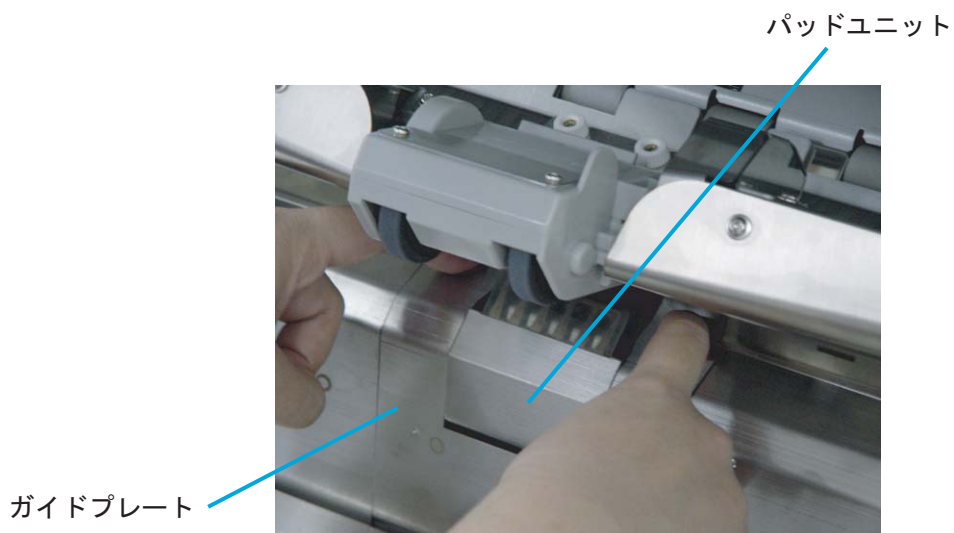
上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



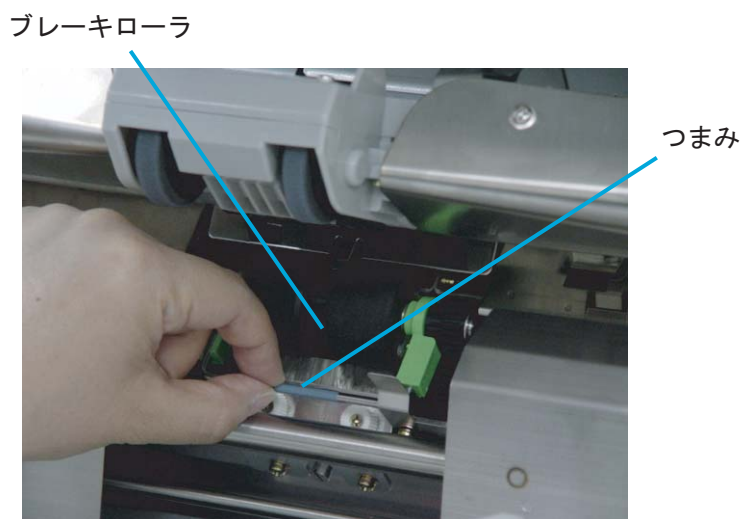
2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



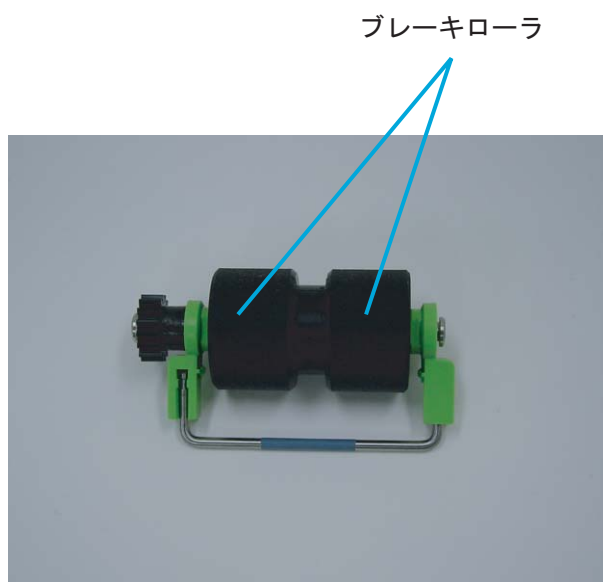
3. ガイドプレートの上側のニヶ所を指で押しながら、手前に引き出してガイドプレートを取り外します。



4. ブレーキローラユニットのつまみを持って上に引き上げてロックを外します。



5. そのまま手前に引き出してブレーキローラユニットを取り外します。



6. 取り外しと逆の手順で新しいブレーキローラユニットを取り付けます。ブレーキローラがロックされるまでしっかり取り付けます。

7. 取り外しと逆の手順でガイドプレートを取り付けます。下に押し込みながらはめ込むとスムーズに取り付けられます。

8. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。

9. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

10. ブレーキローラの消耗品カウンタをリセットします。

「7.3 セットアップモードの詳細」(182 ページ) を参照してください。

4.6 表面ランプの交換



ランプの交換は、必ず電源を切断してから行ってください。



電源を切断して5分以上たってから交換してください。

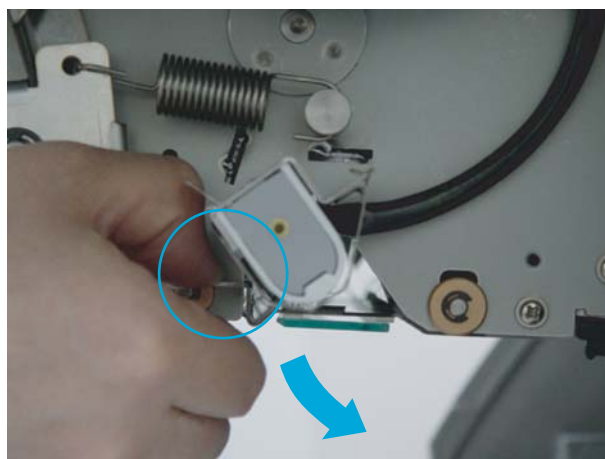
1. スタッカーの原稿を取り除いてから、右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。

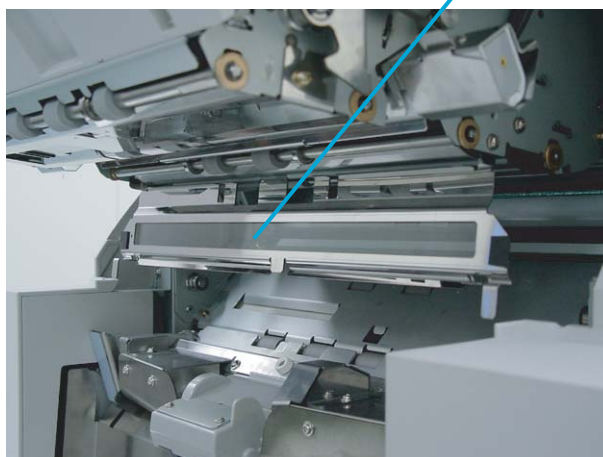


2. ガラスシートガイドのタブを引き下げて、ガラスシートガイドを開きます。

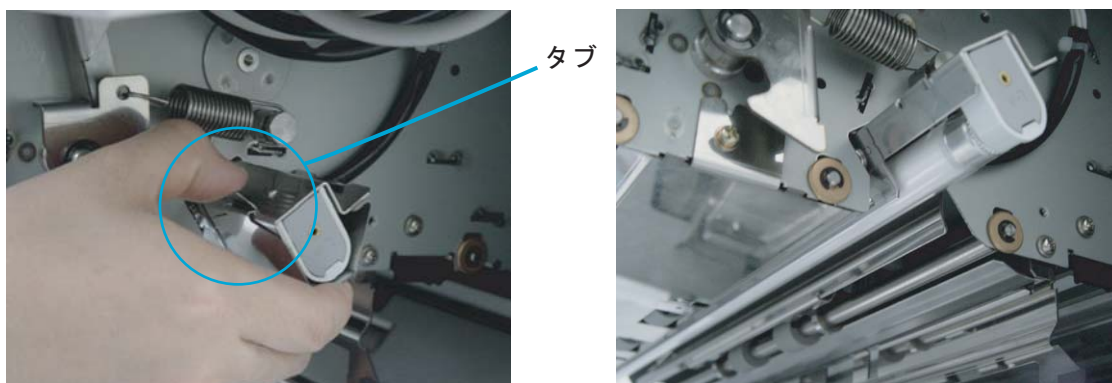


* 側面から見たところ

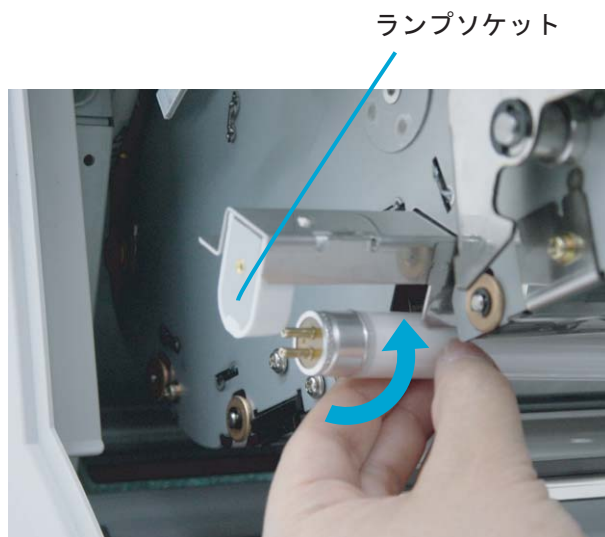
ガラスシートガイド



3. 表面ランプを取り付けているソケットの両端にあるランプソケットカバーを手前のタブを親指で引き下げながら外します。



4. ランプ両端の電極がランプソケットのスロットに合うように、ランプを半回転させて取り外します。



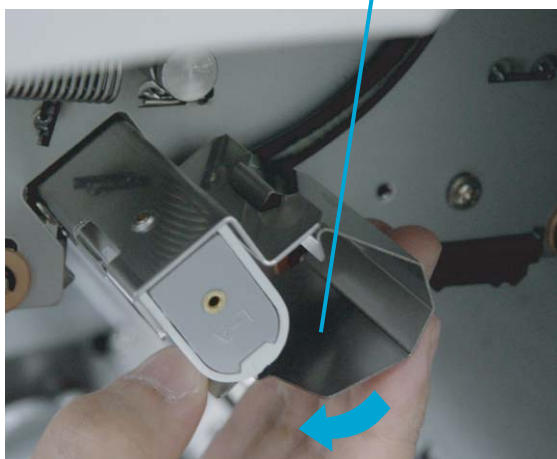
5. 取り外しと逆の手順で新しいランプを取り付けます。このとき透明部が下になるように取り付けてください。



透明部を逆に取り付けますと、光量不足となりエラーが発生します。

6. 取り外しと逆の手順でランプソケットカバーを取り付けます。きちんとロックされていることを確認してください。

ランプソケットカバー



7. ガラスシートガイドを閉じます。きちんとロックされていることを確認してください。
8. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。



ランプの累計点灯時間はテストモードから確認することができます。詳しくは「7章：各種モードについて」（167 ページ）を参照してください。

9. 表面ランプ点灯時間の消耗品カウンタをリセットします。
「7.3 セットアップモードの詳細」（182 ページ）を参照してください。

4.7 裏面ランプの交換

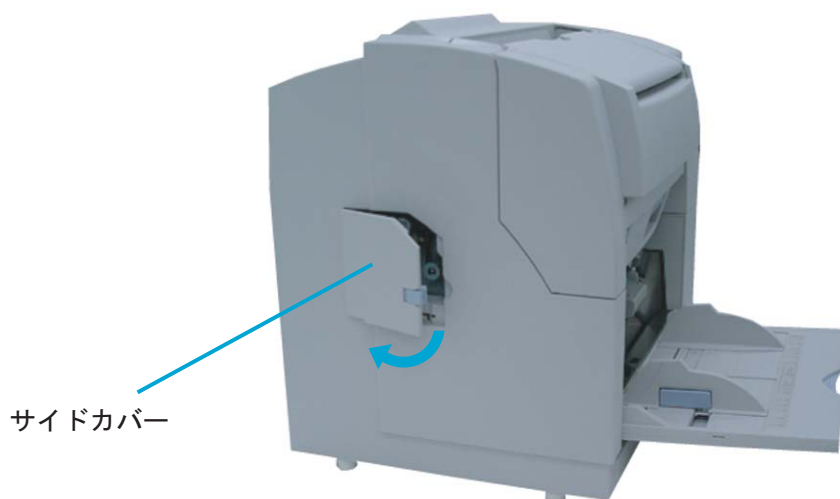


ランプの交換は、必ず電源を切断してから行ってください。

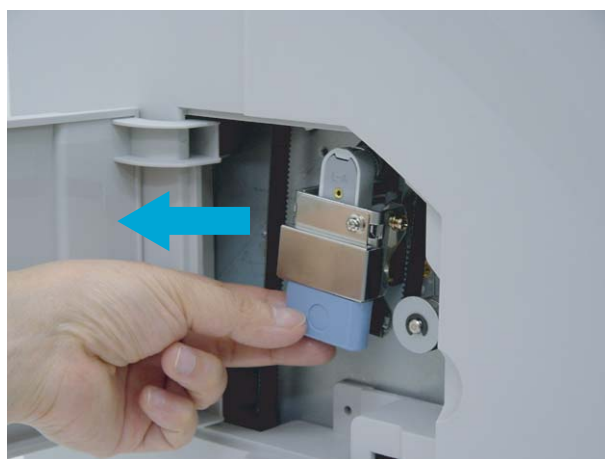


電源を切断して5分以上たってから交換してください。

1. サイドカバーを開きます。

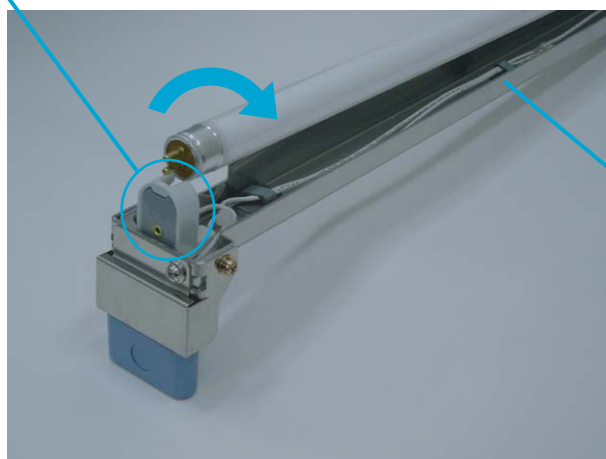


2. 取手（青い部分）を持ち、裏面ランプユニットを引き出します。



- ランプ両端の電極がランプソケットのスロットに合うようにランプを半回転させて取り外します。

ランプソケット



裏面ランプユニット

- 取り外しと逆の手順で新しいランプを裏面ランプユニットに取り付けます。このとき透明部が上になるように取り付けてください。



透明部を逆に取り付けますと、光量不足となりエラーが発生します。

5. 取り外しと逆の手順で裏面ランプユニットを取り付けます。コネクタがきちんとはまっていることを確認してください。



6. サイドカバーを閉じます。しっかり閉じていることを確認してください。



ランプの累計点灯時間はテストモードから確認することができます。詳しくは「7章：各種モードについて」（167 ページ）を参照してください。

7. 裏面ランプ点灯時間の消耗品カウンタをリセットします。

「7.3 セットアップモードの詳細」（182 ページ）を参照してください。

5 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

5.1 原稿づまりが発生したときは 128

5.2 困ったときには 133

5.3 サービスセンターに連絡する前に 154

5.4 装置ラベルの確認 156

5.1 原稿づまりが発生したときは

原稿を読み取っているときに原稿が詰まった場合は、以下の要領で原稿を取り除いてください。



- ・ つまった原稿を取り除くときは、ケガをしないように注意してください。
- ・ つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ・ ガラスが高温になっている場合があります。やけどしないように注意してください。

■ 給紙部または搬送路での原稿詰まりの場合

1. スタッカーの上にある原稿を取り除きます。右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



上搬送ユニットを一番上まで開けてから少し降ろして上搬送ユニットをロックします。スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



2. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



3. つまっている原稿を取り除きます。



ステープラーの針やクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。また、読み取りを行う前に、ステープラーの針やクリップなどは必ず原稿から取り外してください。

4. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。

5. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ 排紙部での原稿詰まりの場合

1. スタッカーの上にある原稿を取り除きます。右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



2. つままっている原稿をスタッカー側に引き出して取り除きます。
3. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろして完全に閉じるまで押します。

■ 原稿分離力の調整

以下のエラーが頻繁に起こる場合はセットアップモードからブレーキローラの調整をおこなってください。

- ・ダブルフィード
- ・ピックミス
- ・カミツマリ1

1. セットアップモードに入ります。

入り方は「1.3 操作パネルの基本操作」(6 ページ) を参照してください。

以下の画面が表示されます。



お使いの原稿の厚さとエラーの内容から、適した設定を選択します。

◇(左方向ボタン) を押すと (1) から (5) の順番に設定項目が表示されます

◇(右方向ボタン) を押すと (5) から (1) の順番に設定項目が表示されます。

- (1) ■ ■ ■ ■ ■ — 原稿厚さ： 厚い
- (2) ■ ■ ■ ■ □ — 原稿厚さ： やや厚い
- (3) ■ ■ ■ □ □ — 原稿厚さ： 普通
- (4) ■ ■ □ □ □ — 原稿厚さ： やや薄い
- (5) ■ □ □ □ □ — 原稿厚さ： 薄い

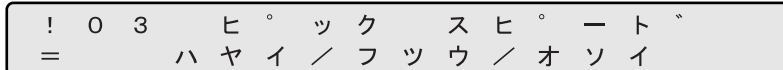
Enter ボタンを押して選択します。

原稿分離力の設定項目は以下のようになっています。

設定	原稿の厚さ	原稿分離力	「ダブルフィード」が頻繁に起こる場合	「ピックアップ」または「カミヅマリ1」が頻繁に起こる場合
アツイ	厚い	強い	原稿分離力を強める	原稿分離力を弱める
ややアツイ	やや厚い	やや強い		
フツウ	普通	中程度 (工場出荷時設定)		
ややウスイ	やや薄い	やや弱い		
ウスイ	薄い	弱い		

ピックアップが頻繁に起こる場合は、さらにピックアップローラの回転速度を調整します。

◇ (下方向ボタン) を押して、以下の画面を表示させます。



◇ (左方向ボタン) または ◇ (右方向ボタン) を押して、項目を選択します。



点滅している状態が、その項目を選択している状態です。

[Enter] ボタンを押して、設定を有効にします。

ピックスピード	ピックアップが頻繁に発生する
ハイ (工場出荷)	↓ ピックスピードを遅くします
フツウ	
オソイ	



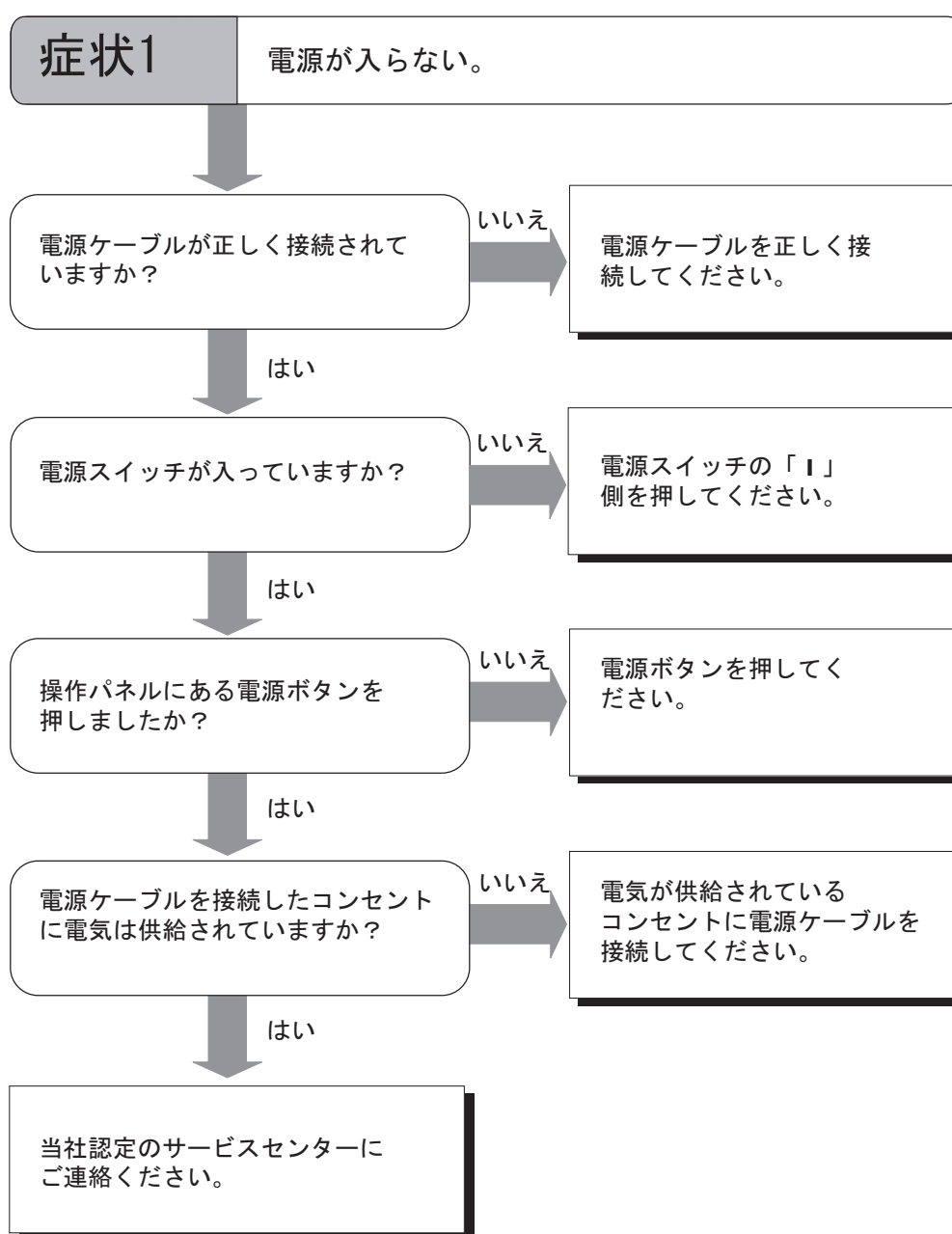
ピックスピードを [フツウ] [オソイ] に設定すると、読み取り処理速度が遅くなります。

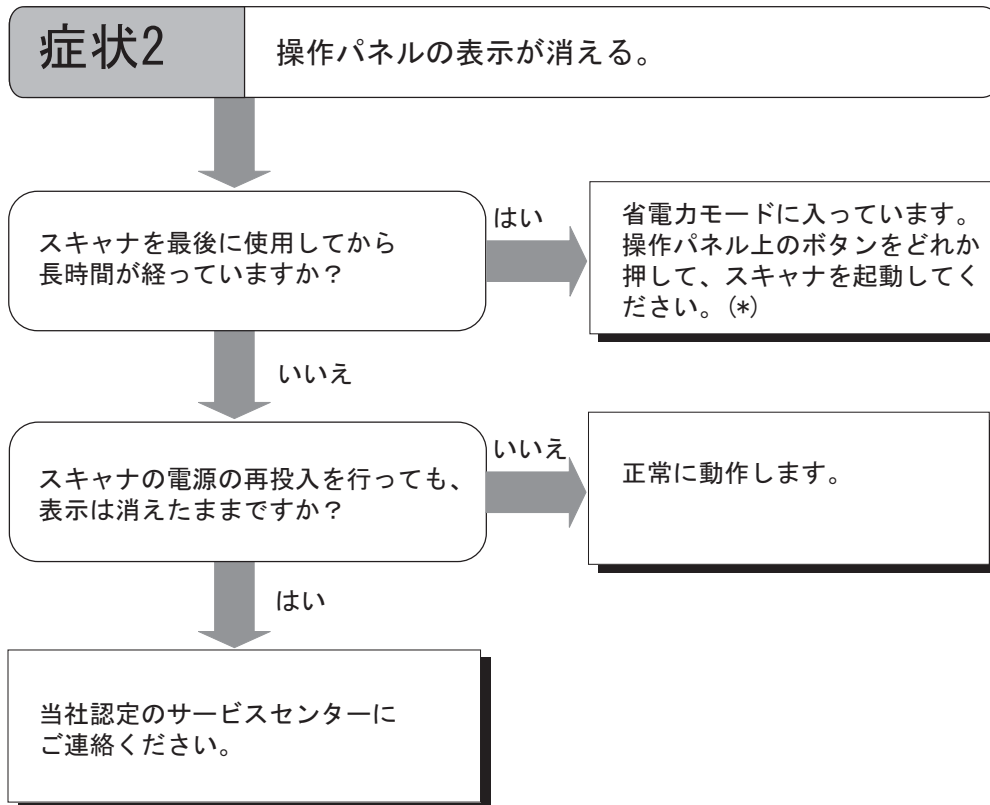
5.2 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。

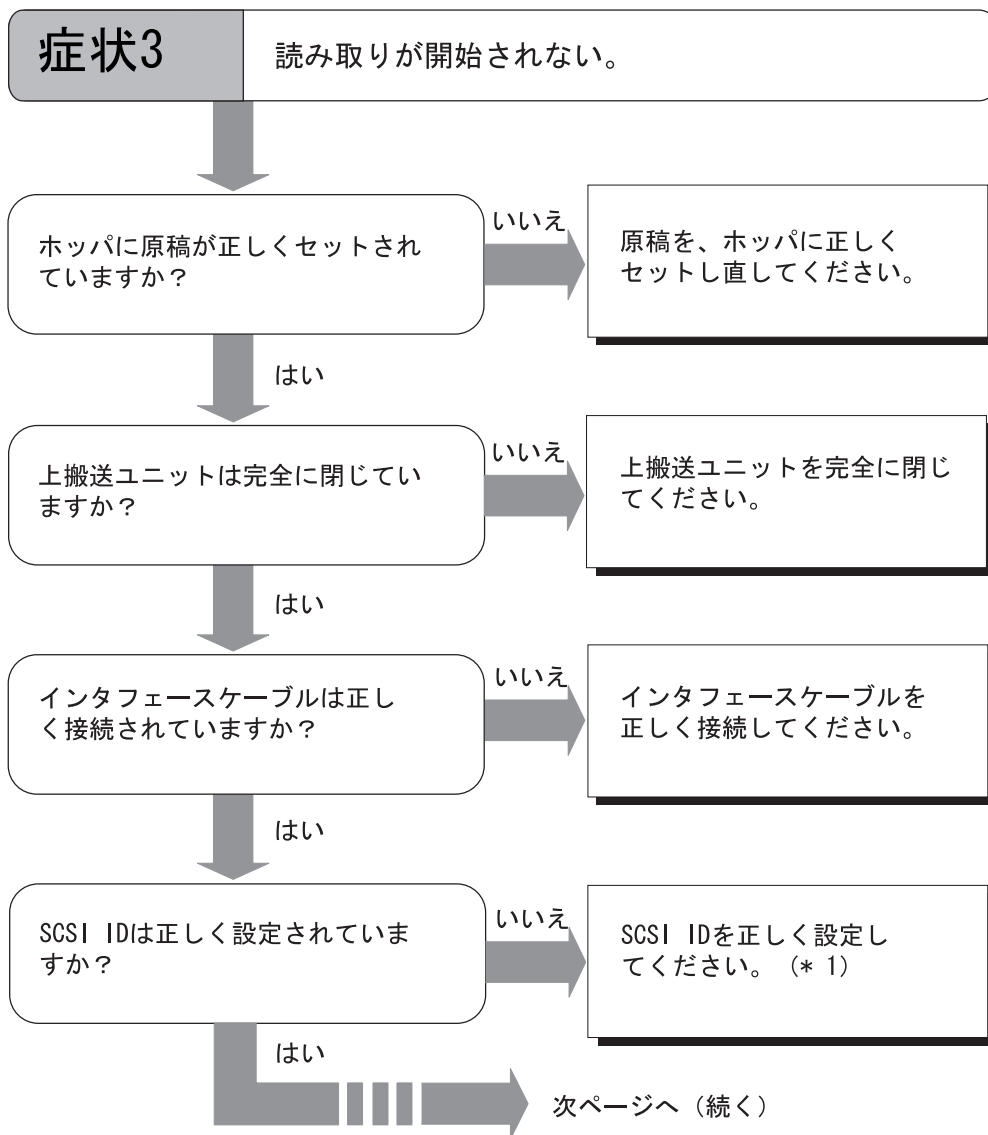
修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。

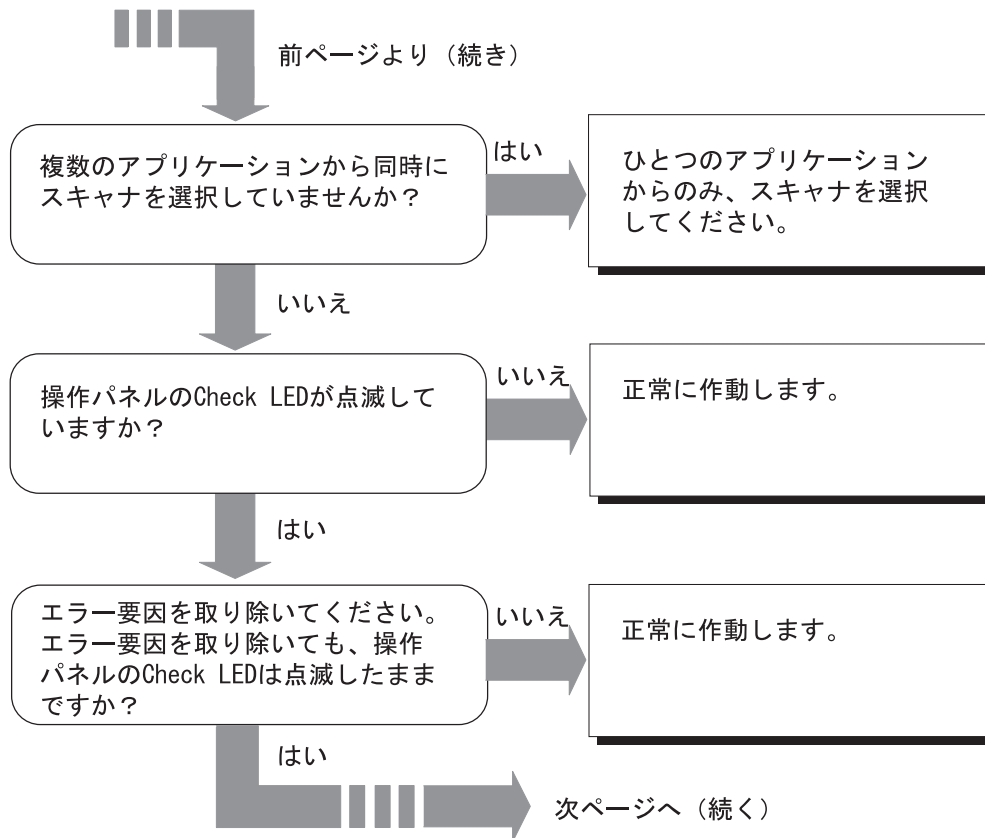
項目を点検しても直らない場合は「5.3 サービスセンターに連絡する前に」（154 ページ）の各項目を確認して、ご購入の販売代理店、または PFU イメージングサービス & サポートセンターに問い合わせてください。

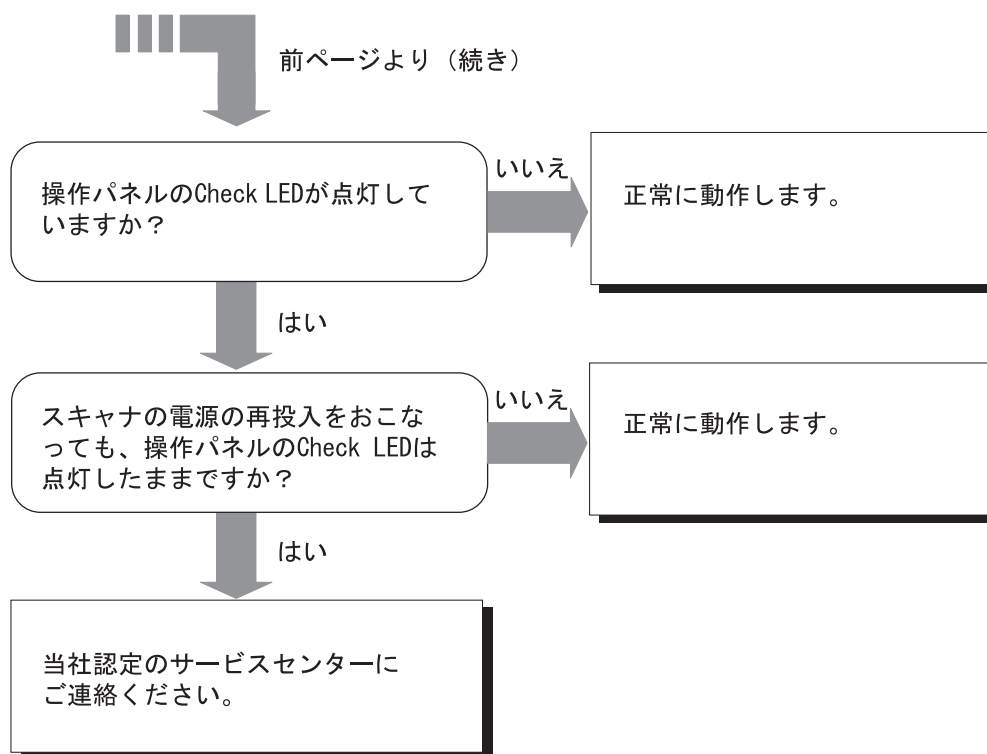




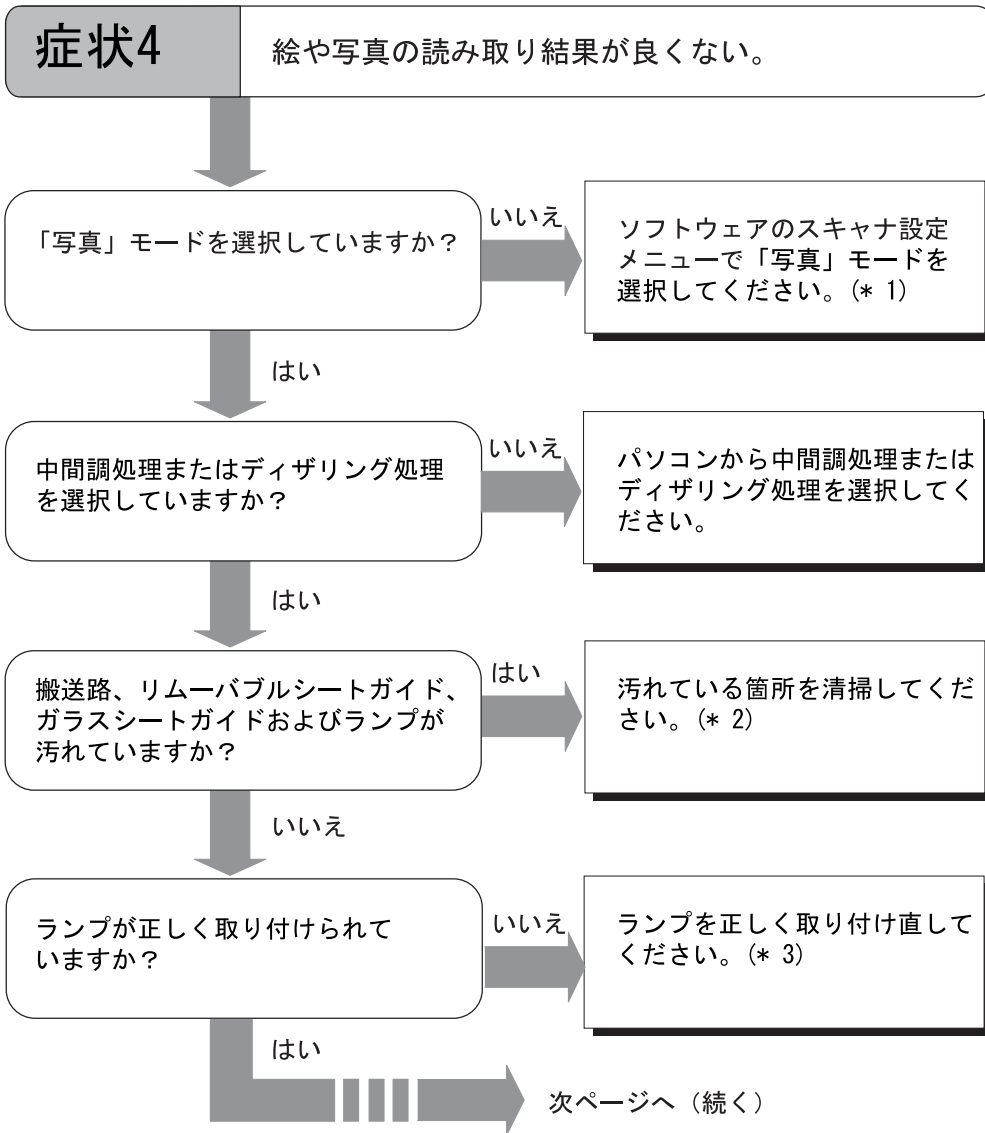
(*) 電源ボタンは除きます。







(* 1) SCSI ID の設定方法は「7.3 セットアップモードの詳細」（182 ページ）を参照してください。

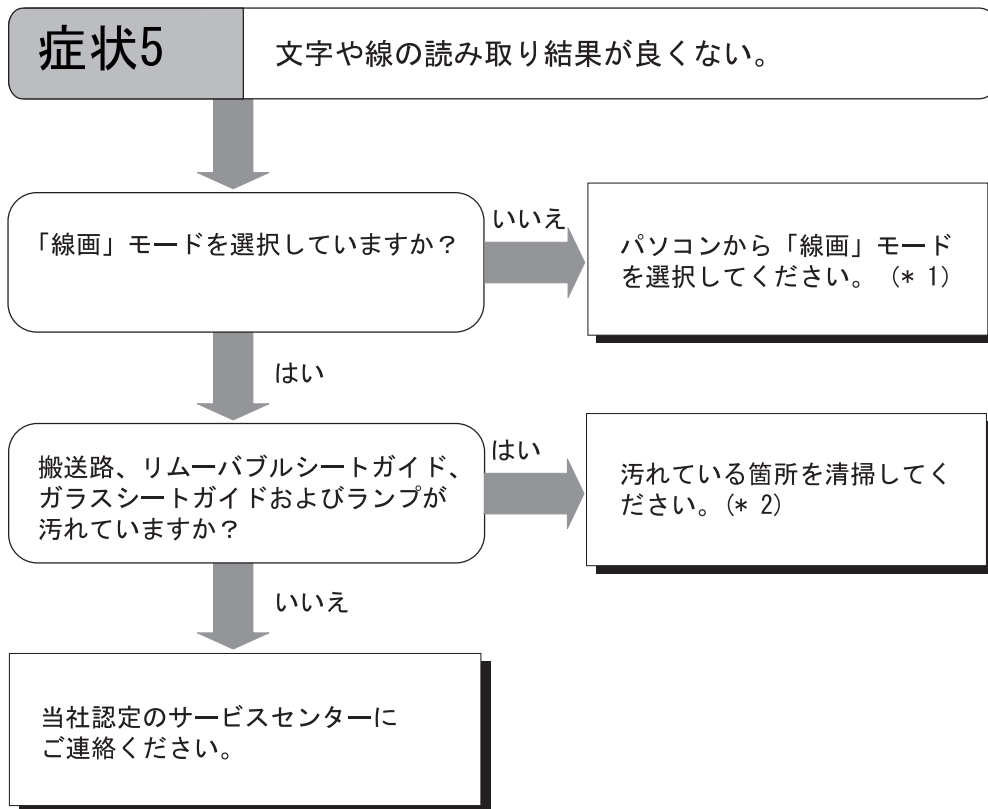




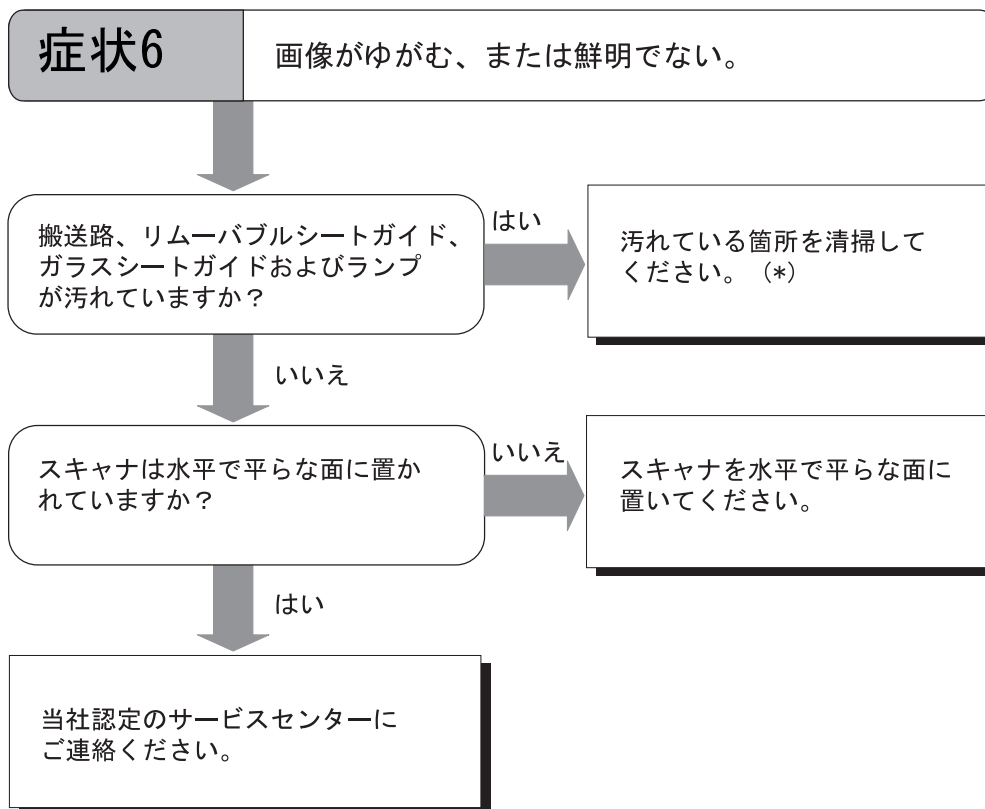
前ページより（続き）

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

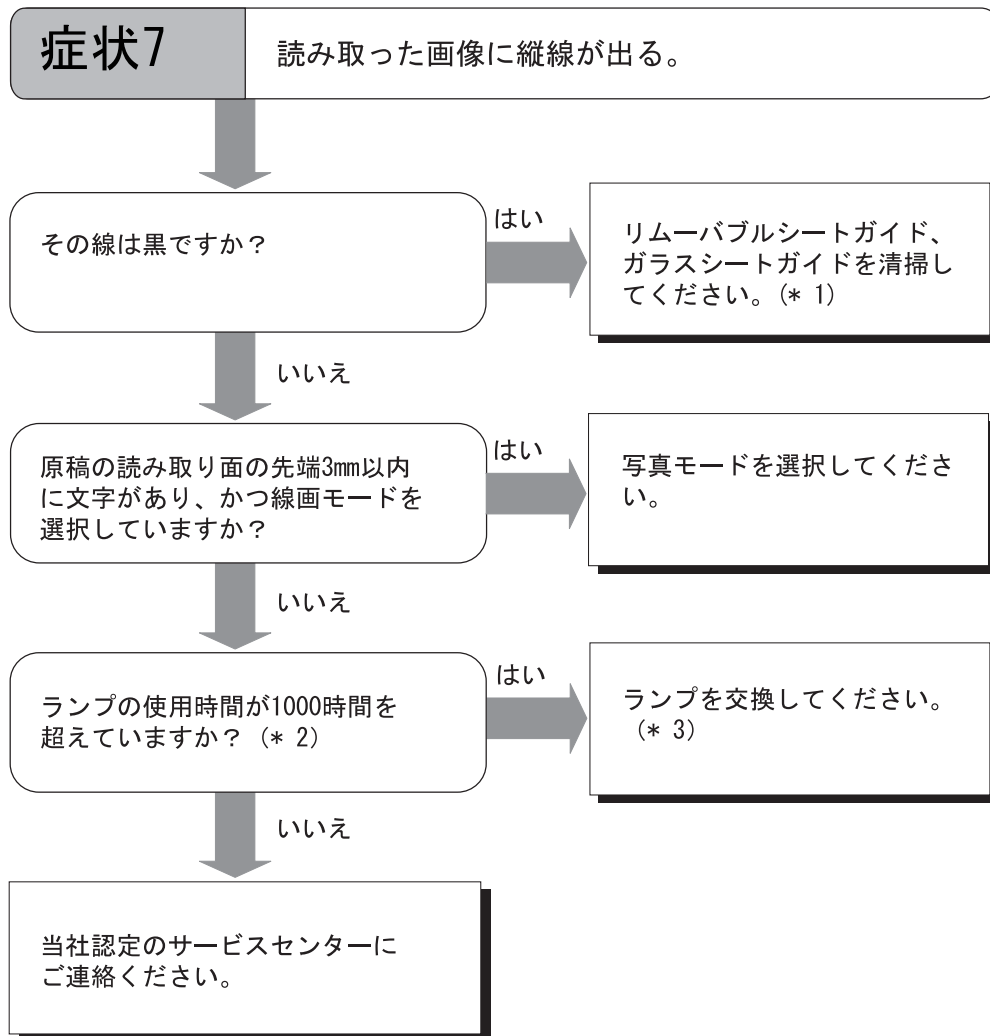
- (* 1) 絵や写真の読み取りに [線画] モード (バイナリモード) を使用すると画像がオリジナルと著しく異なることがあります。[写真] モードの名称と設定方法はソフトウェアにより異なります。ドライバ設定画面から設定可能な場合は画像タイプを [ハーフトーン] [グレースケール] あるいは [24bit カラー] に設定してください。
- (* 2) 汚れている箇所の清掃方法については「3 章：日常のお手入れ」(61 ページ) を参照してください。
- (* 3) ランプの交換方法については「4 章：消耗品の交換」(107 ページ) を参照してください。



- (* 1) ハーフトーンモードを用いると文字や線画の読み取り結果が鮮明でないことがあります。
 [線画] モードの選択方法およびモードの名称はアプリケーションにより異なります。ドライバ設定画面から設定できる場合は画像タイプを [二値白黒] を設定してください。
- (* 2) 汚れている箇所の清掃方法については「3章：日常のお手入れ」(61 ページ) を参照してください。



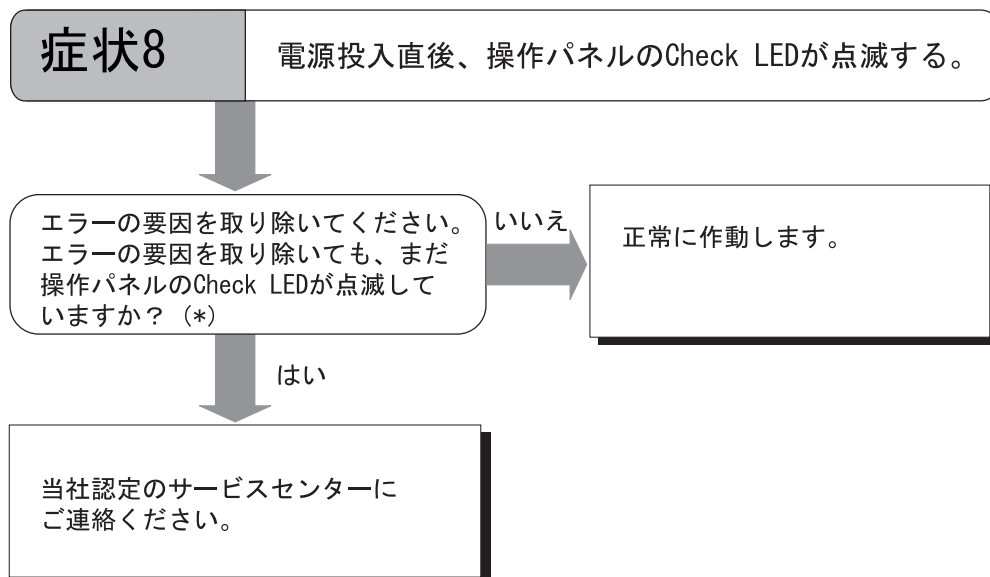
(*) 汚れている箇所の清掃方法については「3章：日常のお手入れ」(61 ページ) を参照してください。



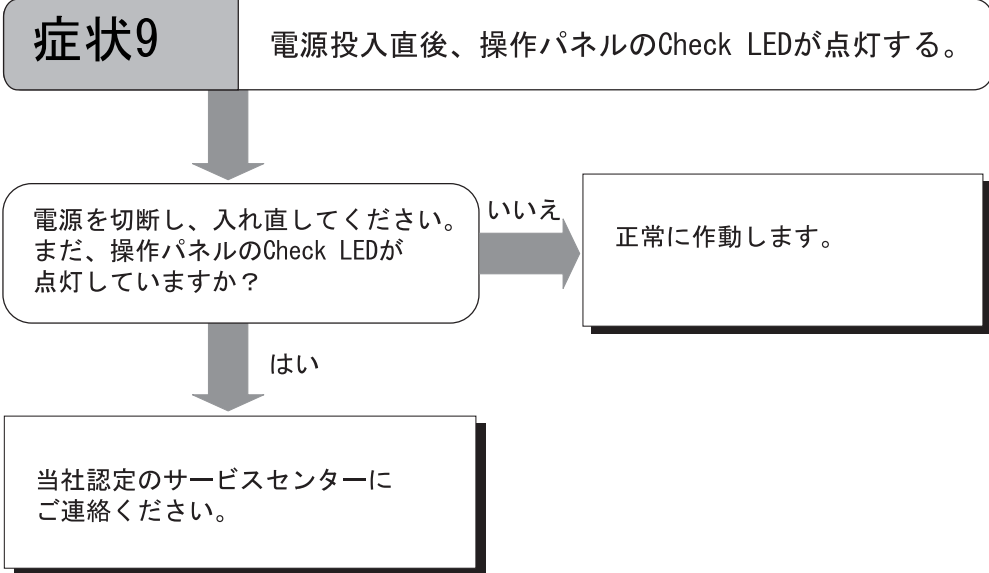
(* 1) リムーバブルシートガイド、ガラスシートガイドの清掃方法については「3章：日常のお手入れ」(61 ページ) を参照してください。

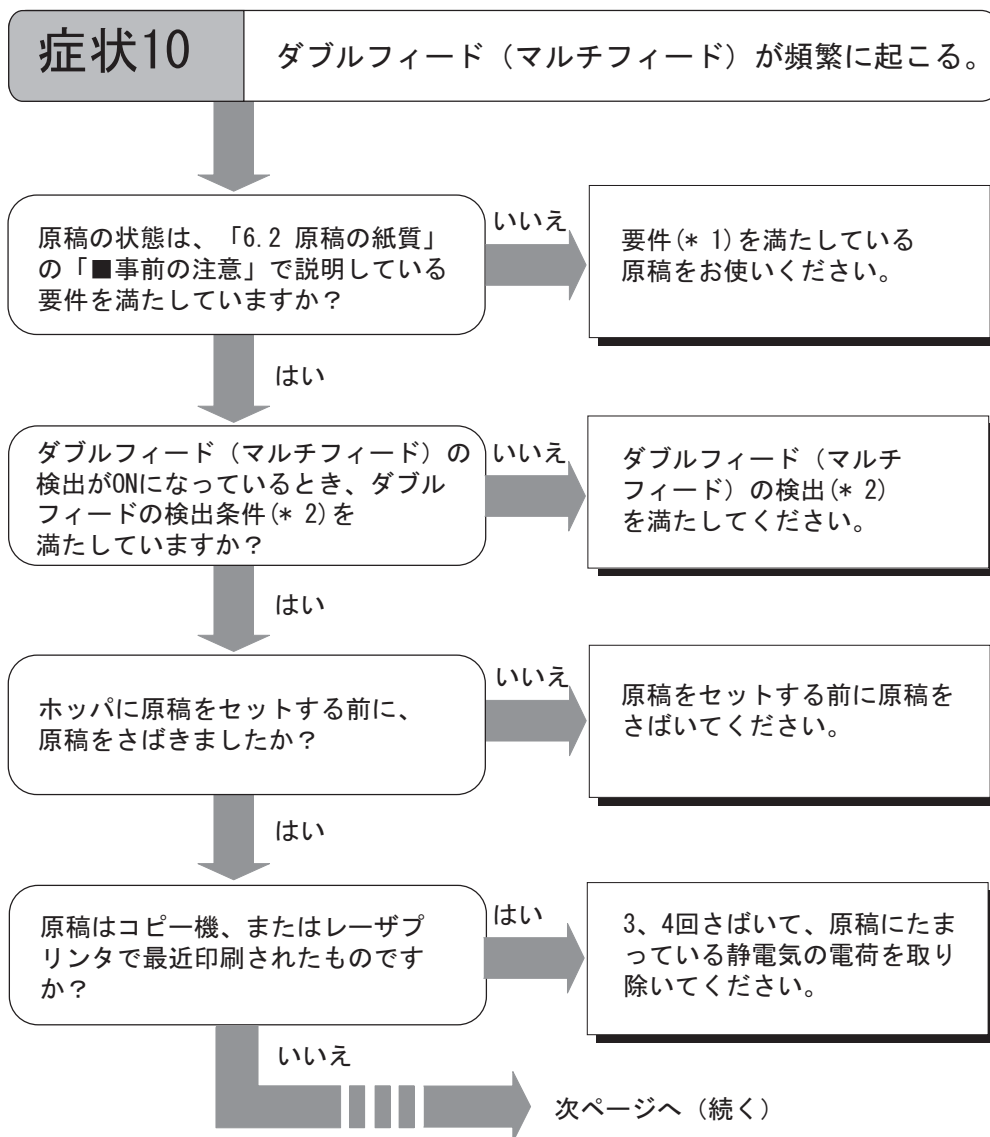
(* 2) ランプ点灯時間の確認については「7.5 テストモードの詳細」(238 ページ) を参照してください。

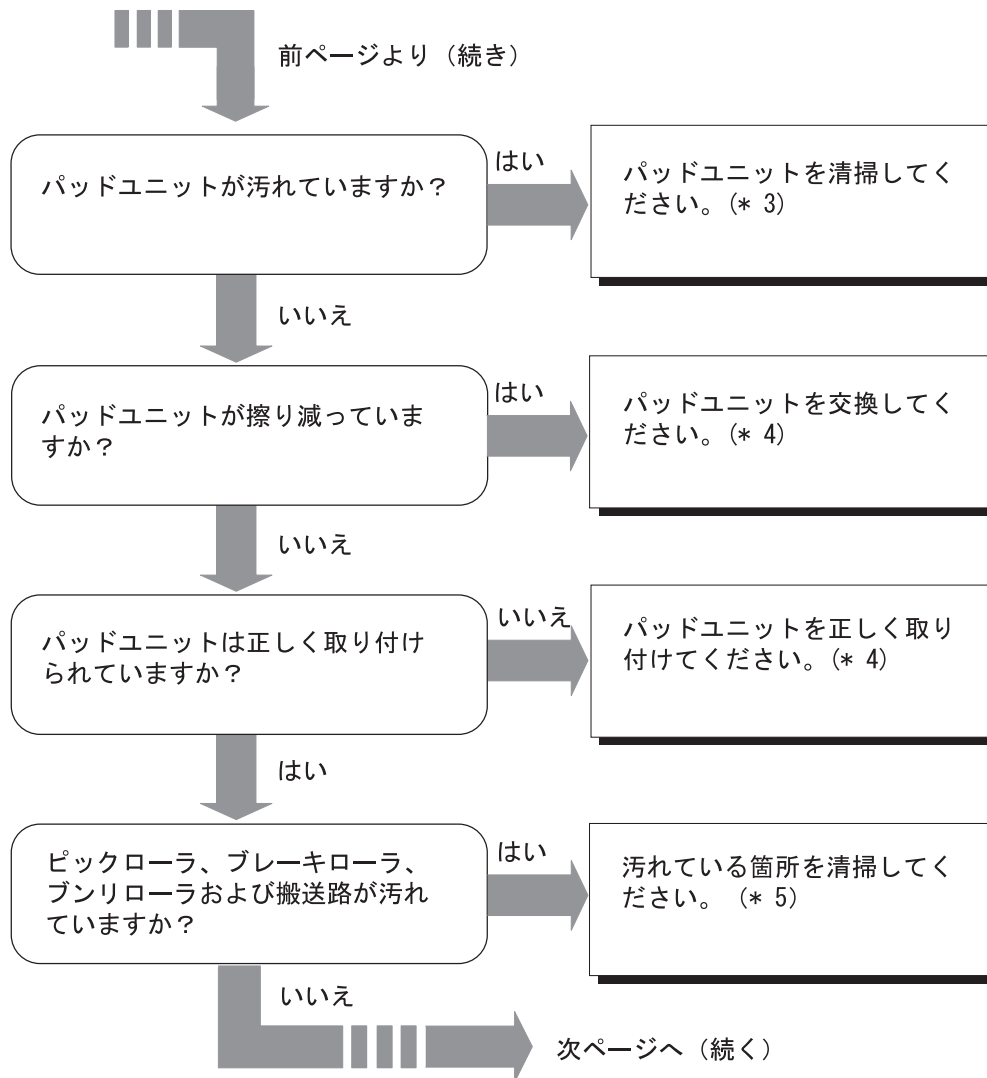
(* 3) ランプの交換方法については「4章：消耗品の交換」(107 ページ) を参照してください。

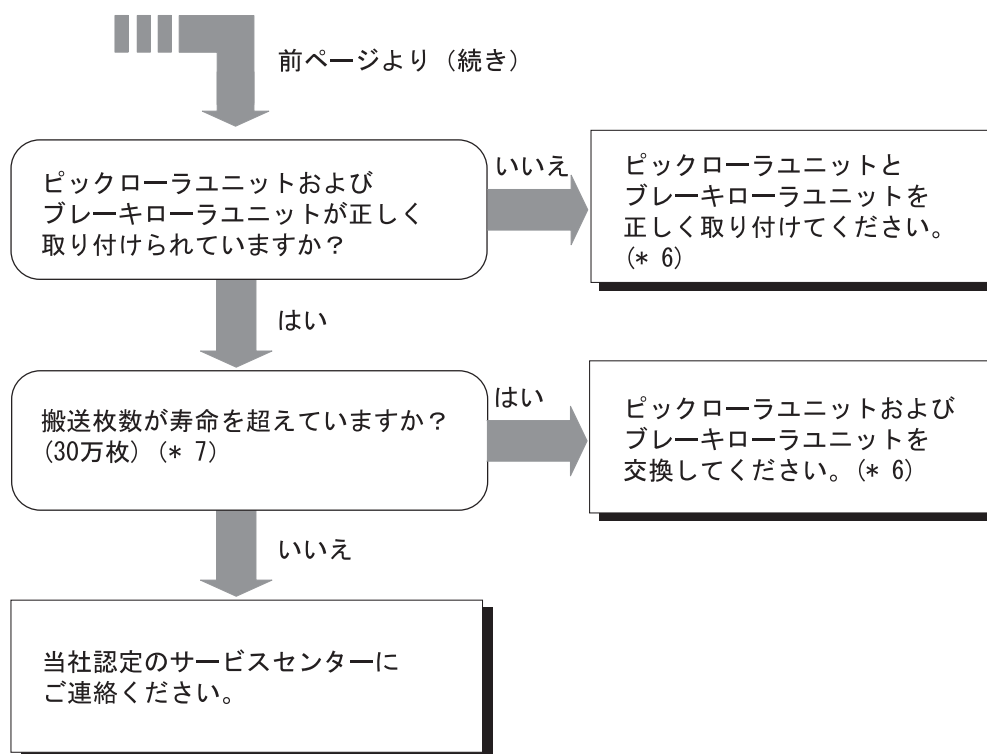


(*) 復旧可能なエラーメッセージと復旧方法については「付録3：操作パネルのメッセージ」(AP-5 ページ)を参照してください。

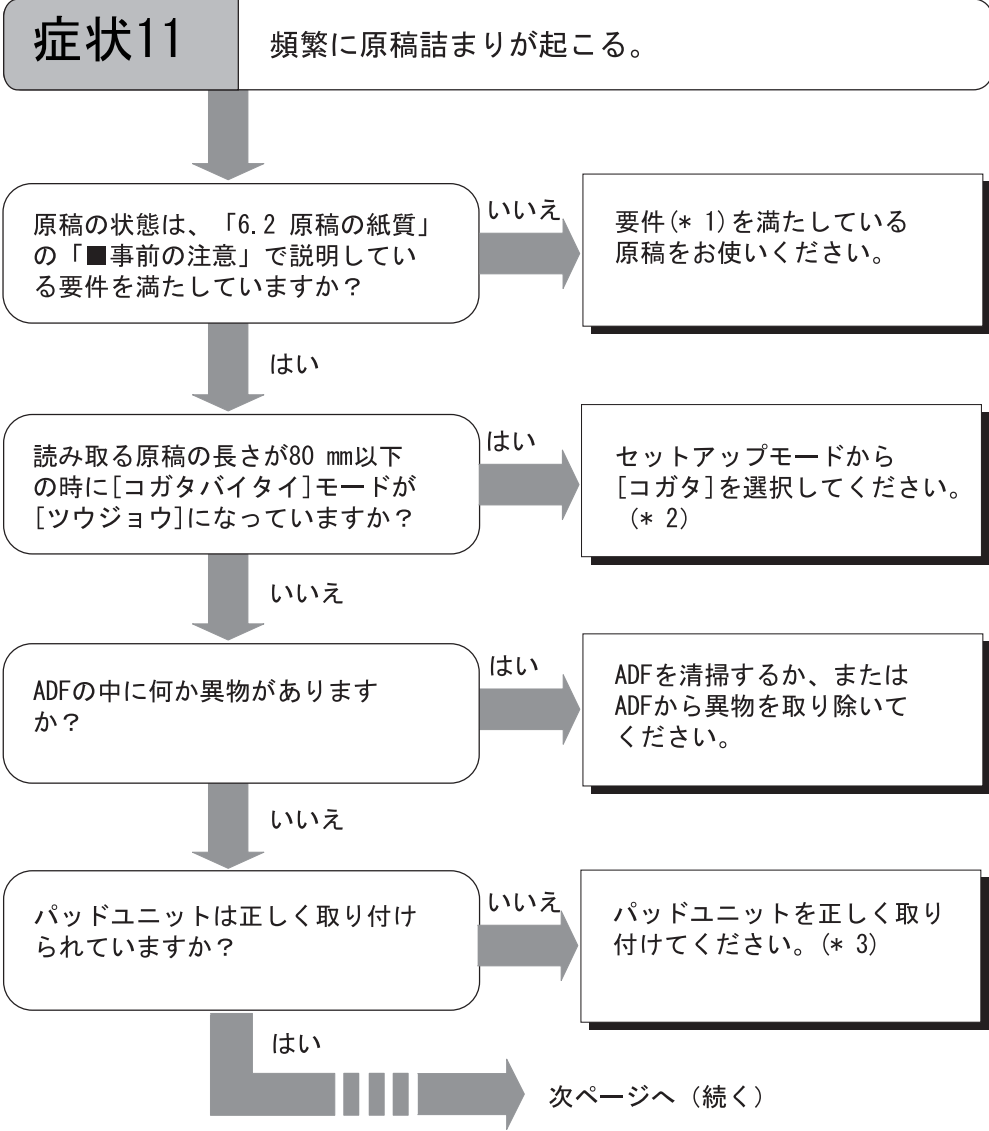


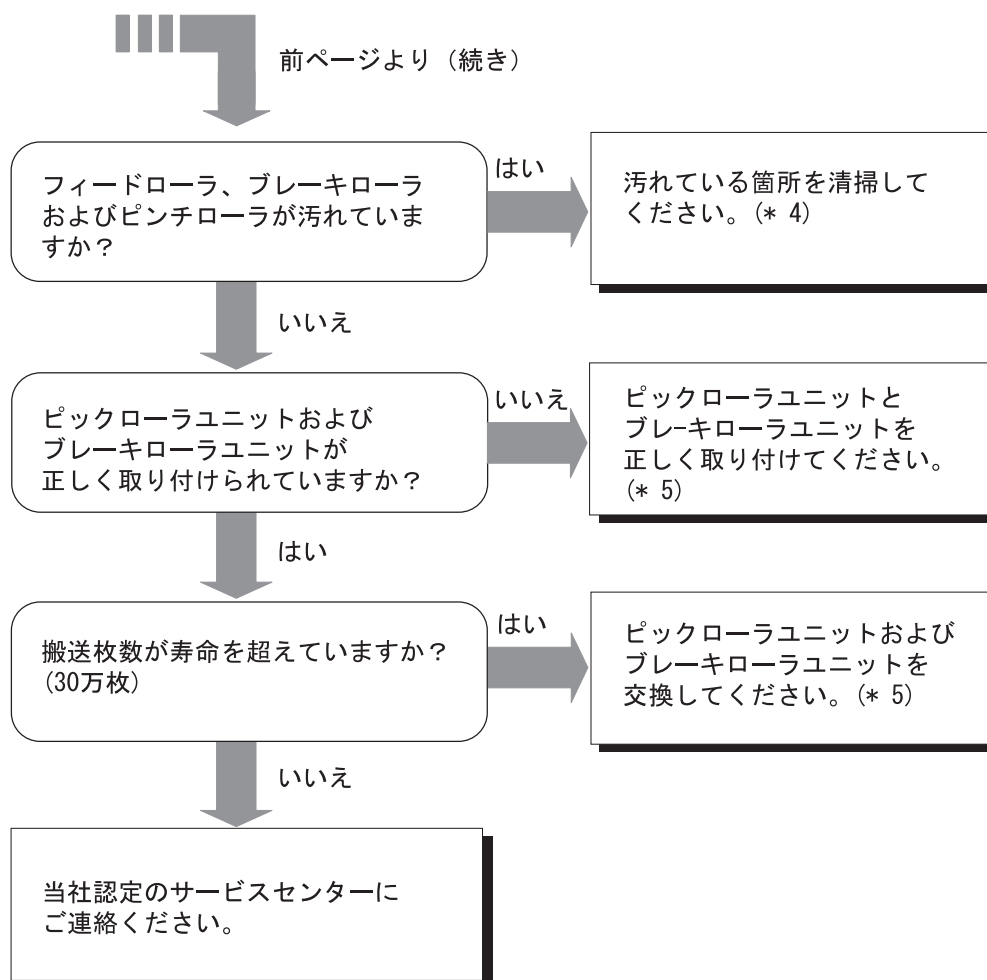




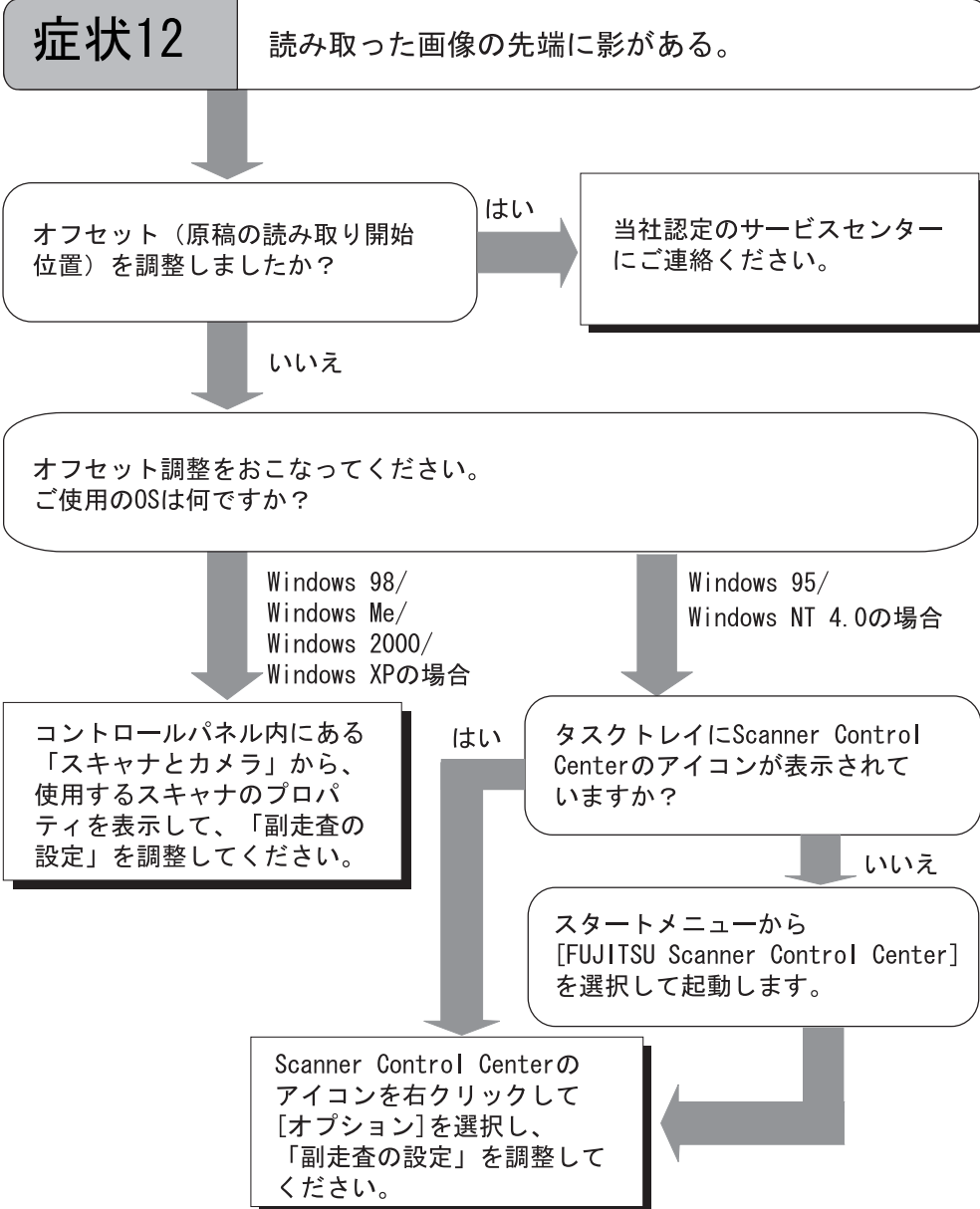


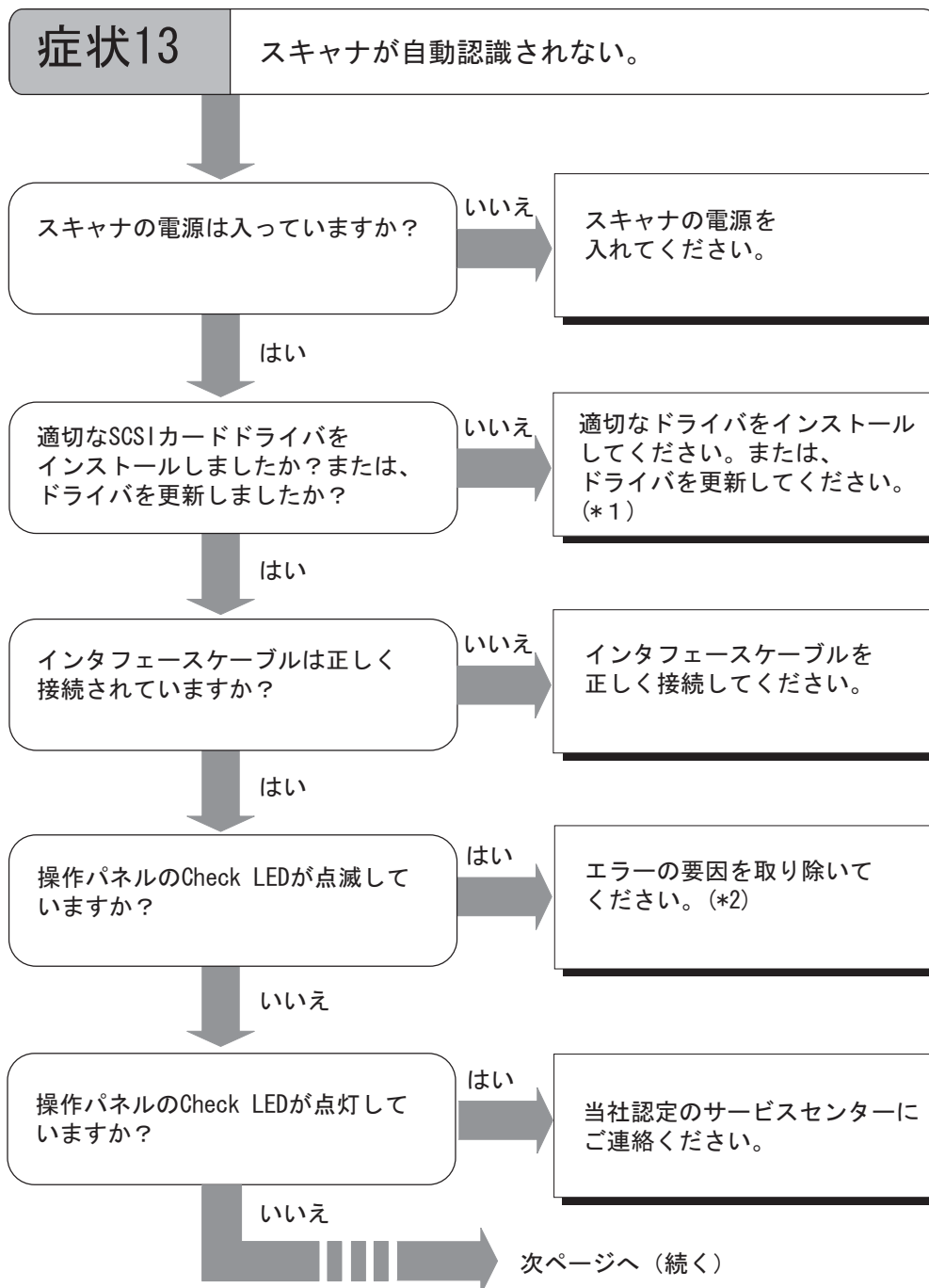
- (* 1) 要件については「6.2 原稿の紙質」（159 ページ）を参照してください。
- (* 2) ダブルフィードの検出条件については「付録 2：ダブルフィードの検出条件」（AP-2 ページ）を参照してください。
- (* 3) パッドユニットの清掃方法については「3 章：日常のお手入れ」（61 ページ）を参照してください。
- (* 4) パッドユニットの交換方法および取り付け方法については「4 章：消耗品の交換」（107 ページ）を参照してください。
- (* 5) 汚れている箇所の清掃方法については「3 章：日常のお手入れ」（61 ページ）を参照してください。
- (* 6) ピックローラユニット、ブレーキローラユニットの交換方法および取り付け方法については「4 章：消耗品の交換」（107 ページ）を参照してください。
- (* 7) ピックローラユニットおよびブレーキローラユニットの使用枚数については「7.3 セットアップモードの詳細」（182 ページ）を参照してください。

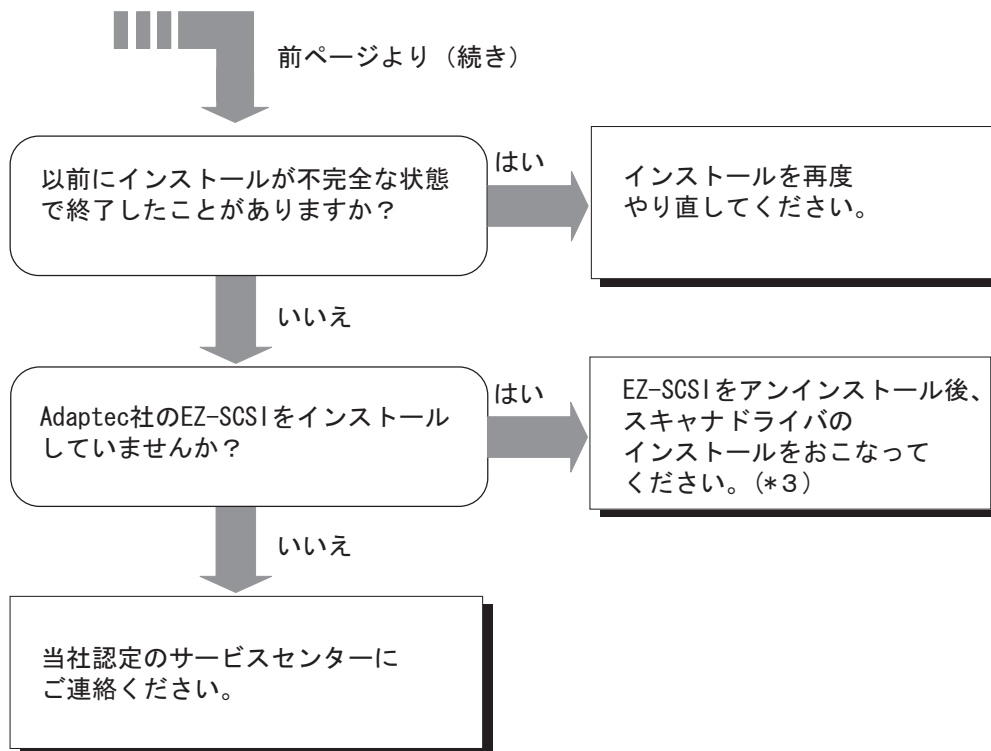




- (* 1) 要件については「6.2 原稿の紙質」（159 ページ）を参照してください。
- (* 2) [コガタバイタイモード] の設定方法については「7.1 セットアップモードの概要」（168 ページ）を参照してください。
- (* 3) パッドユニットの交換方法および取り付け方法については「4 章：消耗品の交換」（107 ページ）を参照してください。
- (* 4) 汚れている箇所の清掃方法については「3 章：日常のお手入れ」（61 ページ）を参照してください。
- (* 5) ピックローラユニットおよびブレーキローラユニットの交換方法および取り付け方法については「4 章：消耗品の交換」（107 ページ）を参照してください。



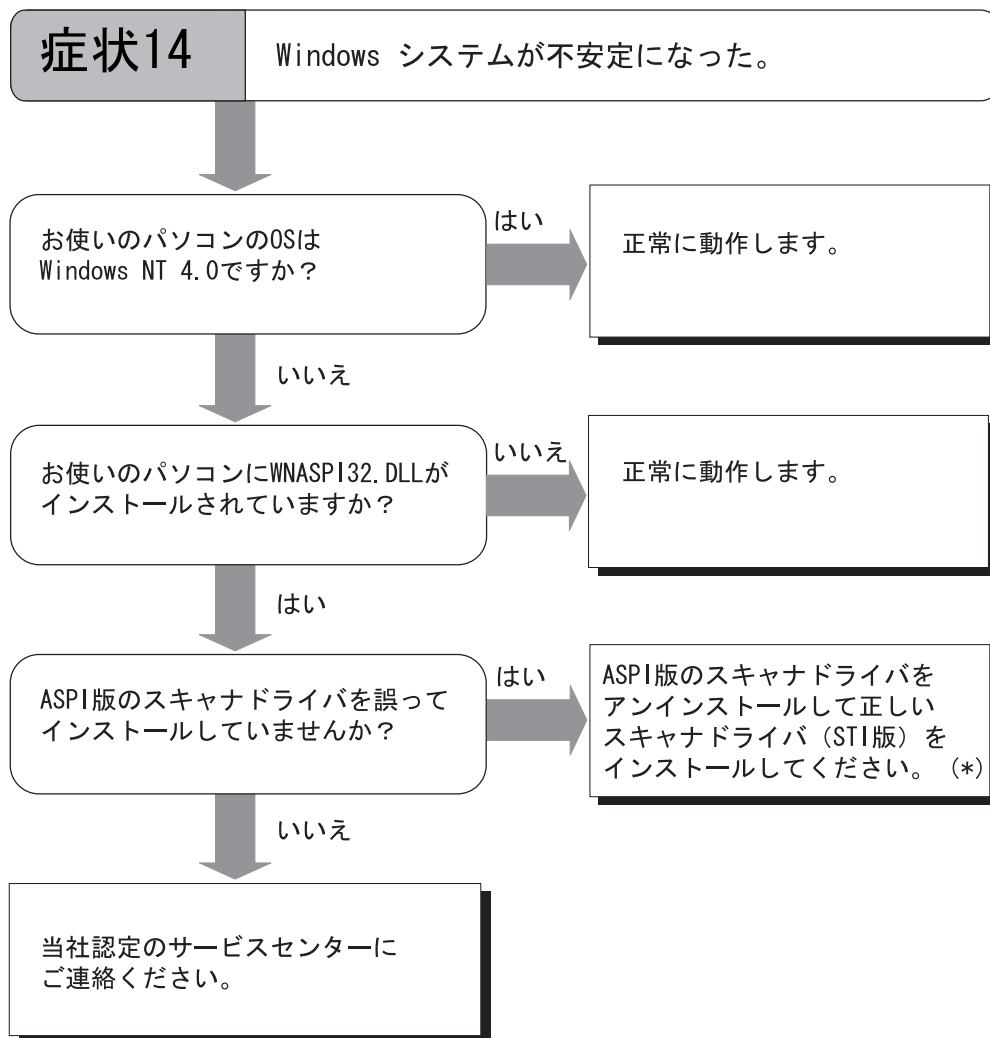




(*1) SCSI カードドライバのインストールまた更新については「fi-4860C2 インストレーションガイド」の2.2章を参照してください。

(*2) 復旧可能なエラーメッセージと復旧方法については「付録3 操作パネルのメッセージ」を参照してください。

(*3) FJTWAIN のインストール方法については「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ取扱説明書」を参照してください。



(*) FJTWAIN のインストール方法については「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ取扱説明書」を参照してください。

5.3 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（PFU イメージングサービス&サポートセンター）に連絡する前に、以下の項目をお調べ願います。

■ 概要

調べる項目	調査結果
装置名	(例) fi-4860C2 装置名については「5.4 装置ラベルの確認」(156 ページ)を参照してください。
製造番号 (シリアルナンバー)	(例) 000001 製造番号については「5.4 装置ラベルの確認」(156 ページ)を参照してください。
製造年月	(例) 2006-05 (2006 年 5 月) 製造年月については「5.4 装置ラベルの確認」(156 ページ)を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	

■ エラーの状況

■ パソコン接続時の問題

調べる項目	調査結果
OS (Windows) の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェースの種類	(例) SCSI インターフェース
インターフェースコントローラーの種類	(例) Adaptec 社製 SCSI Card 2940Au

■ 搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
装置パネルの状況	

■ 画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラーの種類	(例) Adaptec 社製 SCSI Card 2940Au
OS (Windows) の種類	
アプリケーションソフトウェアの種類	(例) ScandAll 21 (例) Acrobat

■ その他

調べる項目	調査結果
原稿と出力紙の両方を、Eメール、または Fax で送ることは可能ですか？	

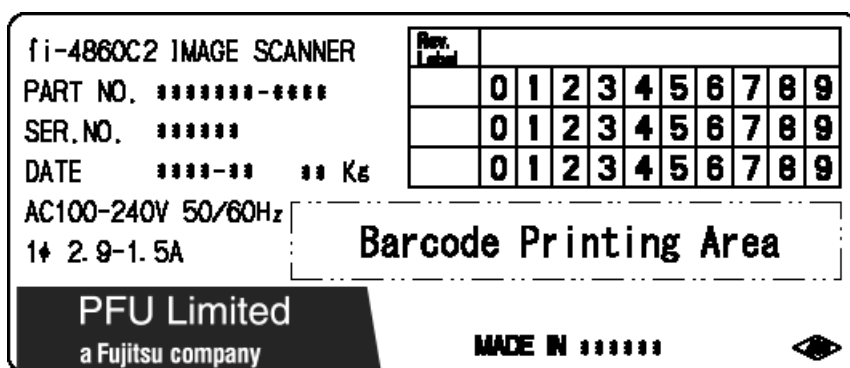
5.4 装置ラベルの確認

ここでは、ラベルの確認のしかたについて説明します。

■ 2つのラベルの位置

2つのラベルの位置を以下に示します。

ラベル A (例) : 装置の情報を示しています。



ラベル B (例) : 装置が適合する規格について示しています。



6 原稿について

この章では、ADF が正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質について説明します。

6.1 原稿のサイズ	158
6.2 原稿の紙質	159
6.3 穴をあけてはいけない領域	162
6.4 印字禁止領域	163
6.5 背景色の領域の制限	164
6.6 ジョブ区切りシート	165
6.7 ホッパにセットできる原稿の枚数	166

6.1 原稿のサイズ

以下に読み取り可能な原稿のサイズを示します。



最大		最小	
A	B	A	B
297	432	74	74

(単位 : mm)

6.2 原稿の紙質

本装置に使用できる原稿の種類と厚さ、および事前の注意について説明しています。

■ 原稿の種類

原稿として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。

- ・ 上質紙
- ・ 中質紙

上記以外の種類の用紙を使用する時には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを原稿と同質の用紙で確認してください。

■ 原稿の厚さ

紙厚は坪量と呼ばれる重さで表します。使用可能な坪量は以下のとおりです。

- ・ 52 g/m² ~ 127 g/m²

■ 事前の注意

以下の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- ・ 紙厚が一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- ・ しわがよっていたり、カールしている原稿（161 ページのヒントを参照）
- ・ 折れたり、裂けたりしている原稿
- ・ トレーシングペーパー
- ・ コート紙
- ・ カーボン紙
- ・ ノーカーボン紙
- ・ 感光紙
- ・ 端にミシン目や穴あけのある原稿
- ・ 四角形でない原稿
- ・ 非常に薄い原稿
- ・ 写真

また、以下の原稿は使用しないでください。

-
- ・クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
 - ・インクが乾いていない原稿
 - ・A7 サイズよりも小さいか、A3 サイズよりも大きい原稿
 - ・紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルム
 - ・非常に薄い原稿



- ・半透明の原稿を読み取る時は、濃度をライト側に設定してください。
 - ・ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは避けてください。やむをえずこのような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。
 - ・原稿詰まりやダブルフィードが頻繁に発生する場合は、「5.1 原稿詰まりが発生したときは」（128 ページ）を参照してください。
-



まって!

- ・ノーカーボン紙は、パッドユニットや原稿を送るローラ類（ピックアップローラなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、以下のことに注意してください。

清掃 : 原稿づまりが頻繁に起きるときは、パッドユニットと各種ローラを清掃してください。パッドユニットと各種ローラの清掃方法については「3章：日常のお手入れ」（61 ページ）を参照してください。

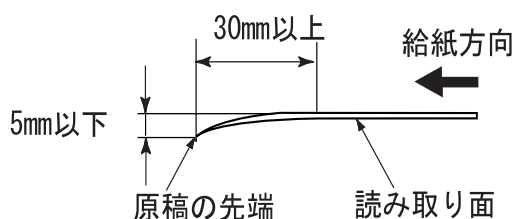
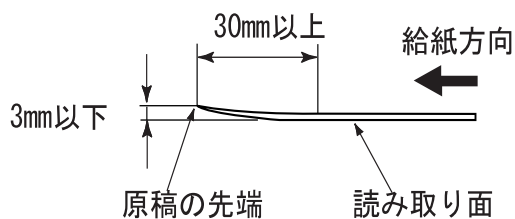
部品の交換 : パッドユニットと各種ローラの寿命は中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。

- ・中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットと各種ローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- ・原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取る際にパッドやローラに接触すると、パッドやローラが傷つく可能性があります。
- ・写真等の光沢紙を読み取った場合、表面に傷がつく場合があります。



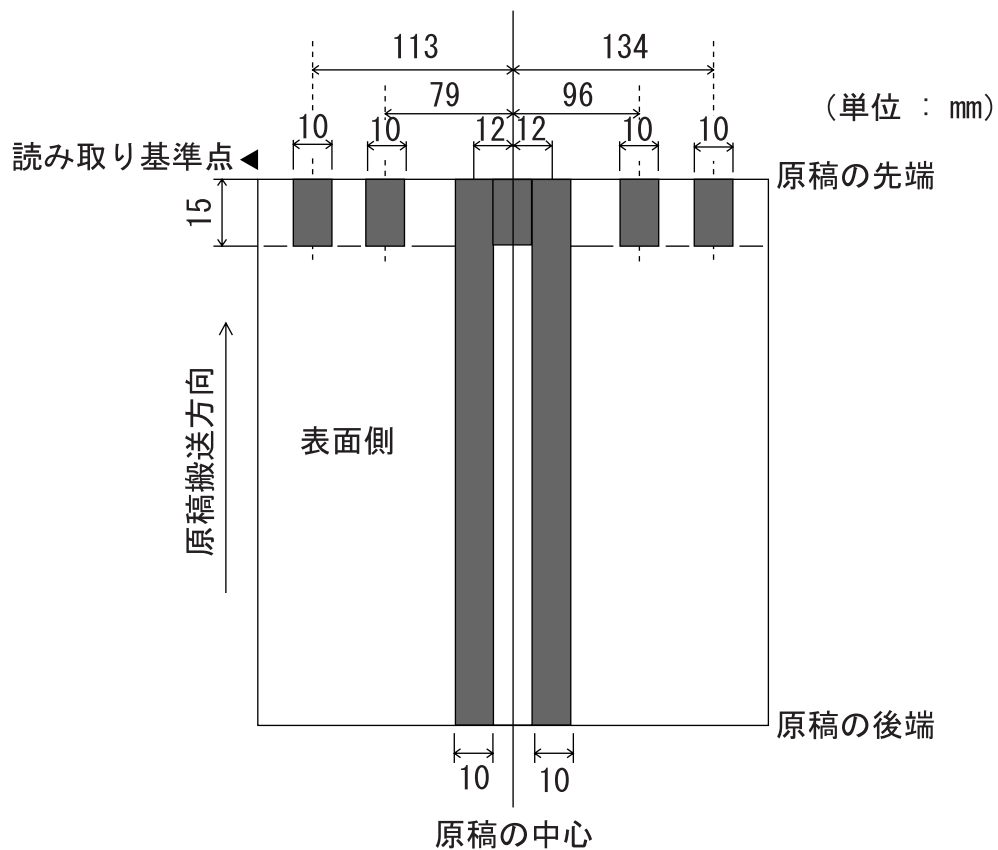
ヒント

すべての原稿は先端が平らでなければなりません。
原稿先端のカーブは以下の数値を満たすようにしてください。



6.3 穴をあけてはいけない領域

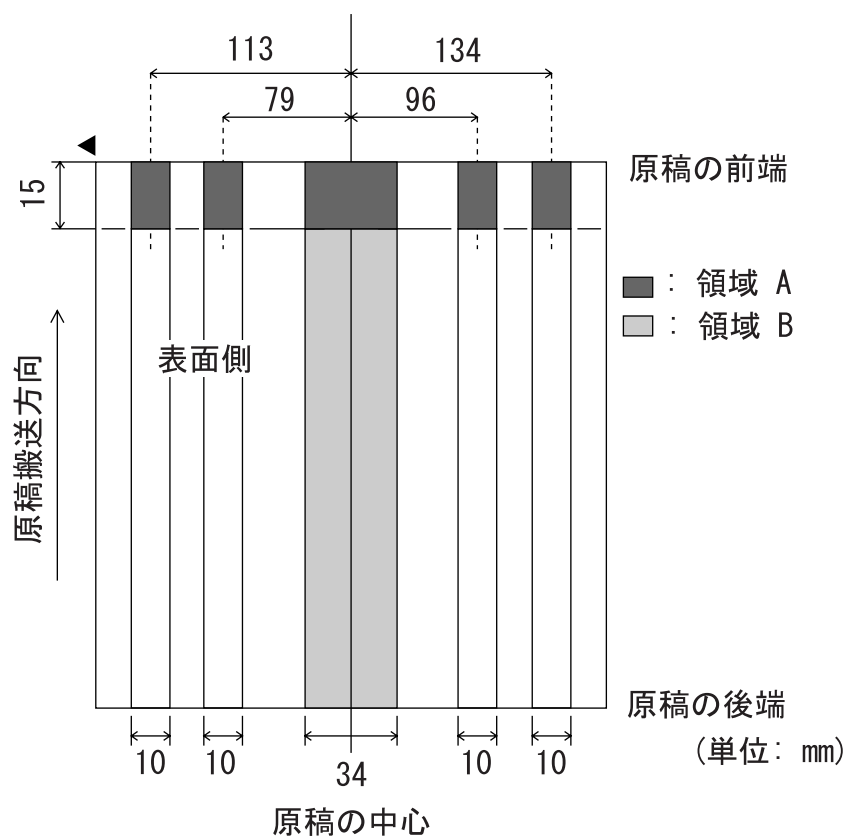
以下の図の黒い領域に穴があると、エラーの原因となることがあります。
ジョブ区切りシートの形状については「6.6 ジョブ区切りシート」(165 ページ)を参照してください。



6.4 印字禁止領域

原稿の領域 A に印刷があると原稿サイズ誤検出することがあります。原稿の領域 B に印刷があるとダブルフィードエラーとなることがあります。以下に原稿の印字禁止領域を示します。ダブルフィード検出を行う場合は、本領域内の印刷を推奨します。

なお、ダブルフィード検出については「付録 2：ダブルフィードの検出条件」(AP-2 ページ)を参照してください。

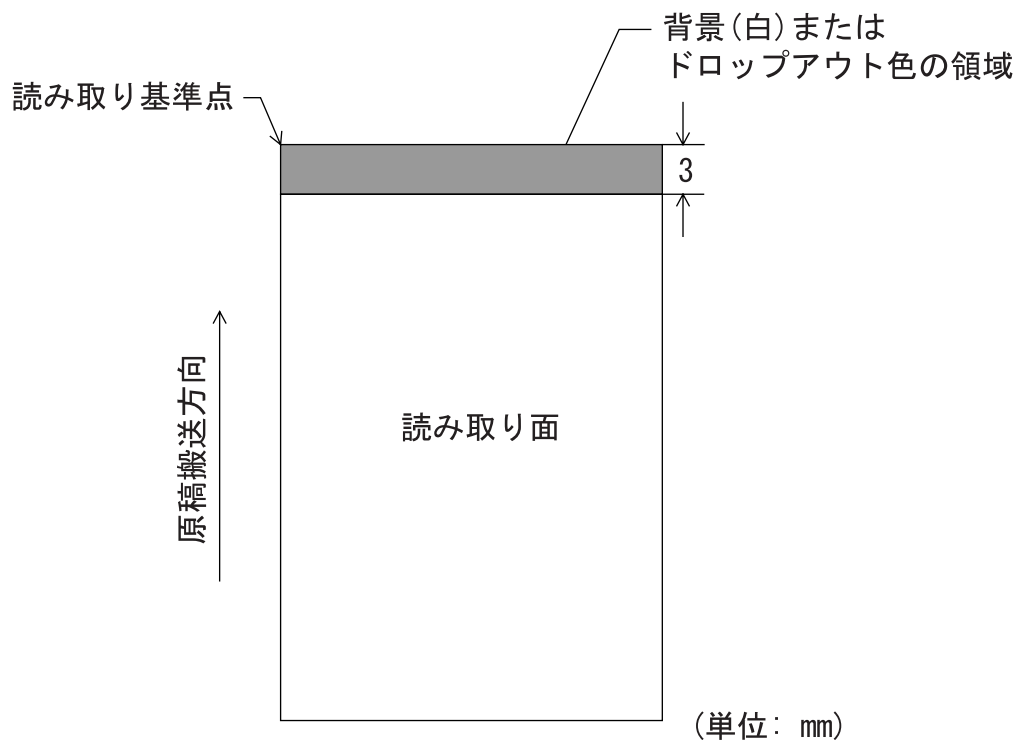


6.5 背景色の領域の制限

下図のように読み取り領域（両面）の上端 3mm は、白地（用紙の地色）とします。

白地とする場合にはドロップアウトカラーとします。これが不可能な場合は、読み取りの際にコマンドの線画 / 写真の選択で [写真] を選択する必要があります。

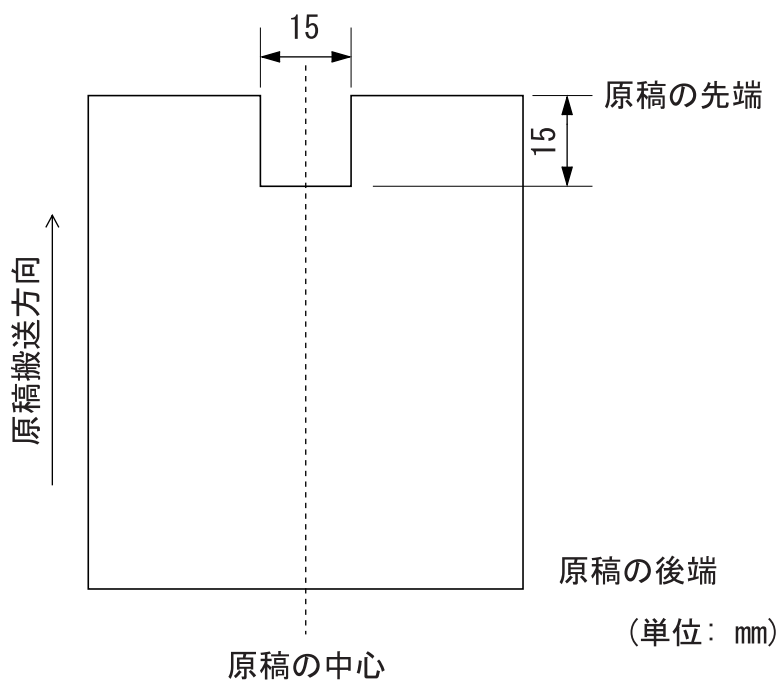
なお、ドロップアウトカラーについては「付録 1 : ドロップアウトカラー」（AP-1 ページ）を参照してください。



6.6 ジョブ区切りシート

1. シートの形状

代表的なジョブ区切りシートの形状を以下に示します。

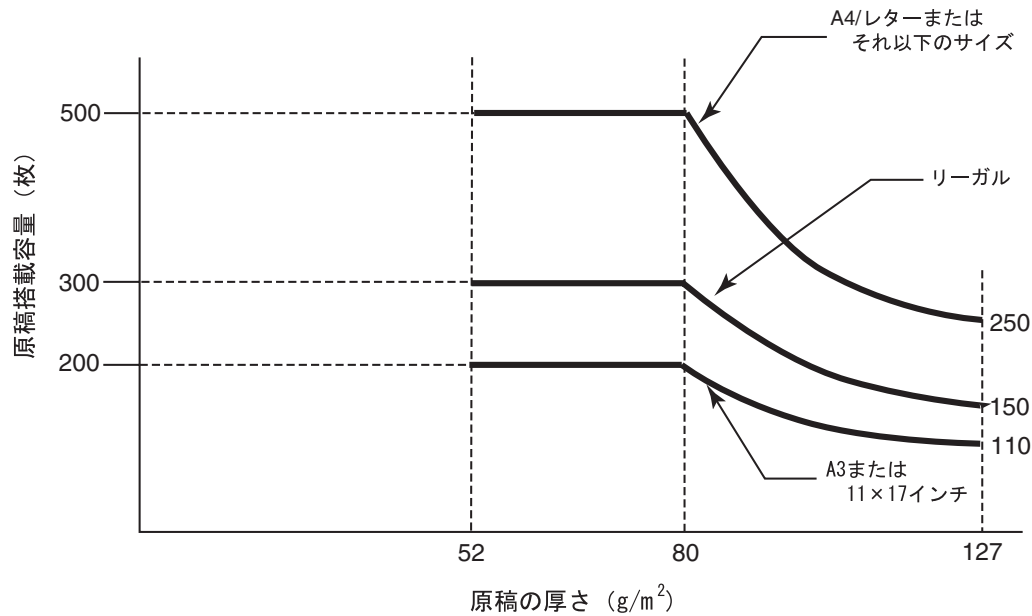


2. 原稿の仕様

原稿の幅は A4 の幅 (210mm) か、それより広くしてください。

6.7 ホッパにセットできる原稿の枚数

ホッパにセットできる原稿の枚数は、原稿のサイズと坪量で決まります。下記のグラフを参照してください。



原稿の厚さ (質量)	変換表							
	52	64	75	80	90	104	127	157
g/m ²	52	64	75	80	90	104	127	157
lb	14	17	20	21	24	28	34	42
Kg/ 連	45	55	64.6	69	77.5	90	109.8	135

7 各種モードについて

この章では、スキャナのセットアップモードおよびテストモードについて説明します。

7.1 セットアップモードの概要	168
7.2 セットアップモードの設定内容	175
7.3 セットアップモードの詳細	182
7.4 テストモードの概要	232
7.5 テストモードの詳細	238

7.1 セットアップモードの概要

セットアップモードはレディ状態で設定できるモード（オンラインセットアップモード）とオフライン時にしか設定できないモード（オフラインセットアップモード）にわかれます。この2つのモードでは使用可能な機能が異なります。

これらのモードに入るには、以下の手順にしたがってください。

・オンラインセットアップモード

LCDに「レディ」が表示されている画面において◀（下方向ボタン）を1回押します。

以下のメッセージが表示されます。

```
モ ー ト ` セ ン タ ク   1
!   セ ッ ト ア ッ プ ° モ ー ト `
```

[Enter] ボタンを押すと、オンラインセットアップモードに入ります。

・オフラインセットアップモードおよびテストモード

[Start] ボタンを押しながら、電源を投入します。

しばらくすると、LCDに以下のメッセージが表示されます。

```
< モ ー ト `   セ レ ク ト >
セ ッ ト ア ッ プ °   テ ス ト
```

◀（左方向ボタン）または▶（右方向ボタン）を押して「セットアップ」を選択します。

[Enter] ボタンを押すと、オフラインセットアップモードに入ります。

セットアップを終了するには **[Exit]** ボタンを押します。



選択されている項目は点滅します。

■ オンラインセットアップモードの制限

オンラインセットアップモードでは、スキャナの電源を落とすことなくスキャナの設定を変更することができます。

ただし、以下の項目は設定の変更をおこなうことができません。

- ・ 消耗品カウンタのリセット
- ・ SCSI ID の変更
- ・ プロダクト ID の変更
- ・ SCSI バス幅の変更
- ・ インターフェースの変更
- ・ TPS インターフェイスボードのボーレート変更

■ セットアップモードのボタン機能

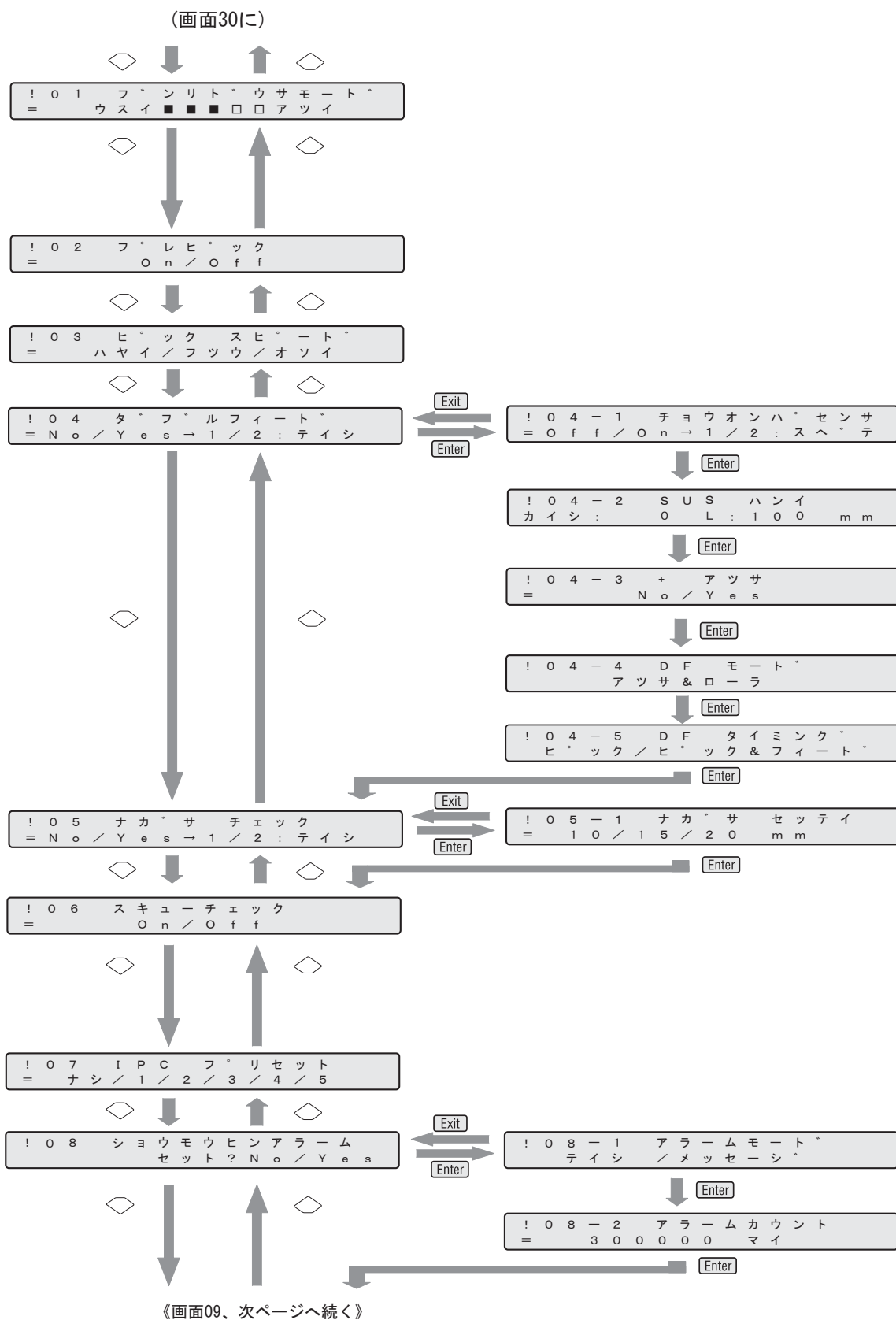
ボタン名	機能
◇ [Next]	変更を保存せずに、次のメニュー画面に移ります。
◇ [Previous]	変更を保存せずに、前のメニュー画面に戻ります。
◇	メニュー画面の右側の項目に移ります。
◇	メニュー画面の左側の項目に移ります。
Enter	・ 変更を保存して次のメニュー画面に移ります。 ・ 下位のメニュー画面に移ります。
Exit	変更を保存せずに、上位メニューに戻ります。

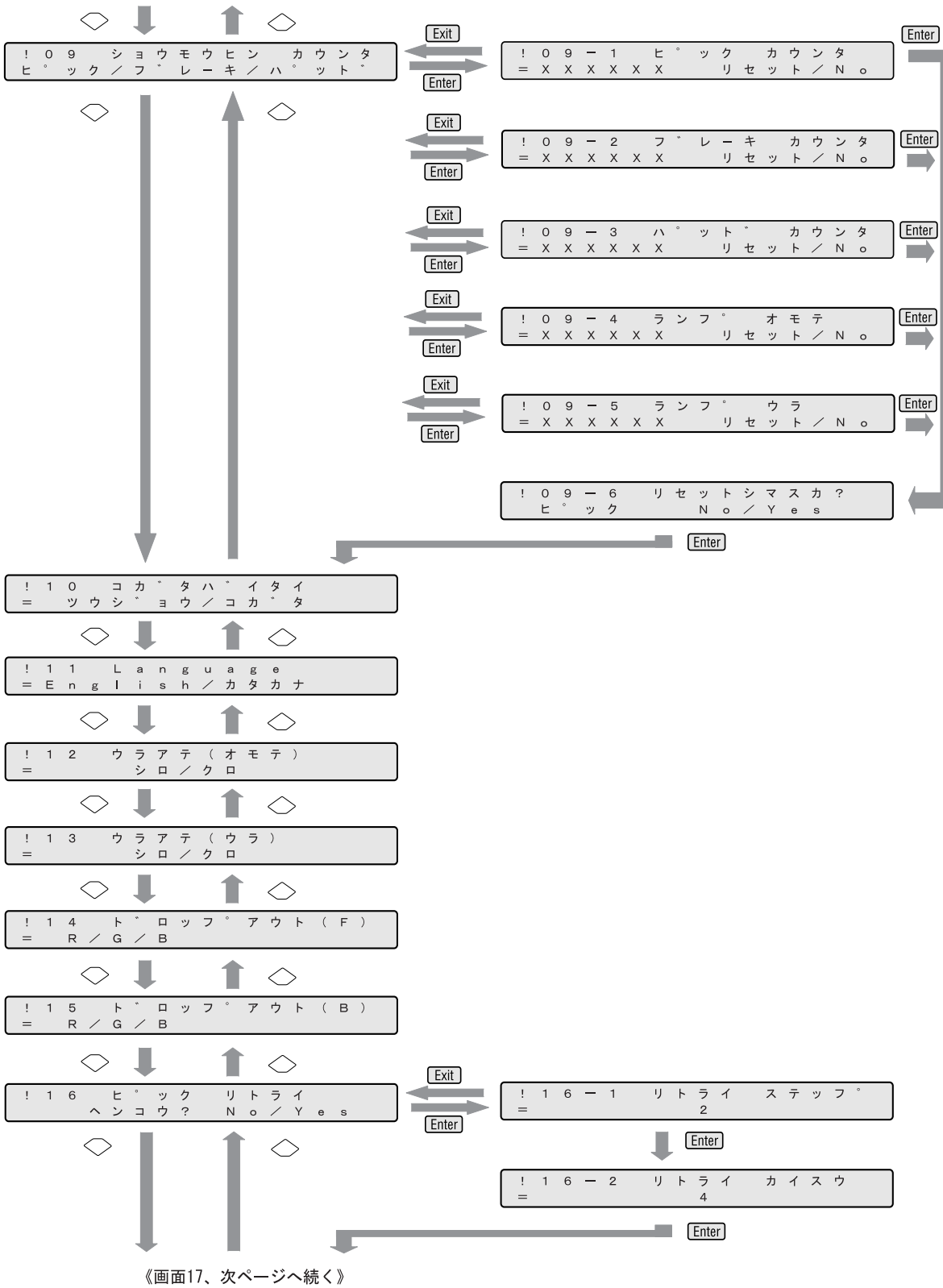
■ セットアップモードでの画面遷移

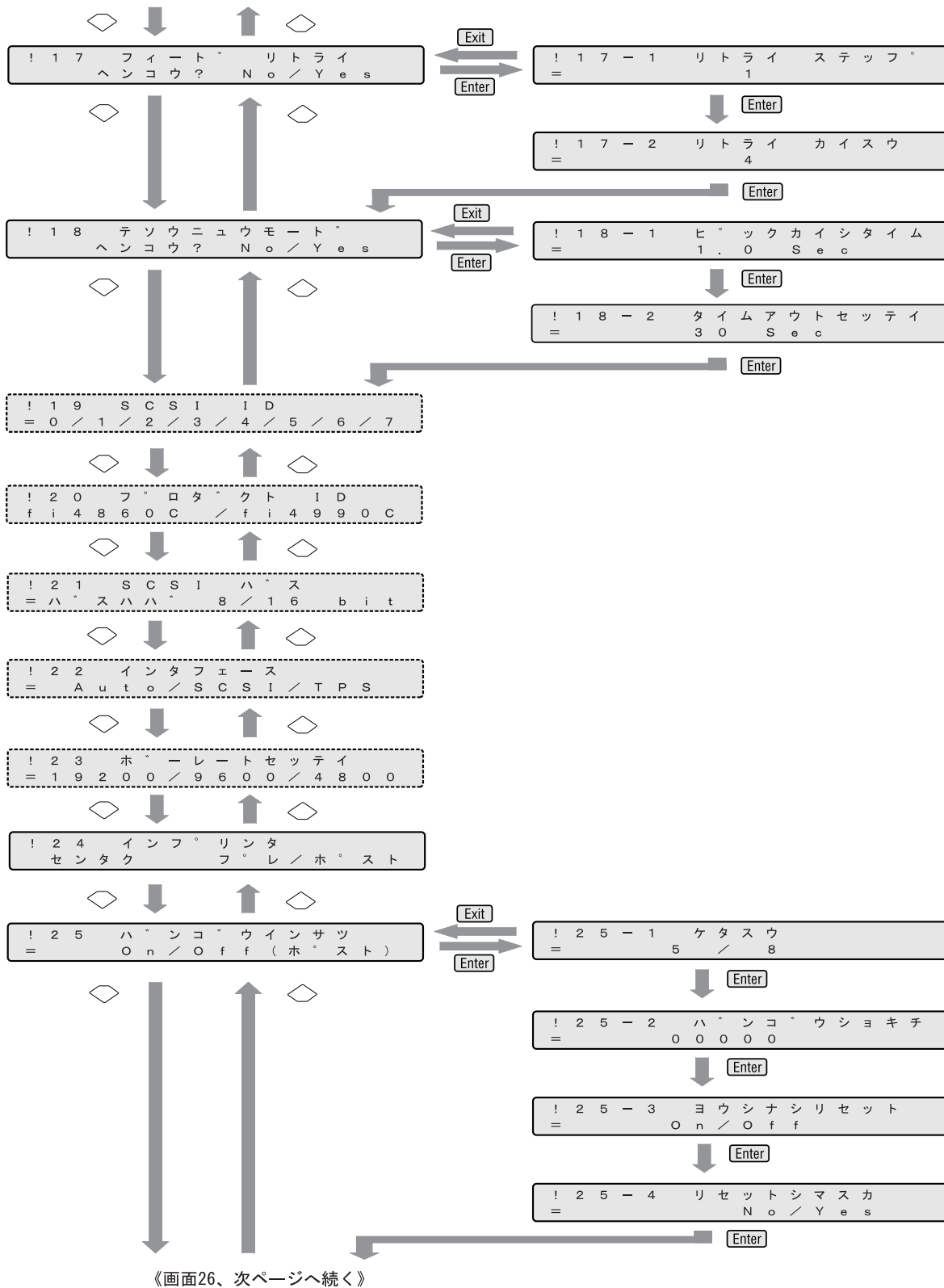
次ページを参照してください。

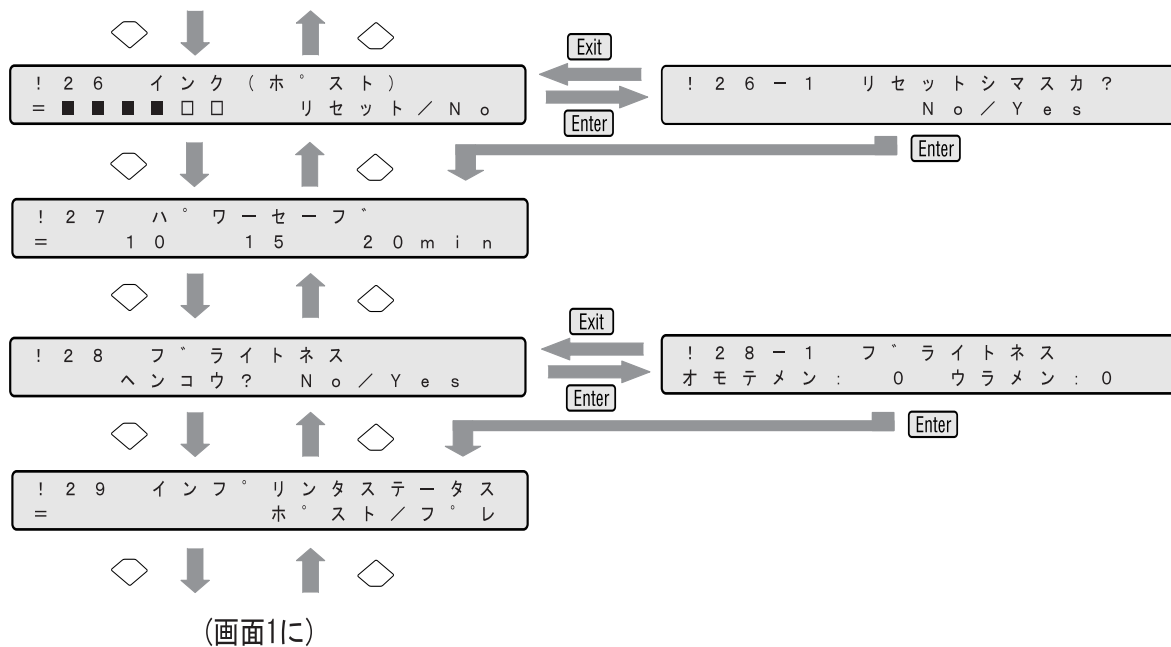
以下の遷移図は代表的な操作パネル表示の移りかわりを示しています。

詳細については「7.3 セットアップモードの詳細」（182 ページ）を参照してください。









点線枠のメニュー画面は、オフラインセットアップモード時のみ表示します。



- ・画面 22 と画面 23 は、TPS インターフェースボードが挿入されている場合のみ表示されます。
- ・画面 24 は、fi-486PRFR（プレインプリンタ）と fi-486PRRE（ポストインプリンタ）の両方が装着されている場合のみ表示されます。
- ・画面 25 と画面 26 と画面 29 は、fi-486PRFR（プレインプリンタ）または fi-486PRRE（ポストインプリンタ）のどちらかが装着されている場合のみ表示されます。

7.2 セットアップモードの設定内容

セットアップモードで設定できる項目は以下の 32 種類があります。

LCD の表示	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	モード		備考
				オンライン	オフライン	
ダブルフィード (マルチフィード)	原稿の重なり / 厚みをもとにしたダブルフィード (マルチフィード) の検出を設定します。検出方法は以下の 2 つの方法があります。 1: 原稿の重なり / 厚さ 2: 原稿の重なり / 厚さ + ブレーキローラの回転量	No/Yes 1: 重なり / 厚さ 2: 重なり / 厚さ + ブレーキローラ	Yes	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。
ナガサチェック	原稿の長さの差異をもとにしたダブルフィードの検出を設定します。 エラーと判定しない差異の許容誤差は右の 3 通りが選択できます。	No/Yes Yes: 10/15/20mm (許容誤差)	No	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。
IPC プリセット	スキャナの読み取りパラメーターを自動的に推奨値に設定。右の 5 つのパターンが選択できます。	No 1: 2: 3: 4: 5:	No	設定可	設定可	

LCD の表示	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	モード		備考
				オンライン	オフライン	
ショウモウ ヒン アラーム	消耗品交換メッセージが発生した場合に動作を停止するか、メッセージ表示のみをおこなうかを設定します。消耗品交換メッセージの発生する枚数も設定できます。	テイシ/メッセージ 1万枚～ 256万枚	テイシ 30万枚	設定可	設定可	1万枚単位
ショウモウ ヒン カウンタ	消耗品カウンタをリセットします。	—	—	不可	設定可	—
テソウニュー ウモード	原稿を手挿入してから繰り込み動作が開始するまでの時間を設定します。	0.2 ～ 29.8 sec	1.0 sec	設定可	設定可	—
	ドライバ画面上で読み取り操作を行ってからホッパに原稿をセットするまでのタイムアウトを設定します。	1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 110, 120, 180, 240, 255 sec	30 sec			

LCD の表示	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	モード		備考
				オンライン	オフライン	
スキューチェック	原稿の傾きの検出をおこなうかどうかを設定します。	On/Off	Off	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。
ブンリドウサモード	原稿の厚さに適した原稿分離力を設定をします。	アツイ ヤヤアツイ フツウ ヤヤウスイ ウスイ	フツウ	設定可	設定可	—
コガタバイタイ	80mm 以下の小型の原稿を使用する時に設定します。	ツウジョウ コガタ	ツウジョウ	設定可	設定可	—
ウラアテ (オモテ)	読み取りしたデータの背景を白または黒に設定します。	シロ クロ	シロ	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。
ウラアテ (ウラ)	読み取りしたデータの背景を白または黒に設定します。	シロ クロ	シロ	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。

LCD の表示	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	モード		備考
				オンライン	オフライン	
プレピック	繰り込まれる原稿を事前にピックして、読み取り速度を向上させる設定を有効または無効にします。	On/Off	On	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。
ピックスピード	ピックローラの回転速度を設定します。	ハイ フツウ オソイ	ハイ	設定可	設定可	—
ピックリトライ	ピックモーターの動作時間と再試行回数を設定します。	ステップ量 :1～7 リトライ回数 :1～7	ステップ量 :2 リトライ回数 :4	設定可	設定可	—
フィードリトライ	給紙モーターの動作時間と再試行回数を設定します。	ステップ量 :1～7 リトライ回数 :1～7	ステップ量 :1 リトライ回数 :4	設定可	設定可	—
ドロップアウト (F)	表面の単色読み取り時のドロップアウトカラーを設定します。	R G B	G	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。

LCD の表示	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	モード		備考
				オンライン	オフライン	
ドロップアウト (B)	裏面の単色読み取り時のドロップアウトカラーを設定します。	R G B	G	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されます。
ブライトネス	表裏の階調差を補正するために、表面および裏面の明るさを調整します。	-6 ~ +6	0	設定可	設定可	
SCSI ID	スキャナの SCSI ID を設定します。	0 ~ 7	5	不可	設定可	電源再投入後に有効となります。
プロダクト ID	スキャナのプロダクト ID を設定します。	fi4860C fi4990C M4099D M3099G	fi4860C	不可	設定可	電源再投入後に有効となります。
SCSI バス	SCSI のデータバス幅を 8 ビットまたは 16 ビットに設定します。	16 ビット 8 ビット	16 ビット	不可	設定可	電源再投入後に有効となります。
インターフェース	スキャナの TPS (サードパーティスロット) にボードが挿入されている時、使用するインターフェースを設定します。	ジドウ SCSI TPS	ジドウ	不可	設定可	

LCD の表示	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	モード		備考
				オンライン	オフライン	
ポーレートセッテイ	TPS インターフェースの制御データ転送レートを設定します。	19200 9600 4800 2400	9600	不可	設定可	電源再投入後に有効となります。
インプリンタ	fi-486PRFR (プレインプリンタ) および fi-486PRRE (ポストインプリンタ) の両方のインプリンタが装着されている時にセットアップモードでどちらかを設定します。	プレ (フロント側) ポスト (リア側)	—	設定可	設定可	—
バンゴウインサツ	fi-486PRFR (プレインプリンタ) および fi-486PRRE (ポストインプリンタ) のどちらかのインプリンタが装着されている時にバンゴウ印刷の設定をします。	番号印刷 : On/Off 印刷桁数 : 5 桁 00000~99999 : 8 桁 00000000~ 1677215 用紙なしリセット : On/Off	番号印刷 : Off 印刷桁数 : 5 桁 00000 : : On	設定可	設定可	パソコンからセットされた場合はその指定が優先されません。
インク	プリントカートリッジのインク残量を表示します。 プリントカートリッジを交換した時のインク残量のリセットをおこないます。	—	—	設定可	設定可	—

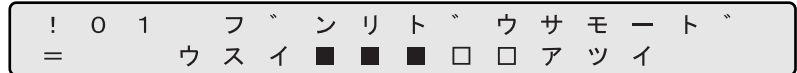
LCD の表示	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	モード		備考
				オンライン	オフライン	
パワーセーブ	省電力モードへ移行する時間を設定します。	5 ~ 60 分	15 分	設定可	設定可	
Language	操作パネルに表示される言語を設定します。	日本語 英語	—	設定可	設定可	
インプリンタステータス	装着されているインプリンタを表示します。	—	—	設定可	設定可	
ランプセイギョ	ランプを常時点灯させるかどうかを設定します。	ツウジョウ ツネニテントウ	ツウジョウ	設定可	設定可	
ジドウサイズハバ	2 値白黒読み取りと、自動用紙サイズ検出を同時に選択して原稿を読み取った時に、イメージの読み取り幅に端数が生じる場合、端数を切り上げるか切り捨てるかを選択します。	キリアゲ キリステ	-	設定可	設定可	
クロッピング (ウラ)	裏面の自動用紙サイズ検出のオフセット (開始位置) を設定します。	ヨコ : -4 ~ +4 タテ : -4 ~ +4	ヨコ : 0 タテ : 0	設定可	設定可	

7.3 セットアップモードの詳細

1. 原稿分離力の設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 1>を表示させます。

<画面 1>



- 2) <画面 1>では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、読み取る原稿の厚さに適した設定を選択します。



選択されている項目は点滅します。

- ◁(左方向ボタン) を押すと点滅が (1) から (5) の順番に表示されます。
▷(右方向ボタン) を押すと点滅が (5) から (1) の順番に表示されます。

- (1) ■ ■ ■ ■ ■ — 原稿厚さ： 厚い
- (2) ■ ■ ■ ■ □ — 原稿厚さ： やや厚い
- (3) ■ ■ ■ □ □ — 原稿厚さ： 普通
- (4) ■ ■ □ □ □ — 原稿厚さ： やや薄い
- (5) ■ □ □ □ □ — 原稿厚さ： 薄い

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。



以下のエラーが頻繁に発生する場合は、表の説明に従って、設定してください。

- ・ダブルフィード
- ・ピックミス
- ・カミツマリ 1

設定	原稿分離力	「ダブルフィード」が頻繁に発生する	「ピックミス」または「カミツマリ 1」が頻繁に発生する
アツイ	強い	原稿分離力をより強くします	原稿分離力をより弱くします
ややアツイ	やや強い		
フツウ	中程度（工場出荷時設定）		
ややウスイ	やや弱い		
ウスイ	弱い		

2. プレピックの設定

- 1) ◀(下方向ボタン) または ▶(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 2> を表示させます。

<画面 2>



- 2) <画面 2>において、プレピック動作をおこないたい場合は◀(左方向ボタン) を押して [On] を選択します。

プレピック動作をおこなわない場合は▶(右方向ボタン) を押して [Off] を選択します。

- 3) [Enter] ボタンを押して、設定を有効にします。

最後に [Exit] ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

3. ピックローラの回転速度の設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 3> を表示させます。

<画面 3>

!	0	3	ピ	ック	ス	ピー	ド
=			ハ	ヤ	イ	フ	ツ
			ウ	オ	ソ	イ	

- 2) <画面 3> では ◁(左方向ボタン) または ▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、ピックローラの回転速度を選択します。



選択されている項目は点滅します。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。



ピックミスを起こしやすい薄い原稿または柔らかい原稿を使用する場合は、ピックローラの回転速度を低速に設定することをお勧めします。

ピックスピード	ピックミスが頻繁に発生する場合
ハイ (工場出荷)	↓ ピックスピードを遅くします
フツウ	
オソイ	

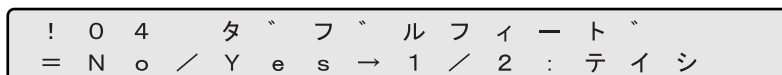


ピックスピードを「フツウ」、「オソイ」に設定すると、読み取り処理速度が遅くなります。

4. ダブルフィードチェック（原稿の重なりと厚さ）の設定

- 1) ◁（下方向ボタン）または ▷（上方向ボタン）を押して、LCD に＜画面 4＞を表示させます。

＜画面 4＞



- 2) ＜画面 4＞では◁（左方向ボタン）または▷（右方向ボタン）のどちらかを押して、原稿の重なり（超音波）、厚さ（透過光量）によるダブルフィード検出をどうかを設定します。ADF から原稿が 2 枚重なって搬送された時の超音波の強弱の変化と透過光量の差異を利用して、原稿の重なりと厚さがチェックされます。この画面ではダブルフィードの検出をおこなうかどうかの選択、検出モードの設定およびエラー処理の選択をおこないます。

▷（右方向ボタン）を押すと（1）から（3）の順番に選択されます。

◁（左方向ボタン）を押すと（3）から（1）の順番に選択されます。

- | | |
|-------------------------------|--|
| (1) [No] が点滅している： | 原稿の重なり・厚さはチェックされません。 |
| (2) [Yes] と [1] が点滅している： | 原稿の重なり・厚さがチェックされます。
しかし、検出されたダブルフィードエラーは LCD に表示されるだけで、読み取りは続行されます。 |
| (3) [Yes] と [2: テイシ] が点滅している： | 原稿の重なり・厚さがチェックされます。
ダブルフィードエラーが検出されると、読み取りは中止されます。
その後エラーはパソコンに報告されます。 |

ダブルフィード検出を止めたい場合は、[No] を選択してから **Enter** ボタンを押します。



選択されている項目は点滅します。

- 3) <画面 4-1>では◇(左方向ボタン)または◇(右方向ボタン)のどちらかを押し、原稿の重なり(超音波)によるダブルフィード検出をおこなうかどうかの選択、検出モードの設定をおこないます。

<画面 4-1>

! 0 4 - 1 チ ョ ウ オ ン ハ ° セ ン サ
= O f f / O n → 1 / 2 : ス ヘ ッ テ

◇(右方向ボタン)を押すと(1)から(3)の順番に選択されます。

◇(左方向ボタン)を押すと(3)から(1)の順番に選択されます。

- | | |
|------------------------------|---|
| (1) [Off] が点滅している: | 原稿の重なりはチェックされません。 |
| (2) [On] と [1] が点滅している: | 設定された範囲に対して原稿の重なりがチェックされます。原稿に写真などを貼り付けてある場合の誤検出を防止できます。設定方法については手順 4) を参照してください。 |
| (3) [On] と [2: スペテ] が点滅している: | 原稿の全領域に対して重なりがチェックされます。デフォルト設定ではこちらが選択されます。 |

- 4) <画面 4-2>では原稿の重なりによるダブルフィード検出の範囲を設定します。
◇(左方向ボタン)または◇(右方向ボタン)を押して検出の開始位置と範囲を設定します。

<画面 4-2>

! 0 4 - 2 S U S ハ ン イ
カ イ シ : 0 L : 1 0 0 m m

- | | |
|--------------------|-----------------|
| (1) [カイシ] が点滅している: | 検出の開始位置を設定できます。 |
| (2) [L] が点滅している: | 検出の範囲を設定できます。 |

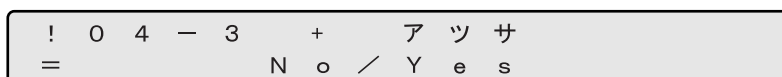
◇(下方向ボタン)で選択した項目の値を増加させ、◇(上方向ボタン)で減少させます。検出範囲を設定したら、**Enter** ボタンを押して設定を有効にします。設定可能な検出範囲は次の通りです。

カイシ: 0 (デフォルト), 50, 100, 150, 200 (単位: mm)

L: 100 (デフォルト) 150, 200 (単位: mm)

- 5) <画面 4-3>では原稿の重なり(超音波)によるダブルフィード検出に加え、原稿の厚さ(透過光量)による検出を併用するかどうかを設定します。◇(左方向ボタン)または◇(右方向ボタン)を押して原稿の厚さによる検出の有無を設定します。

<画面 4-3>

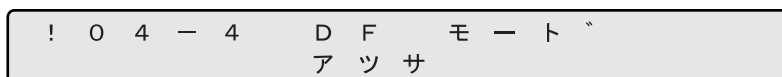


- (1) [Yes] が点滅している: 原稿の厚さによるダブルフィード検出も実行します。
- (2) [No] が点滅している: 原稿の厚さによるダブルフィード検出は実行されません。

原稿の厚さによる検出の有無を選択したら、**Enter** ボタンを押します。

- 6) (1) の時 **Enter** ボタンを押すと、LCD は<画面 4-4>になります。

<画面 4-4>



- 7) <画面 4-4>では◇(左方向ボタン)または◇(右方向ボタン)のどちらかを押して、検出モードを選択します。
- ◇(左方向ボタン)または◇(右方向ボタン)が押されるごとに、LCD は [アツサ] と [アツサ&ローラ] を交互に表示します。

<画面 4-4>



- (1) [アツサ] が点滅している： 透過光量でダブルフィードを判断します。
- (2) [アツサ&ローラ] が点滅している： 透過光量とブレーキローラの回転量でダブルフィードを判断します。
- (3) [+] が点滅している： 原稿の重なりによる検出も実行されません。

Enter ボタンを押すと、LCD は<画面 4-5 >になります。

<画面 4-5 >

!	0	4	-	5	D	F	タ	イ	ミ	ン	ク	ゝ
					ヒ	ッ	ク	/	ヒ	ッ	&	フ
												ィ
												ト

- 8) <画面 4-5 >では◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押して、検出タイミングを選択します。

- (1) [ピック] が点滅している： 原稿繰り込み時にダブルフィードをチェックします。
- (2) [ピック&フィード] が点滅している： 原稿繰り込み時と原稿搬送時にダブルフィードをチェックします。

- 9) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、レディ画面に戻ります。



原稿の重なり・厚さと原稿の長さ(次項)を併用すると、ダブルフィードの検出精度があがります。



スキャナがダブルフィードの検出により紙送りを中止した場合、ADFにある原稿またはその前の原稿がダブルフィードされている可能性があります。

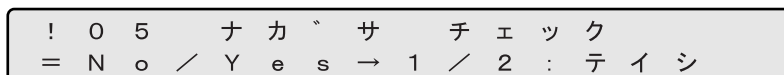


原稿の種類により、原稿の重なりではダブルフィードが検出できない場合があります。

5. ダブルフィードチェック（原稿の長さ）の設定

- 1) ◁（下方向ボタン）または ▷（上方向ボタン）を押して、LCD に＜画面 5＞を表示させます。

＜画面 5＞



- 2) ＜画面 5＞では◁（左方向ボタン）または▷（右方向ボタン）のどちらかを押して、原稿の長さによるダブルフィード検出をするかどうかを設定します。ADF から原稿が 2 枚ずれて搬送された時の長さの差異を利用して、原稿の長さがチェックされます。この画面ではナガサチェックをおこなうかどうかの選択、検出条件の設定、およびエラー処理の選択をおこないます。

▷（右方向ボタン）を押すと（1）から（3）の順番に選択されます。

◁（左方向ボタン）を押すと（3）から（1）の順番に選択されます。

- | | |
|-------------------------------|--|
| (1) [No] が点滅している： | 原稿の長さはチェックされません。 |
| (2) [Yes] と [1] が点滅している： | 原稿の長さがチェックされます。しかし、検出されたダブルフィードエラーは LCD に表示されるだけで、読み取りは続行されます。 |
| (3) [Yes] と [2: テイシ] が点滅している： | 原稿の長さがチェックされます。ダブルフィードエラーが検出されると、読み取りは中止されます。その後エラーはパソコンに報告されます。 |

ダブルフィード検出を止める場合は、[No] を選択してから **[Enter]** ボタンを押します。



選択されている項目は点滅します。

- 3) (2) または (3) の時 **Enter** ボタンを押すと LCD は <画面 5-1 > になります。

<画面 5-1 >

!	0	5	-	1	ナ	カ	`	サ	セ	ッ	テ	イ
=		1	0	/	1	5	/	2	0	m	m	

- 4) <画面 5-1 > では ◀ (左方向ボタン) または ▶ (右方向ボタン) のどちらかを押して、原稿の長さを設定します。

▶ (右方向ボタン) を押すと (1) から (3) の順番に選択されます。

◀ (左方向ボタン) を押すと (3) から (1) の順番に選択されます。

(1) [10] が点滅している： 差異が 10mm までエラーとしない。

(2) [15] が点滅している： 差異が 15mm までエラーとしない。

(3) [20] が点滅している： 差異が 20mm までエラーとしない。

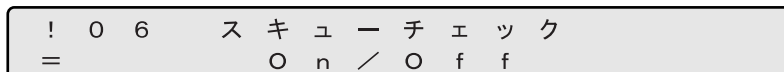
- 5) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

6. スキューチェック

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 6> を表示させます。

<画面 6>



- 2) <画面 6>においてスキューチェックをおこなう場合は◁(左方向ボタン) を押して [On] を選択します。

スキューチェックをおこなわない場合は▷(右方向ボタン) を押して [Off] を選択します。

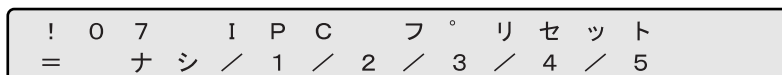
- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

7. IPC プリセットモードの設定

- 1) ◁(下方方向ボタン) または ▷(上方方向ボタン) を押して、LCD に<画面 7>を表示させます。

<画面 7>



- 2) <画面 7>では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、プリセットモードの項目を選択します。



ヒント

選択されている項目は点滅します。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。



二値（ラインアート）読み取りにおいて、各パターン番号を設定してお客様が読み取りされた原稿は、以下のように分類できます。

- ・表の横軸は原稿内の文字 / 線に対する背景の濃さ、背景の色を示します。
- ・表の縦軸は原稿内の文字 / 線の濃さを示します。

●原稿の分類と対応表

	背景の濃さ		背景色			
	普通 ←		→ 濃い	赤	緑	青
文字の濃さ	↑ 普通	1: 背景と文字が普通の濃さ	3: 濃い背景で文字が普通			
	↓ 薄い	2: 背景が普通で薄い文字		4: 赤系の背景で薄い文字	5: 緑系の背景で薄い文字	

*1 ~ 5 はパターン番号を示します



本設定はグレースケールやカラー読み取り時には無効となります。
2値（バイナリ）読み取り時のみ有効です。

IPC プリセットモードをオンライン状態で実行すると、読み取りパラメーターの有効または無効の状況は以下の表のとおりとなります。

●読み取りパラメーターの有効または無効の状況

	読取形態	解像度	線画 / 写真	中間調	自動二値	ペーパーサイズ	縦 / 横	切り出し
無効	○	○	×	×	×	○	○	○
有効	×	×	○	○	○	×	×	×

	原稿選択	γ パターン	コントラスト	像域分離	反転	強調	輪郭抽出	簡易二値
無効	○	×	×	×	○	×	×	×
有効	×	○	○	○	×	○	○	○

8. 消耗品交換メッセージの通知

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 8>を表示させます。

<画面 8>

! 0 8 シ ョ ウ モ ウ ヒ ン ア ラ ー ム
セ ッ ト ? N o / Y e s

- 2) <画面 8>において、消耗品アラームの動作設定を変更する場合は▷(右方向ボタン) を押して [Yes] を選択します。



選択されている項目は点滅します。

続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 8-1>が表示されます。

消耗品アラームの動作設定を変更しない場合は◁(左方向ボタン) を押して [No] を選択して **Enter** ボタンを押します。

<画面 8-1>

! 0 8 - 1 ア ラ ー ム モ ー ト
テ イ シ / メ ッ セ ー シ

3) <画面 8-1 >では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押し
て、エラー処理を選択します。

- (1) [ティシ] が点滅している： 消耗品交換メッセージの発生した時点で
通知を LCD に表示し、スキャナは動作を
停止します。
- (2) [メッセージ] が点滅している： 消耗品交換メッセージが発生しても通知
を LCD に表示するだけでスキャナは動作
を継続します。

[Enter] ボタンを押すと<画面 8-2 >が表示されます。

<画面 8-2 >

!	0	8	-	2		ア	ラ	-	ム	カ	ウ	ン	ト	
=				3	0	0	0	0	0				マ	イ

4) <画面 8-2 >では、消耗品交換メッセージを通知する枚数を設定します。

◁(左方向ボタン) を押すと 10000 枚単位で枚数カウンタ値が小さくなります。

▷(右方向ボタン) を押すと 10000 枚単位で枚数カウンタ値が大きくなります。

5) [Enter] ボタンを押して設定を有効にします。

最後に [Exit] ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

9. 消耗品のカウンタのリセット

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 9> を表示させます。

<画面 9>

!	0	9	シ	ョ	ウ	モ	ウ	ヒ	ン	カ	ウ	ン	タ
ヒ	。	ッ	ク	/	フ	。	レ	。	キ	/	ハ	。	ッ

- 2) <画面 9> では、リセットする消耗品のカウンタを選択します。



選択されている項目は点滅します。

リセットできる消耗品は以下のとおりです。

- | | | |
|---------------|---|----------------------------|
| (1) ピックが点滅 | : | ピックローラユニットのカウンタをリセットできます。 |
| (2) ブレーキが点滅 | : | ブレーキローラユニットのカウンタをリセットできます。 |
| (3) パッドが点滅 | : | パッドユニットのカウンタをリセットできます。 |
| (4) ランプオモテが点滅 | : | 表面ランプのカウンタをリセットできます。 |
| (5) ランプウラが点滅 | : | 裏面ランプのカウンタをリセットできます。 |

◁(右方向ボタン) を押すと (1) から (5) の順番に選択されます。

▷(左方向ボタン) を押すと (5) から (1) の順番に選択されます。

- 3) **[Enter]** ボタンを押すと LCD は<画面 9 >での選択に応じて<画面 9-1 >から<画面 9-5 >の中のいずれかの画面になります。

[ピック] 選択時:

<画面 9-1 >

!	0	9	-	1	ヒ	ッ	ク	カ	ウ	ン	タ
=	X	X	X	X	X	X		リ	セ	ツ	ト / N °

[ブレーキ] 選択時:

<画面 9-2 >

!	0	9	-	2	フ	レ	キ	カ	ウ	ン	タ
=	X	X	X	X	X	X		リ	セ	ツ	ト / N °

[パッド] 選択時:

<画面 9-3 >

!	0	9	-	3	ハ	ッ	ト	カ	ウ	ン	タ
=	X	X	X	X	X	X		リ	セ	ツ	ト / N °

[ランプオモテ] 選択時:

<画面 9-4 >

!	0	9	-	4	ラ	ン	フ	オ	モ	テ	
=	X	X	X	X	X	X		リ	セ	ツ	ト / N °

[ランプウラ] 選択時:

<画面 9-5 >

!	0	9	-	5	ラ	ン	フ	ウ	ラ		
=	X	X	X	X	X	X		リ	セ	ツ	ト / N °



[XXXXXX] は各消耗品カウンタ値です。

- 4) <画面 9-1>から<画面 9-5>において、それぞれカウンタをリセットする場合は
◁(左方向ボタン)を押して[リセット]を選択します。

続けて[Enter]ボタンを押します。<画面 9-6>が表示されます。

リセットしない場合は[No]を選択して[Enter]ボタンを押します。

<画面 9-6>

!	0	9	-	6		リ	セ	ツ	ト	シ	マ	ス	カ	?
X	X	X	X	X	X	X		N	o	/	Y	e	s	



ヒント

[XXXXXX]は選択している消耗品カウンタ名です。

- ・ピック
- ・ブレーキ
- ・パッド
- ・ランプオモテ
- ・ランプウラ

- 5) リセットする場合は[Yes]を選択して[Enter]ボタンを押します。

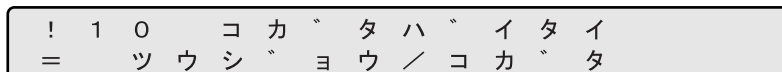
リセットをキャンセルする場合は[No]を選択して[Enter]ボタンを押します。

最後に[Exit]ボタンを押すと、LCDはレディ画面に戻ります。

10. 小型原稿の読み取り設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 10 >を表示させます。

<画面 10 >



- 2) <画面 10 >では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、読み取る原稿の大きさに適した設定を選択します。



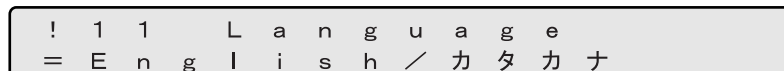
選択されている項目は点滅します。

- (1) [ツウジョウ] が点滅している: 80 mm より長い原稿を読み取る場合に選択します。
 - (2) [コガタ] が点滅している: 80 mm 以下の長さの原稿を読み取る場合に選択します。
- 3) [Enter] ボタンを押して設定を有効にします。
最後に [Exit] ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

11. 表示言語の切り換え

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 11 >を表示させます。

<画面 11 >



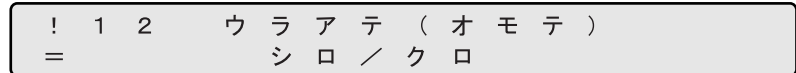
```
! 1 1 L a n g u a g e
= E n g l i s h / カ タ カ ナ
```

- 2) ◁(左方向ボタン) または ▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、表示させる言語を選択します。
- 3) [Enter] ボタンを押して設定を有効にします。
最後に [Exit] ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

12. 表面ウラアテ切り替えの設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 12 > を表示させます。

<画面 12 >



- 2) <画面 12 >において、読み取った画像の背景色を白にする場合は◁(左方向ボタン) を押して [シロ] を選択します。

読み取った画像の背景色を黒にする場合は▷(右方向ボタン) を押して [クロ] を選択します。

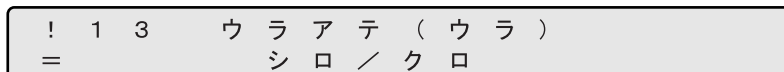
- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

13. 裏面ウラアテ切り替えの設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 13> を表示させます。

<画面 13>



- 2) <画面 13>において、読み取った画像の背景色を白にする場合は◁(左方向ボタン) を押して [シロ] を選択します。

読み取った画像の背景色を黒にする場合は▷(右方向ボタン) のどちらかを押して [クロ] を選択します。

- 3) **[Enter]** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **[Exit]** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

14. 表面のドロップアウトカラーの設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 14 > を表示させます。

<画面 14 >

!	1	4	ト	ッ	フ	°	ア	ウ	ト	(F)
=		R	/	G	/	B						

- 2) <画面 14 > では ◁(左方向ボタン) または ▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、ドロップアウトする色を選択します。



選択されている項目は点滅します。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

15. 裏面のドロップアウトカラーの設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 15> を表示させます。

<画面 15>

!	1	5	ト	ッ	フ	°	ア	ウ	ト	(B)
=		R	/	G	/	B						

- 2) <画面 15> では ◁(左方向ボタン) または ▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、ドロップアウトする色を選択します。



選択されている項目は点滅します。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

16. 原稿ピックアップの再試行

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 16 >を表示させます。

<画面 16 >

!	1	6	ピ	ック	リ	トライ
			ヘ	ン	コ	ウ ? N o / Y e s

- 2) <画面 16 >において、ピックアップモーターの動作時間および再試行回数を変更する場合は◁(右方向ボタン) を押して [Yes] を選択します。続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 16-1 >が表示されます。

変更しない場合は [No] を選択して **Enter** ボタンを押します。

<画面 16-1 >

!	1	6	-	1	リ	トライ	ス	テ	ッ	フ °
=						2				



選択されている項目は点滅します。

- 3) <画面 16-1 >では、ピックアップモーターの動作時間の設定をします。設定値が大きいほど、原稿の繰り込み量が多くなります。

◁(左方向ボタン) を押すとピックアップローラの動作時間が小さくなります。

▷(右方向ボタン) を押すとピックアップローラの動作時間が大きくなります。

◁(左方向ボタン) または ▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、設定値を選択します。

ピックアップモーター動作時間の設定は 1 ~ 7 段階の設定が可能です。

続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 16-2 >が表示されます。

<画面 16-2 >

!	1	6	-	2	リ	トライ	カ	イ	ス	ウ
=						4				

- 4) <画面 16-2 >では、再試行回数の設定をします。◁(左方向ボタン)を押すと、再試行回数が少なくなります。▷(右方向ボタン)を押すと再試行回数が多くなります。
◁(左方向ボタン)または▷(右方向ボタン)のどちらかを押して、設定値を選択します。
再試行回数は1～7回の範囲で設定が可能です。
- 5) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

17. 原稿搬送の再試行

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 17> を表示させます。

<画面 17>

!	1	7	フ	ィ	ー	ト`	リ	ト	ラ	イ		
			ヘ	ン	コ	ウ?	N	o	/	Y	e	s

- 2) <画面 17>において、搬送モーターの動作時間および再試行回数を変更する場合は▷(右方向ボタン) を押して [Yes] を選択します。続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 17-1>が表示されます。

変更しない場合は [No] を点滅選択して **Enter** ボタンを押します。

<画面 17-1>

!	1	7	-	1	リ	ト	ラ	イ	ス	テ	ッ	フ°
=								1				



選択されている項目は点滅します。

- 3) <画面 17-1>では、搬送モーターの動作時間の設定をします。設定値が大きいほど、原稿の繰り込み量が多くなります。

◁(左方向ボタン) を押すと搬送モーターの動作時間が小さくなります。

▷(右方向ボタン) を押すと搬送モーターの動作時間が大きくなります。

◁(左方向ボタン) または ▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、設定値を選択します。

搬送モーターの動作時間の設定は 1 ~ 7 段階の範囲で設定が可能です。

続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 17-2>が表示されます。

<画面 17-2>

!	1	7	-	2	リ	ト	ラ	イ	カ	イ	ス	ウ
=								4				

- 4) <画面 17-2 >では、再試行回数の設定をします。◁(左方向ボタン) を押すと再試行回数が少なくなります。▷(右方向ボタン) を押すと再試行回数が多くなります。
◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、設定値を選択します。
再試行回数は 1 ~ 7 回の範囲で設定が可能です。
- 5) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

18. 手挿入モードの設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 18 > を表示させます。

<画面 18 >

!	1	8	テ	ソ	ウ	ニ	ュ	ウ	モ	ー	ト	〃		
			ヘ	ン	コ	ウ	?		N	o	/	Y	e	s

- 2) <画面 18 >において、変更する場合は◁(右方向ボタン) を押して [Yes] を選択します。



選択されている項目は点滅します。

続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 18-1 >が表示されます。

手挿入モードを変更しない場合は [No] を選択して **Enter** ボタンを押します。

<画面 18-1 >

!	1	8	-	1	ピ	ッ	ク	カ	イ	シ	タ	イ	ム
=					1	.	0	S	e	c			

- 3) <画面 18-1 >では原稿を手挿入してから繰り込み動作が開始するまでの時間を設定します。

◁(左方向ボタン) を押すとピック開始時間が短くなります。

▷(右方向ボタン) を押すとピック開始時間が長くなります。

ピック開始時間は 0.2 ~ 29.8 秒まで 0.2 秒単位で設定できます。

Enter ボタンを押すと<画面 18-2 >が表示されます。

<画面 18-2 >

!	1	8	-	2	タ	イ	ム	ア	ウ	ト	セ	ッ	テ	イ
=					3	0		S	e	c				

- 4) <画面 18-2 >ではパソコンが読み取りコマンドを発行してから、原稿を手挿入するまでの待機時間を設定します。

◇(左方向ボタン) を押すと設定値が短くなります。

◇(右方向ボタン) を押すと設定値が長くなります。

1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100, 110, 120, 180, 240, 255 (秒) の設定が可能です。

- 5) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

19. SCSI ID の設定

- 1) ◁ (下方向ボタン) または ▷ (上方向ボタン) を押して、LCD に <画面 19 > を表示させます。

<画面 19 >

!	1	9	S	C	S	I	I	D							
=	0	/	1	/	2	/	3	/	4	/	5	/	6	/	7

- 2) <画面 19 > では ◁ (左方向ボタン) または ▷ (右方向ボタン) のどちらかを押して、SCSI ID 番号を選択します。



選択されている項目は点滅します。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。



変更後の SCSI ID が有効になるのは、次の電源投入後です。

20. プロダクト ID（スキヤナの型式番号）の設定

- 1) ◁（下方向ボタン）または ▷（上方向ボタン）を押して、LCD に〈画面 20〉を表示させます。

〈画面 20〉

!	2	0	フ	°	ロ	タ	ク	ト	I	D				
f	i	4	8	6	0	C	/	f	i	4	9	9	0	C

- 2) 〈画面 20〉では◁（左方向ボタン）または▷（右方向ボタン）のどちらかを押して、プロダクト ID を選択します。



選択されている項目は点滅します。

設定できるプロダクト ID は以下のとおりです。

- (1) fi4860C
- (2) fi4990C
- (3) M4099D
- (4) M3099G

◁（左方向ボタン）を押すと（4）から（1）の順番に選択されます。

▷（右方向ボタン）を押すと（1）から（4）の順番に選択されます。



プロダクト ID は通常変更する必要はありません。

- 3) **[Enter]** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **[Exit]** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

21. SCSI バス幅の設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 21 >を表示させます。

<画面 21 >

!	2	1	S	C	S	I	ハ	ス			
=	ハ	ス	ハ	ハ		8	/	16	b	i	t

- 2) <画面 21 >において Wide SCSI (64 ピン) で接続している場合は▷(右方向ボタン) を押して [16] を選択します。

SCSI-2 (50 ピン) で接続している場合は◁(左方向ボタン) を押して [8] を選択します。



選択されている項目は点滅します。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

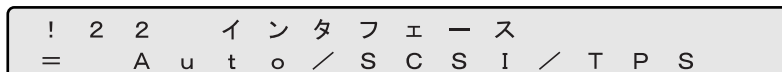


16 ビット幅データ転送を禁止している場合は、本機能を [8 ビット] に設定してください。

22. インターフェースの設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 22 >を表示させます。

<画面 22 >



- 2) <画面 22 >では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、インターフェースの種類を選択します。



選択されている項目は点滅します。

インターフェースの種類は以下のとおりです。

- (1) Auto が点滅: TPS インターフェースにボードが挿入されている時は、TPS インターフェースで動作し、挿入されていない時は SCSI インターフェースで動作する。
- (2) SCSI が点滅: SCSI インターフェースで動作し、TPS インターフェースは無効となる。
- (3) TPS が点滅: TPS インターフェースで動作し、SCSI インターフェースは無効となる。

◁(左方向ボタン) を押すと (3) から (1) の順番に選択されます。

▷(右方向ボタン) を押すと (1) から (3) の順番に選択されます。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

23. TPS インターフェースの通信速度設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 23> を表示させます。

<画面 23>

!	2	3	ホ	レ	ト	セ	テ	イ							
=	1	9	2	0	0	/	9	6	0	0	/	4	8	0	0

- 2) <画面 23>では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、通信速度を選択します。



選択されている項目は点滅します。

設定できる通信速度は以下のとおりです。

- (1) 19200 bps
- (2) 9600 bps
- (3) 4800 bps
- (4) 2400 bps

◁(左方向ボタン) を押すと (4) から (1) の順番に選択されます。

▷(右方向ボタン) を押すと (1) から (4) の順番に選択されます。



本装置では 9600 bps に設定することを推奨します。

- 3) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

24. インプリンタの選択

本装置はプレインプリンタ（オプション）とポストインプリンタ（オプション）を搭載することができますが、印刷は両方のオプション同時に 行うことができません。片方のオプションのみ印刷できます。以下に印刷を行うインプリンタ（オプション）の選択方法を示します。

- 1) ◁（下方向ボタン）または ▷（上方向ボタン）を押して、LCD に<画面 24 >を表示させます。

<画面 24 >

!	2	4	イン	フ	°	リン	タ
			セン	タ	ク	フ	°
						レ	/
						ホ	°
							スト

- 2) <画面 24 >では◁（左方向ボタン）または▷（右方向ボタン）のどちらかを押して、印字を行わせるインプリンタを選択します。



ヒント

選択されている項目は点滅します。

「プレ」の点滅は、プレインプリンタ（fi-486PRFR）が選択されていることを示します。

「ポスト」の点滅は、ポストインプリンタ（fi-486PRRE）が選択されていることを示します。

- 3) [Enter] ボタンを押して設定を有効にします。続けて選択優先の設定を行います。<画面 24-1 >が表示されます。

<画面 24 >で「プレ」を選択した場合：

<画面 24-1 >

!	2	4	-	1	セン	タ	ク	ユ	-	セン
=		/	F	/	ハ	°	ネル	:	フ	°

<画面 24 >で「ポスト」を選択した場合：

<画面 24-1 >

!	2	4	-	1	セン	タ	ク	ユ	-	セン
=		/	F	/	ハ	°	ネル	:	ホ	°

選択優先設定とは、インターフェースの指定に従うか、オペレーターパネル設定（本設定）に従うかを定めることです。

4) <画面 24-1 >では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) を押すと、選択優先設定の項目が選択できます。

◁(左方向ボタン) 押した場合： 「I/F」が点滅し、印字するインプレッタの選択は強制的にインターフェースからの指定に従います。

▷(右方向ボタン) 押した場合： 「パネル：プレ」また「パネル：ポスト」が点滅し、印字するインプレッタは強制的に<画面 24 >で選択した「プレ」また「ポスト」のとなります。

Enter ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。



本設定画面は、fi-486PRFR および fi-486PRRE の両方がスキャナに装着されている場合のみ表示されます。

25. インプリンタの番号印刷設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 25 >を表示させます。

<画面 25 >

!	2	5	ハ	ン	コ	ウ	イン	サ	ツ
=			O	n	/	O	f	f	(X X X X)



[x x x x] は”プレ”または”ポスト”が表示されます。

- 2) <画面 25 >において、番号印刷をおこないたい場合は◁(左方向ボタン) を押して [On] を選択します。

続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 25-1 >が表示されます。

番号印刷をおこなわない場合は▷(右方向ボタン) を押して [Off] を選択して **Enter** ボタンを押します。

<画面 25-1 >

!	2	5	-	1	ケ	タ	ス	ウ
=				5	/		8	



選択されている項目は点滅します。

- 3) <画面 25-1 >では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) を押して、印刷する番号の桁数を点滅させて選択します。
設定できる印刷桁数は以下のとおりです。

(1) 5 が点滅： 5 桁

(2) 8 が点滅： 8 桁

[Enter] ボタンを押します。<画面 25-2 >が表示されます。

<画面 25-2 >

!	2	5	-	2	ハ	ン	コ	ウ	シ	ヨ	キ	チ
=		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 4) <画面 25-2 >では、印刷する番号の初期値を設定します。
◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) を押すと、桁数の位置 (点滅対象位置) が選択できます。
▽(下方向ボタン) または△(上方向ボタン) を押すと、数値を変更できます。

- 5) [Enter] ボタンを押して設定を有効にします。<画面 25-3 >が表示されます。

<画面 25-3 >

!	2	5	-	3	ヨ	ウ	シ	ナ	シ	リ	セ	ツ	ト
=					o	n	/	o	f	f			



ヒント

番号設定値は、最大値 (5 桁時 :99999/ 8 桁時 :16777215) を超えると表示が変化しなくなります。

- 5) <画面 25-3 >では、原稿がホッパから無くなった時（ホッパエンプティ）に、自動番号を初期化するかどうするかを選択します。

ホッパエンプティで初期化する場合は◇（左方向ボタン）を押して [On] を選択します。

続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 25-4 >が表示されます。

ホッパエンプティでリセットしない場合は [Off] を選択して **Enter** ボタンを押します。<画面 25-4 >が表示されます。

<画面 25-4 >

!	2	5	-	4	リ	セ	ツ	ト	シ	マ	ス	カ
=					N	o	/	Y	e	s		

- 6) <画面 25-4 >では、いますぐ印刷番号を初期化するかどうかを選択します。番号初期値に初期化する場合は◇（右方向ボタン）を押して [Yes] を選択します。続けて **Enter** ボタンを押します。

番号初期値に初期化しない場合は [No] を選択して **Enter** ボタンを押します。

- 7) 最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。



パソコンからのコマンド指定が操作パネルの指定よりも優先されま
す。

26. インプリンタのインク残量カウンタのリセット

以下のメッセージが表示されましたら、新しいプリントカートリッジを準備してください。印刷できない状態になりましたら、プリントカートリッジを交換するとともに、インク残量カウンタリセットの操作をおこなってください。エラーが発生する前にプリントカートリッジを交換された場合もインク残量カウンタリセットの操作をおこなってください。

インク サ ` ン リ ョ ウ チ ュ ウ イ
ヨ ミ ト リ チ ュ ウ x x x x



[X X X X] は読み取り枚数カウンタ値です。

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 26 > を表示させます。

<画面 26 >

! 2 6 インク (X X X X)
= ■ ■ ■ ■ □ □ リ セ ッ ト / N ○

インク残量の目安は以下のとおりです。

■ ■ ■ ■ ■ ■ — インク残量が多い
■ ■ ■ ■ ■ □
■ ■ ■ ■ □ □
■ ■ ■ □ □ □
■ ■ □ □ □ □
■ □ □ □ □ □ — インク残量が少ない又はエンプティ状態



[x x x x] は”プレ”または”ポスト”が表示されます。

- 2) <画面 26>において、リセットする場合は◁(左方向ボタン)を押して[リセット]を選択します。

ボタンを押します。<画面 26-1>が表示されます。

リセットしない場合は[No]を選択して ボタンを押します。

<画面 26-1>

!	2	6	-	1	リ	セ	ツ	シ	マ	ス	カ	?
					N	o	/	Y	e	s		

- 3) <画面 26-1>において、リセット処理を実行する場合は▷(右方向ボタン)のどちらかを押して[Yes]を選択します。

リセット処理をキャンセルする場合は[No]を選択して ボタンを押します。

- 4) ボタンを押してリセットします。残量表示が■■■■■■に戻ります。

!	2	6	イ	ン	ク	(X	X	X	X)	
=	■	■	■	■	■	■	リ	セ	ツ	/	N	o

- 5) 最後に ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

27. 省電力モードの設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 27> を表示させます。

<画面 27>

!	2	7	ハ	°	ワ	ー	セ	ー	フ	、
=			1	0			1	5		2 0 m i n

- 2) <画面 27>において、省電力モードを有効にする場合は◁(左方向ボタン) を押して [On] を選択します。続けて Enter ボタンを押します。<画面 27-1> が表示されます。省電力モードを無効にする場合は▷(右方向ボタン) を押して [Off] を選択し、Enter ボタンを押します。
- 3) <画面 27-1> では◁(左方向ボタン) または▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、省電力モードに入るまでの待機時間を選択します。



選択されている項目は点滅します。

最小 5 分から最大 60 分まで、5 分刻みで設定できます。



ENERGYSTAR® プログラムが推奨する待機時間は 15 分です。

- 4) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。
最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

28. 明るさの調整

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 28> を表示させます。

<画面 28>

```
! 2 8   フ ` ラ イ ト ネ ス  
ヘ ン コ ウ ?   N o / Y e s
```

- 2) <画面 28>において、明るさを調整する場合は▷(右方向ボタン) を押して [Yes] を選択します。

続けて **Enter** ボタンを押します。<画面 28-1>が表示されます。

明るさの調整をしない場合は [No] を選択して **Enter** ボタンを押します。

<画面 28-1>

```
! 2 8 - 1   フ ` ラ イ ト ネ ス  
オ モ テ メ ン :   0   ウ ラ メ ン :   0
```



選択されている項目は点滅します。

- 3) <画面 28-1>において、表面の明るさを調整する場合は◁(左方向ボタン) を押して [オモテメン] を選択します。

裏面の明るさを調整する場合は▷(右方向ボタン) を押して [ウラメン] を選択します。

明るくする場合は◁(下方向ボタン) を押します。押すごとに設定値が +1 されます。

暗くする場合は▷(上方向ボタン) を押します。押すごとに設定値が -1 されます。

29. インプリンタの装着状態の確認

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 29 >を表示させます。

<画面 29 >

!	2	9	イ	ン	フ	°	リ	ン	タ	ス	テ	ー	タ	ス
=							X	X	X	X	/	X	X	X

[X X X X / X X X] にインプリンタの装着状態が表示されます。

- (1) fi-486PRFR のみ装着されている場合： [プレ]
- (2) fi-486PRRE のみ装着されている場合： [ポスト]
- (3) fi-486PRFR と fi-486PRRE が両方とも装着されている場合： [ポスト/プレ]

- 2) [Exit] ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

30. ランプ制御設定

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 30 > を表示させます。

<画面 30 >

!	3	0	ラ	ン	フ	。	セ	イ	キ	`	ヨ			
=	ツ	ウ	シ	`	ヨ	ウ	/	ツ	ネ	ニ	テ	ン	ト	ウ

- 2) ツウジョウを選択する場合は◁(左方向ボタン) を押します。ツネニテントウの場合は▷(右方向ボタン) を押します。
 - (1) [ツウジョウ] が点滅している： [ツウジョウ] モードが選択されています。
 - (2) [ツネニテントウ] が点滅している： [ツネニテントウ] モードが選択されています。
- 3) [Enter] ボタンを押して設定を有効にします。
最後に [Exit] ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

31. 自動サイズ幅設定

2値白黒読み取りと、自動用紙サイズ検出を同時に選択して原稿を読み取った時に、イメージの読み取り幅に端数が生じる場合があります。この際に、この端数をデータとして取り込むか、切り捨てるかを設定します。

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCDに<画面 31 >を表示させます。

<画面 31 >

!	3	1	シ	ト	ウ	サイ	ス	ハ	ハ
	3	2	ヒ	ット		キ	リス	テ	

- 2) <画面 31 >において、◁(左方向ボタン) または ▷(右方向ボタン) のどちらかを押して、[クリアゲ] / [キリステ] を選択します。
データの欠落を防ぎたい場合は[クリアゲ]、無駄なデータを削除したい場合は[キリステ] を選択します

- 3) [Enter] ボタンを押して設定を有効にします。

最後に [Exit] ボタンを押すと、LCDはレディ画面に戻ります。

32. 裏面の自動用紙サイズ検出のオフセット（開始位置）設定

- 1) ◁（下方向ボタン）または ▷（上方向ボタン）を押して、LCD に＜画面 32＞を表示させます。

＜画面 32＞

! 3 2 ク ロ ッ ` ヒ ° ン ク ` (ウ ラ)
ヘ ン コ ウ ? N o / Y e s

- 2) ＜画面 32＞において、◁（左方向ボタン）また ▷（右方向ボタン）のどちらかを押し、主走査（ヨコ）オフセット（開始位置）を設定します。続けて **Enter** ボタンを押します。＜画面 32-1＞が表示されます。

＜画面 32-1＞

! 3 2 - 1 ヨ コ
= + 0 (+ ヒ タ ` リ)

- 3) ＜画面 32-1＞において、◁（左方向ボタン）また ▷（右方向ボタン）のどちらかを押し、主走査（ヨコ）の開始位置を設定します。

- ▷（右方向ボタン）押した場合： -4 ~ +4 (x 0.5mm)
まで設定が増加します。
- ◁（左方向ボタン）押した場合： +4 ~ -4 (x 0.5mm)
まで設定が減少します。

続けて **Enter** ボタンを押します。＜画面 32-2＞が表示されます。

＜画面 32-2＞

! 3 2 - 2 タ テ
= + 0 (+ ウ エ)

- 4) ＜画面 32-2＞において、◁（左方向ボタン）また ▷（右方向ボタン）のどちらかを押し、副走査（タテ）の開始位置を設定します。

- ▷（右方向ボタン）押した場合： -4 ~ +4 (x 0.5mm)
まで設定が増加します。
- ◁（左方向ボタン）押した場合： +4 ~ -4 (x 0.5mm)
まで設定が減少します。

- 5) **Enter** ボタンを押して設定を有効にします。

最後に **Exit** ボタンを押すと、LCD はレディ画面に戻ります。

7.4 テストモードの概要

スキヤナのオフライン時での動作チェックをおこなうことができます。
テストモードに入るには以下の手順にしたがってください。

・テストモード

Start ボタンを押しながら、電源を投入します。

しばらくすると、LCD に以下のメッセージが表示されます。

```
< モ ー ト `   セ レ ク ト >  
セ ッ ト ア ッ フ 。   テ ス ト
```

◁ (左方向ボタン) または ▷ (右方向ボタン) を押して [テスト] を選択します。

Enter ボタンを押すと、テストモードに入ります。

テストモードを終了するには、電源を切断します。



選択されている項目は点滅します。

■ テストモードのボタン機能

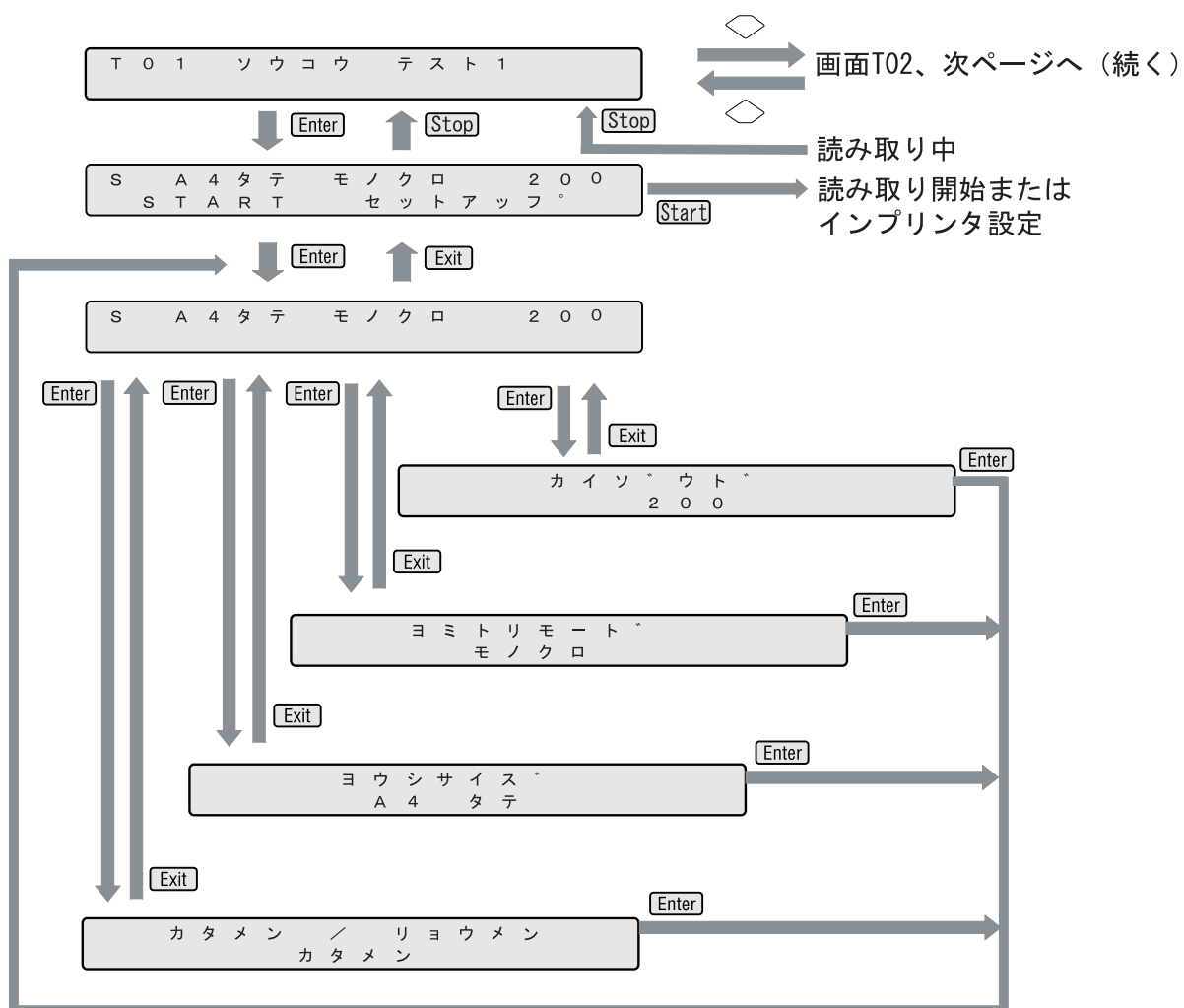
ボタン名	機能
◇ [Next]	変更を保存せずに、次のメニュー画面に移ります。
◇ [Previous]	変更を保存せずに、前のメニュー画面に戻ります。
◇	メニュー画面の右側の項目に移ります。
◇	メニュー画面の左側の項目に移ります。
Enter	<ul style="list-style-type: none">・変更を保存して次のメニュー画面に移ります。・下位のメニュー画面に移ります。
Exit	変更を保存せずに、上位メニューに戻ります。

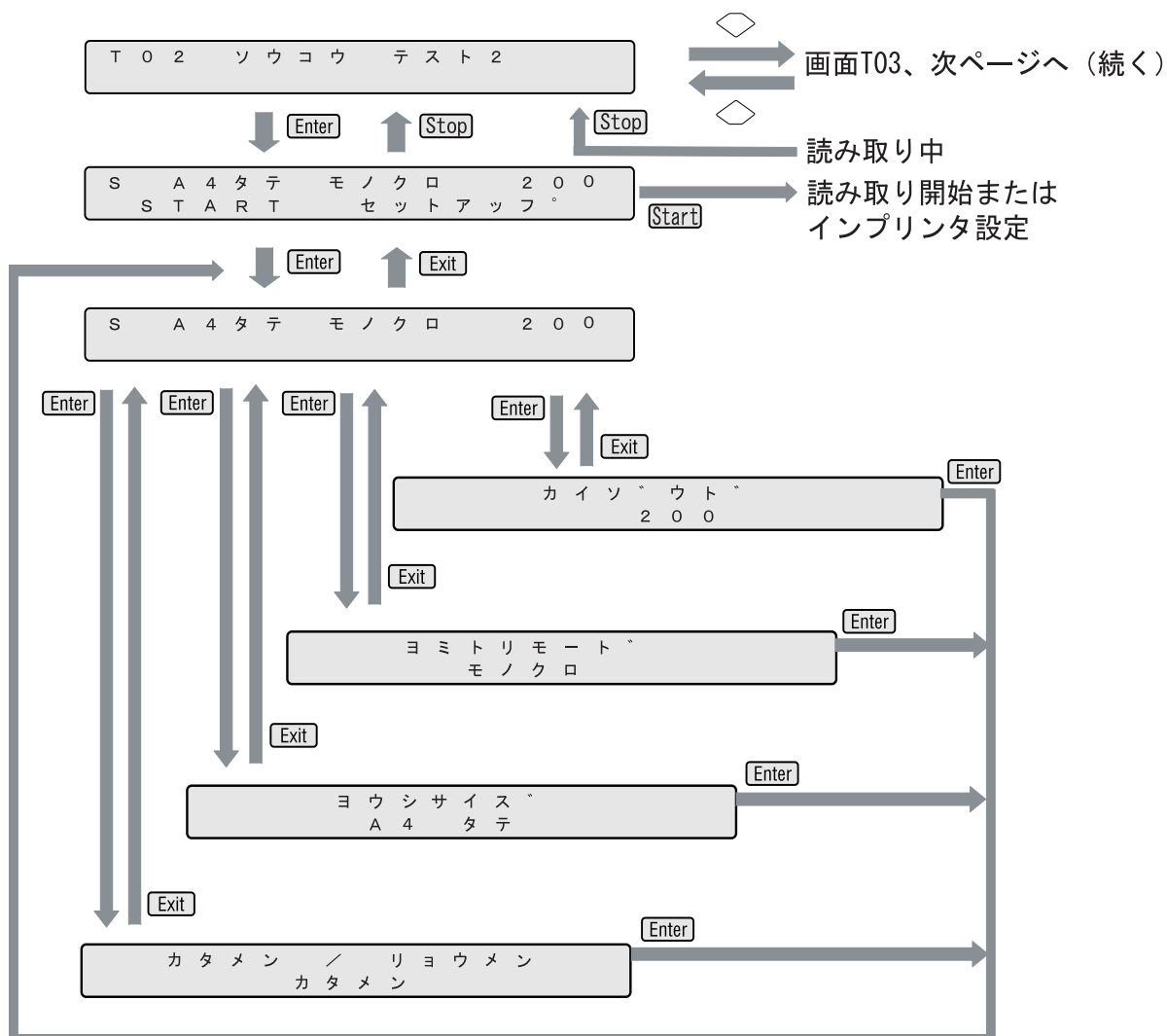
■ テストモードでの画面遷移

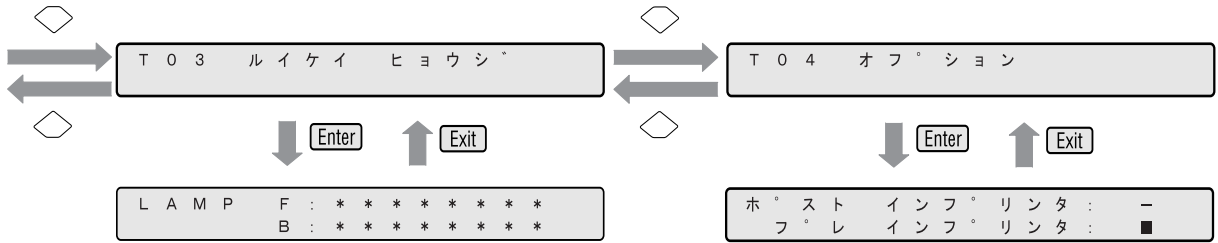
次ページを参照してください。

以下の遷移図は代表的な操作パネル表示の移りかわりを示しています。

詳細については「7.5 テストモードの詳細」（238 ページ）を参照してください。







■ テストモードの設定内容

LCD の表示	説明
ソウコウテスト1	パソコンと接続することなく、原稿を一枚読み取ります。
ソウコウテスト2	パソコンと接続することなく、原稿の連続読み取りをおこないます。
ルイケイヒョウジ	ランプの累積点灯時間を表示します。
オプション	本装置のオプションの装着状態を表示します。

7.5 テストモードの詳細

1. ソウコウテスト 1

パソコンを接続しないで、本装置の機構の動作全体をチェックするために使用します。本テストでは原稿を一枚だけ読み取ります。原稿を読み取る際のパラメーターを変更して動作させることができます。インプリンタのテスト印刷もあわせておこなうことができます。

- 1) 読み取る原稿をホッパに置きます。
- 2) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 50> を表示させます。

<画面 50>

T	0	1	ソ	ウ	コ	ウ	テ	ス	ト	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 3) <画面 50> で **Enter** ボタンまたは **Start** ボタンを押します。LCD に<画面 50-1> が表示されます。

<画面 50-1>

S	A	4	タ	テ	モノ	クロ	2	0	0
S	T	A	R	T	セ	ツ	ア	ッ	フ

- 4) <画面 50-1> で ◁(右方向ボタン) を押して [セットアップ] を選択します。
続けて **Enter** ボタンまたは **Start** ボタンを押します。LCD に<画面 50-2> が表示されます。

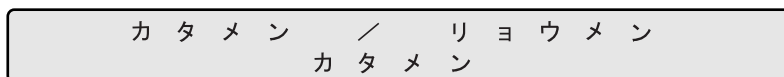
<画面 50-2>

S	A	4	タ	テ	モノ	クロ	2	0	0
---	---	---	---	---	----	----	---	---	---

5) 読み取り時の条件を設定します。

- (1) <画面 50-2 >で左端の項目 [S] (設定により表示が異なります) を選択して **Enter** ボタンを押します。LCDに<画面 50-2.1 >が表示されます。

<画面 50-2.1 >

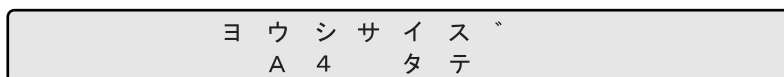


この画面で◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押し、片面で読み取るか両面で読み取るかを選択します。

Enter ボタンを押して、設定を有効にします。その後<画面 50-2 >に戻ります。

- (2) <画面 50-2 >で左から2番目の項目 [A4 タテ] (設定により表示が異なります) を選択し **Enter** ボタンを押します。LCDに<画面 50-2.2 >が表示されます。

<画面 50-2.2 >



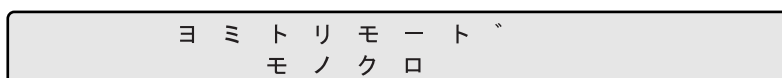
この画面で◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押し、原稿のサイズと向きを選択します。以下のパラメーターが選択できます。

A4 縦	A4 タテ
A4 横	A4 ヨコ
B4 縦	B4 タテ
リーガル縦	LG タテ
レター縦	LT タテ
11 × 17 インチ 縦	DL タテ
A3 縦	A3 タテ
A5 縦	A5 タテ
A5 横	A5 ヨコ
B5 縦	B5 タテ
B5 横	B5 ヨコ
レター横	LT ヨコ

Enter ボタンを押して設定を有効にします。その後<画面 50-2 >に戻ります。

- (3) <画面 50-2 >で左から 3 番目の項目 [モノクロ] (設定により表示が異なります) を選択し **Enter** ボタンを押します。LCD に<画面 50-2.3 >が表示されます。

<画面 50-2.3 >

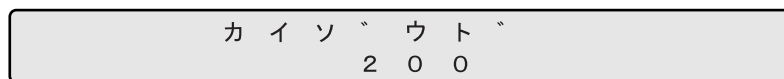


この画面で◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押し、バイナリ (モノクロ値) で読み取るか、カラーで読み取るかを選択します。

Enter ボタンを押して設定を有効にします。その後<画面 50-2 >に戻ります。

- (4) <画面 50-2 >で右端の項目 [200] (設定により表示が異なります) を選択し
[Enter] ボタンを押します。LCDに<画面 50-2.4 >が表示されます。

<画面 50-2.4 >



この画面で◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押し
て、読み取り解像度を選択します。以下のパラメーターが選択できます。

200:	200 dpi で読み取り
240:	240 dpi で読み取り
300:	300 dpi で読み取り
400:	400 dpi で読み取り

[Enter] ボタンを押して設定を有効にします。その後<画面 50-2 >に戻ります。

- (5) **Exit** ボタンを押します。その後<画面 50-1 >に戻ります。

<画面 50-1 >で [START] を選択し **Start** ボタンを押します。fi-486PRFR または fi-486PRRE のインプリンタが装着されていたら、LCD に<画面 50-3 >が表示されます。インプリンタの条件設定をおこなうことができます。

インプリンタが装着されていない場合は、そのまま読み取り動作を開始します。

<画面 50-3 >

イン サ ツ
= O f f / O n : フ ° レ / ホ ° ス ト

- (6) この画面で ◀ (左方向ボタン) または ▶ (右方向ボタン) のどちらかを押し、テスト印刷をする場合は [On] を選択します。

続けて印刷するインプリンタを選択します。

fi-486PRFR ならば [プレ] を、fi-486PRRE ならば [ポスト] を選択します。

印刷しないならば [Off] を選択します。

- (7) **Start** ボタンを押します。読み取りながらインプリンタのテスト印刷がおこなわれます。



読み取り動作中に中断する時は **Stop** ボタンを押してください。

その後<画面 50 >に戻ります。

2. ソウコウテスト 2

パソコンを接続しないで、本装置の機構の動作全体をチェックするために使用します。本テストでは原稿を連続して読み取ります。また原稿を読み取る際のパラメーターを変更して動作させることもできます。インプリンタのテスト印刷もあわせておこなうことができます。

- 1) 読み取る原稿をホッパに置きます。
- 2) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 51 > を表示させます。

<画面 51 >

T 0 2	ソウコウ	テスト 2
-------	------	-------

- 3) <画面 51 > で **Enter** ボタンまたは **Start** ボタンを押します。LCD に<画面 51-1 > が表示されます。

<画面 51-1 >

S	A 4	タテ	モノクロ	2 0 0
S T A R T			セ ッ ト ア ッ プ °	

- 4) <画面 51-1 > では◁(右方向ボタン) を押して [セットアップ] を選択します。続けて **Enter** ボタンまたは **Start** ボタンを押します。LCD に<画面 51-2 > が表示されます。

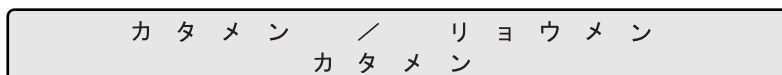
<画面 51-2 >

S	A 4	タテ	モノクロ	2 0 0
---	-----	----	------	-------

5) 読み取り時の条件を設定します。

- (1) <画面 51-2 >で左端の項目 [S] (設定により表示が異なります) を選択して ボタンを押します。LCDに<画面 51-2.1 >が表示されます。

<画面 51-2.1 >

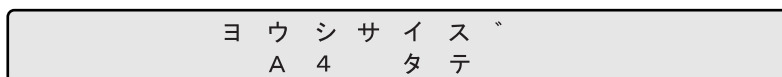


この画面で◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押し、片面で読み取るか両面で読み取るかを選択します。

ボタンを押して、設定を有効にします。その後<画面 51-2 >に戻ります。

- (2) <画面 51-2 >で左から2番目の項目 [A4 タテ] (設定により表示が異なります) を選択し ボタンを押します。LCDに<画面 51-2.2 >が表示されます。

<画面 51-2.2 >



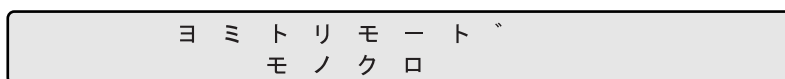
この画面で◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押し、原稿のサイズと向きを選択します。以下のパラメーターが選択できます。

A4 縦	A4 タテ
A4 横	A4 ヨコ
B4 縦	B4 タテ
リーガル縦	LG タテ
レター縦	LT タテ
11 × 17 インチ 縦	DL タテ
A3 縦	A3 タテ
A5 縦	A5 タテ
A5 横	A5 ヨコ
B5 縦	B5 タテ
B5 横	B5 ヨコ
レター横	LT ヨコ

Enter ボタンを押して設定を有効にします。その後<画面 51-2 >に戻ります。

- (3) <画面 51-2 >で左から 3 番目の項目 [モノクロ] (設定により表示が異なります) を選択し **Enter** ボタンを押します。LCD に<画面 51-2.3 >が表示されます。

<画面 51-2.3 >



この画面で◀(左方向ボタン)または▶(右方向ボタン)のどちらかを押し、バイナリ(モノクロ値)で読み取るか、カラーで読み取るかを選択します。

Enter ボタンを押して設定を有効にします。その後<画面 51-2 >に戻ります。

- (4) <画面 51-2 >で右端の項目 [200] (設定により表示が異なります) を選択し
[Enter] ボタンを押します。LCDに<画面 51-2.4 >が表示されます。

<画面 51-2.4 >

カ イ ソ ` ウ ト ` 2 0 0

この画面で◀(左方向ボタン) または▶(右方向ボタン) のどちらかを押し
て、読み取り解像度を選択します。以下のパラメーターが選択できます。

200:	200 dpi で読み取り
240:	240 dpi で読み取り
300:	300 dpi で読み取り
400:	400 dpi で読み取り

[Enter] ボタンを押して設定を有効にします。その後<画面 51-2 >に戻ります。

[Exit] ボタンを押します。その後<画面 51-1 >に戻ります。

- (5) <画面 51-1 >で [START] を選択し [Start] ボタンを押します。fi-486PRFR または fi-486PRRE のインプリンタが装着されていたら、LCD に<画面 51-3 > が表示されます。インプリンタの条件設定をおこなうことができます。

インプリンタが装着されていない場合は、そのまま読み取り動作を開始します。

<画面 51-3 >

インサツ
= O f f / O n : フ ° レ / ホ ° ス ト

- (6) この画面で ◀ (左方向ボタン) または ▶ (右方向ボタン) のどちらかを押して、テスト印刷をする場合は [On] を選択します。

続けて印刷するインプリンタを選択します。

fi-486PRFR ならば [プレ] を、fi-486PRRE ならば [ポスト] を選択します。

印刷しないならば [Off] を選択して、[Enter] ボタンを押します。

- (7) [Start] ボタンを押します。読み取りをおこないながらインプリンタのテスト印刷をおこなわれます。



ヒント

読み取り動作中に中断する時は [Stop] ボタンを押してください。
その後<画面 51 >に戻ります。

3. ランプ点灯時間の累計表示

ランプ点灯時間の累計を確認できます。

- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 53 > を表示させます。

<画面 53 >

```
T O 3   ル イ ケ イ   ヒ ヨ ウ シ `
```

- 2) <画面 53 > では [Start] ボタンまたは [Enter] ボタンを押します。LCD に<画面 53-1 > が表示されます

<画面 53-1 >

```
L A M P   F : * * * * * * * * * *  
           B : * * * * * * * * * *
```

[F: XXXXXXXX] は表面ランプの累計点灯時間数を表します。

[B: XXXXXXXX] は裏面ランプの累計点灯時間数を表します。

- 3) [Exit] ボタンまたは [Stop] ボタンを押します。その後<画面 53 >に戻ります。

4. オプションの装着状態表示

本装置のオプションの装着状態を確認できます。

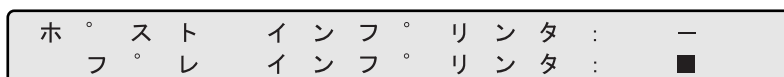
- 1) ◁(下方向ボタン) または ▷(上方向ボタン) を押して、LCD に<画面 54 > を表示させます。

<画面 54 >



- 2) <画面 54 > では [Enter] ボタンまたは [Start] ボタンを押します。LCD に<画面 54-1 > が表示されます。

<画面 54-1 >



fi-486PRFR が装着されていれば [プレインプリンタ : X] の [X] の表示が [■] になります。装着されていなければ [-] が表示されます。

fi-486PRRE が装着されていれば [ポストインプリンタ : X] の [X] の表示が [■] になります。装着されていなければ [-] が表示されます。

- 3) [Exit] ボタンまたは [Stop] ボタンを押します。その後<画面 54 >に戻ります。

8 オプションについて

この章では、本装置のオプションについて説明します。

8.1 本装置のオプション	252
8.2 fi-486PRFR (プレインプリンタ) について	253
8.3 fi-486PRRE (ポストインプリンタ) について.....	254
8.4 fi-486TRK (薄紙キット) について	255

8.1 本装置のオプション

以下に、本装置のオプションを示します。

品名	仕様	備考
fi-486PRFR	PA03296-D207	読み取り前に、表面に印字
fi-486PRRE	PA03296-D201	読み取り後に、裏面に印字
fi-486TRK	PA03296-D780	薄紙を読み取るための消耗品セット

詳細については、スキャナをご購入された販売会社または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。



本装置には、fi-486PRFR と fi-486PRRE を同時に装着することができます。ただし、印刷を同時におこなうことはできません。用途に応じてどちらかのインプリンタを指定してください。

8.2 fi-486PRFR（プレインプリンタ）について

fi-486PRFR はフロント側に装着し、原稿を読み取る前に印刷をおこないます。

fi-486PRFR（プレインプリンタ）の仕様を以下に示します。

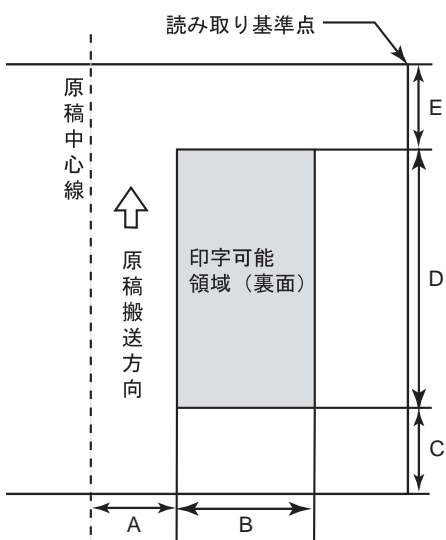
項目	説明
印字方式	サーマルインクジェット
印字文字	アルファベット : A ~ Z, a ~ z 数 字 : 0, 1 ~ 9 記 号 : ! " \$ % & ' () + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ' { }
最大印字文字数	40
文字サイズ	縦 2.91mm × 横 2.82mm
文字ピッチ	約 3.53mm
印字領域	<p>印字領域を以下に示します。</p> <p>A ≥ 40mm B ≤ 99mm C ≥ 5mm D ≤ 140.5mm（40 桁時） E ≥ 5mm</p>
消耗品	プリントカートリッジ（サプライ番号：0330610）

fi-486PRFR（フロント側インプリンタ）の取り扱いおよび機能については、fi-486PRFR に同梱の「オペレーターガイド」を参照してください。

8.3 fi-486PRRE（ポストインプリンタ） について

fi-486PRRE はリア側に装着し、原稿を読み取った後に印刷をおこないます。

fi-486PRRE（ポストインプリンタ）の仕様を以下に示します。

項目	説明
印字方式	サーマルインクジェット
印字文字	アルファベット : A ~ Z, a ~ z 数 字 : 0, 1 ~ 9 記 号 : ! " \$ % & ' () + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { }
最大印字文字数	40
文字サイズ	縦 2.91mm × 横 2.82mm
文字ピッチ	約 3.53mm
印字領域	<p>印字領域を以下に示します。</p> <p>A ≥ 43mm B ≤ 100.5mm C ≥ 5mm D ≤ 140.5mm（40 桁時） E ≥ 5mm</p> 
消耗品	プリントカートリッジ（サプライ番号：0330610）

fi-486PRRE（リア側インプリンタ）の取り扱いおよび機能については、fi-486PRRE に同梱の「オペレーターガイド」を参照してください。

8.4 fi-486TRK（薄紙キット）について

fi-486TRK（薄紙キット）は標準の厚さより薄い原稿（31 g/m² ~ 52 g/m²）の給紙に効果的です。また紙粉の多い原稿に対しても良好な給紙性能を発揮します。原稿の厚さについては6.2 原稿の紙質を参照してください。

fi-486TRK（薄紙キット）の取り付けについては、4.3 パッドユニットの交換、4.4 ピックローラユニットの交換および4.5 ブレーキローラユニットの交換を参照してください。

fi-486TRK の構成は以下のとおりです。

品名	標準交換周期（目安）
発泡ピックアップユニット	300,000 枚または1年間
発泡ブレーキローラ	300,000 枚または1年間
標準パッド	300,000 枚または1年間



ヒント

fi-486TRK を装着した場合、写真や雑誌などのコーティングされた原稿の読み取りですべりが発生することがあります。

9 スキャナの仕様

この章では、スキャナの仕様について説明します。

9.1 装置基本仕様	258
9.2 設置諸元	260
9.3 外形寸法	262

9.1 装置基本仕様

1	スキャナタイプ		ADF（オートマチックドキュメントフィーダ）および手挿入	—
2	イメージセンサー		カラー CCD × 2	オモテ / ウラ
3	光源		白色蛍光灯 × 2	オモテ / ウラ
4	読み取り範囲	最小	74mm × 74mm	—
		最大	A3 または 11 × 17 インチ	—
5	原稿の厚さ		52g/m ² ~ 127g/m ²	(* 1)
6	読み取り速度 (A4 縦) (* 2)	モノクロ	片面 60 枚 / 分 両面 120 枚 / 分	200 dpi
		グレースケール	片面 60 枚 / 分 両面 120 枚 / 分	200 dpi
		カラー	片面 60 枚 / 分 両面 120 枚 / 分	150 dpi (* 3) 200 dpi
7	原稿搭載容量 (* 4)		500 枚	80 g/m ²
8	光学解像度		400 dpi	—
9	出力解像度	バイナリ	100, 150, 200, 240, 300, 400 dpi	—
		グレースケール	100, 150, 200, 240, 300, 400 dpi	—
		カラー	100, 150, 200, 300, 400 dpi	— (* 6)
10	読み取り階調		各色 8 ビット	内部 10 ビット
11	出力モード		ディザ / 誤差拡散	—
12	インターフェース (* 5)		Ultra Wide SCSI	シールド型 68 ピン (ピンタイプ) ハーフピッチ
13	その他の機能		JPEG 圧縮	—

- (* 1) 詳細は「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- (* 2) 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。
- (* 3) JPEG 圧縮時
- (* 4) 最大枚数は原稿の厚さによって変わります。「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- (* 5) 他の SCSI 機器との同一バスでの共用接続は避けてください。
速度低下の原因となります。
- (* 6) カラー 400dpi において（A3 および 11 × 17 インチ）の原稿サイズはサポートしていません。

9.2 設置諸元

項目		仕様		
外形寸法 (mm) (ホッパおよびスタッカーを格納した場合)		奥行き	幅	高さ
		431	520	523
設置スペース				
質量 (kg)		45		
入力電源	電圧範囲	AC100 ~ 240V ± 10 %		
	相	単相		
	周波数範囲	50/60 Hz + 2 % / - 4 %		
消費電力		200W 以下		

項目		仕様	
動作環境	装置状況	動作中	非使用時
	温度	15 ~ 35 °C	- 20 ~ 60 °C
	湿度	20 ~ 80 %	8 ~ 95 %
発熱量		172 kcal 以下	
出荷時重量 (kg)		50	
装置寿命		5 年または 720 万枚	



本装置の寿命は、お買い上げ後 5 年、またはご使用枚数 720 万枚のいずれか早い方となります。ご使用枚数については、インストラクションガイドの「1.3 操作パネルの基本操作」(6 ページ) を参照してください。

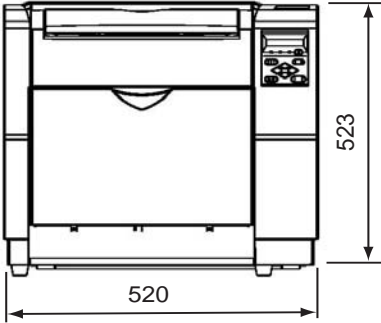
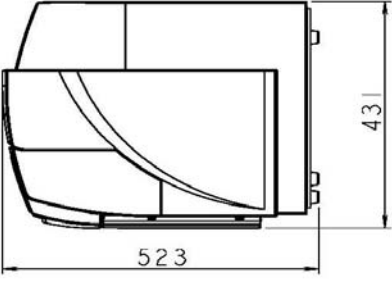
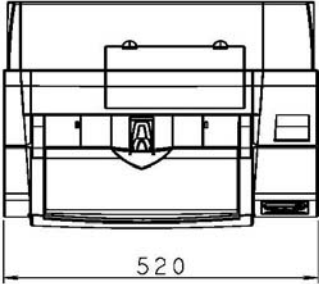


お客様の清掃、消耗品の交換周期、ご使用の原稿など、当社が推奨する条件を満たしていない場合は、装置寿命 720 万枚を下回る場合があります。



5 年または 720 万枚を超えてご使用された場合、装置の故障、または読み取り性能に支障が出ることがあります。

9.3 外形寸法



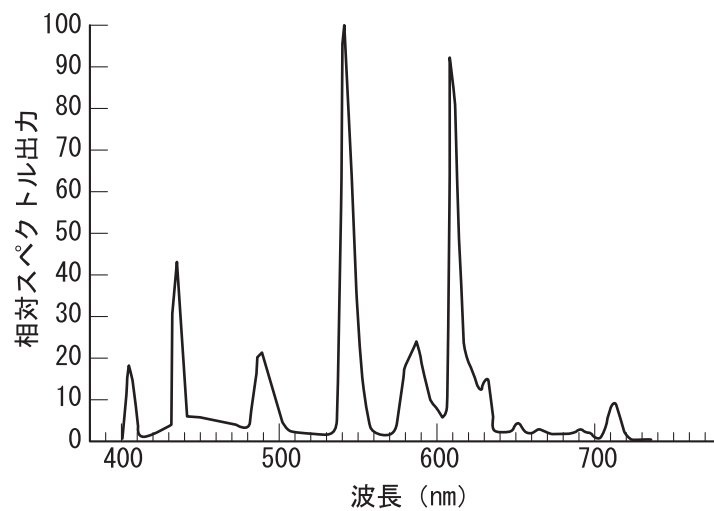
付録 1 ドロップアウトカラー

人間の目には見えてもスキャナでは読み取れないように工夫された印刷色をドロップアウトカラーと呼びます。

原稿の下地色がドロップアウトカラーかどうかを判定する場合には、次の方法および規格に準じてください。

■印字濃度の判定

印字濃度の判定に使用するスペクトルバンドは以下の図のものを使用します。



詳細は、販売代理店または PFU イメージング サービス & サポートセンターまでお問い合わせください。

付録2 ダブルフィード（マルチフィード）の検出条件

ダブルフィード（マルチフィード）の検出は原稿の重なり・厚さ、原稿の長さ、あるいはこれらの組み合わせでチェックします。検出を正しく行うためには以下の条件が必要です。

■原稿の厚さをチェックする場合

- ・原稿の厚さ：52 g/m² ~ 127 g/m²
- ・原稿の中心線を挟む 35mm の領域には穴あけをしてはいけません。

■原稿の厚さをチェックする場合

（ホッパにセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。）

- ・原稿の厚さ：52 g/m² ~ 127 g/m²
- ・印字率：12 %、またはそれ以下
- ・原稿先端部（15mm）には、黒い印刷部分があってははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・原稿の中心線を挟む 35mm の領域には穴あけをしてはいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが 10 %より小さくなくてははいけません。

■原稿の長さをチェックする場合

（ホッパにセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。）

- ・原稿の長さのばらつき：1 %、またはそれ以下
- ・印字率：12 %、またはそれ以下
- ・原稿先端部（15mm）には、黒い印刷部分があってははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・原稿の中心線を挟む 35mm の領域には穴あけをしてはいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが 10 %より小さくなくてははいけません。

■原稿の重なりと厚さの両方をチェックする場合

(ホッパにセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。)

- ・原稿の厚さ：52 g/m² ~ 127 g/m²
- ・印字率：12 %、またはそれ以下
- ・原稿先端部（15mm）には、黒い印刷部分があってははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・原稿の中心線を挟む 35mm の領域には穴あけをしてはいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが 10 %より小さくなくてははいけません。

■原稿の重なりと長さの両方をチェックする場合

(ホッパにセットして一度に読み取る原稿の厚さ、および長さは同じものを使用してください。)

- ・原稿の厚さ：52 g/m² ~ 127 g/m²
- ・原稿の長さのばらつき：1 %、またはそれ以下
- ・印字率：12 %、またはそれ以下
- ・原稿先端部（15mm）には、黒い印刷部分があってははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・原稿の中心線を挟む 35mm の領域には穴あけをしてはいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが 10 %より小さくなくてははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。

■原稿の厚さと長さの両方をチェックする場合

(ホッパにセットして一度に読み取る原稿の厚さ、および長さは同じものを使用してください。)

- ・原稿の厚さ：52 g/m² ~ 127 g/m²
- ・原稿の長さのばらつき：1 %、またはそれ以下
- ・印字率：12 %、またはそれ以下
- ・原稿先端部（15mm）には、黒い印刷部分があってははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・原稿の中心線を挟む 35mm の領域には穴あけをしてはいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが 10 %より小さくなくてははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。

■原稿の重なり・厚さと長さのすべてをチェックする場合

(ホッパにセットして一度に読み取る原稿の厚さ、および長さは同じものを使用してください。)

- ・原稿の厚さ：52 g/m² ~ 127 g/m²
- ・原稿の長さのばらつき：1 %、またはそれ以下
- ・印字率：12 %、またはそれ以下
- ・原稿先端部（15mm）には、黒い印刷部分があってははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・原稿の中心線を挟む 35mm の領域には穴あけをしてはいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。
- ・背景色の領域を透過する光の量は、ばらつきが 10 %より小さくなくてははいけません。
詳細は、「6章：原稿について」（157 ページ）を参照してください。



原稿や原稿の条件によってはダブルフィードの検出率が落ちる場合もあります。



原稿の重なりを検出する場合、密着した原稿（静電気による貼りつき）ではダブルフィード検出率が落ちる場合もあります。

付録3 操作パネルのメッセージ

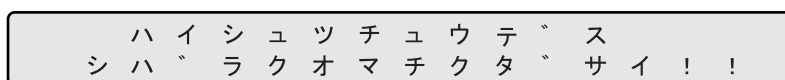
■ 通常時のメッセージ（Check LED が消灯）

< Not Ready 状態 >
(イニシャル中)

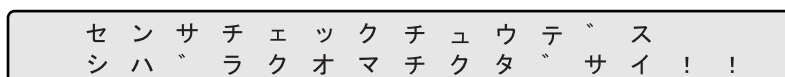
□は時間の経過とともに■にかわり、すべてが■になると以下の
チェック状態に移ります。



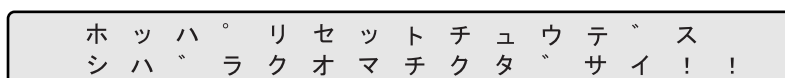
< Not Ready 状態 >
(原稿排出中)



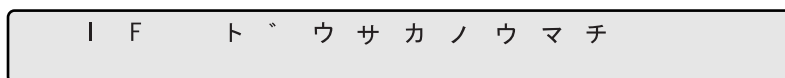
< Not Ready 状態 >
(センサーチェック)



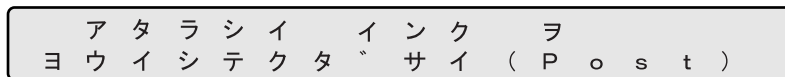
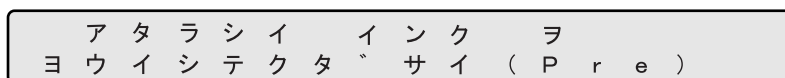
< Not Ready 状態 >
(ホッパリセット中)



< Not Ready 状態 >
(IF ボード初期化終了
待ち)



< プリントカート
リッジの準備 >
(電源投入時)



<読み取り中>

インクサ ` ンリョウ チュウイ
ヨミトリチュウ × × × ×



[× × × ×] は読み取り枚数カウンタ値になります。

<読み取り中>

ヨミトリチュウ × × × ×



[× × × ×] は読み取り枚数カウンタ値になります。

<省電力モード>

操作パネルの LCD の表示が消えて Power LED が点灯したままのときは、スキャナは省電力モードになっています。



以下の操作のうちひとつを行うとスキャナは省電力モードから復帰します。

- ・ 操作パネル（電源ボタン以外）のボタンを押す
- ・ ホッパに原稿をセットする
- ・ パソコンからコマンドを送信する

<ダブルフィード
発生状態>
(読み取り中)

ダブルフィード（またはマルチフィード）（厚さチェック）を検出し
ても継続して読み取りを行うように設定されている時にダブル
フィードが発生したら、以下のメッセージが表示されます。
読み取り終了後にレディ画面でダブルフィード検出状態が解除され
ると、それ以降は上段の表示が消えます。

タ ` フ ` ル フ ィ ー ト `
ヨ ミ ト リ チ ュ ウ x x x x



[x x x x] は読み取り枚数カウンタ値になります。

(待機中)

ダブルフィード（またはマルチフィード）（厚さでのチェック）が発
生している状態でスキャナが待機中の時は、以下のメッセージが表
示されます。

[Stop] ボタンを押すことでダブルフィード発生状態は解除できます。

なお、上段のダブルフィードの文字が点滅します。

タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` x x x x x
レ テ ` イ x x x x x x x



上段の [x x x x x] は読み取り枚数カウンタ値になります。
下段の [x x x x x x x x] は消耗品カウンタ値または寿命カウンタ
値になります。

■ エラーメッセージ（一時的な異常：Check LED が点滅）

<ホッパエンプティ> 読み取り中にホッパに原稿がなくなると、以下のメッセージが表示されます。ホッパに原稿を補給してください。
原稿をホッパに補給して再読み取りを行うと、読み取り動作は継続されます。
エラー表示を消すには [Stop] ボタンを押してください。

ヨウシナシ × × × × ×



Check LED は点滅しません。

(ダブルフィード状態)

タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` × × × × ×
ヨウシナシ



[× × × × ×] は読み取り枚数カウンタ値になります。

<原稿詰まり>

原稿詰まりを起こすと、以下のメッセージが表示されます。つまった原稿の取り除き方については、「5.1 原稿づまりが発生したときは」(128 ページ) を参照してください。

ヨウシツ ` マリ ×



[x] には、原稿づまりの種類によって「1」～「8」の値が表示されます。

< ADF カバー
オープン >

ADF 上シートガイドが完全に閉じられていないと、以下のメッセージが表示されます。ADF 上シートガイドを完全に閉じれば読み取りを行えるようになります。

A D F オ ー フ ° ン

< ダブルフィード
エラー >
(重なりチェック)

原稿の重なりチェックによるダブルフィードエラー（またはマルチフィードエラー）を検出すると、以下のメッセージが表示されます。

タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` エ ラ ー

(長さチェック)

原稿の長さチェックによるダブルフィードエラー（またはマルチフィードエラー）を検出すると、以下のメッセージが表示されます。

ヨ ウ シ ナ カ ` サ エ ラ ー

< ピックミス >

原稿がホッパから ADF に送り込まれなかった時、以下のメッセージが表示されます。

ヒ ° ッ ク ミ ス



Check LED は点滅しません。

< ピックオーバー
ラン >

原稿がホッパから ADF に送り込まれた時、本来あるべき位置よりも奥に入ってしまった場合に、以下のメッセージが表示されます。

ヒ ° ッ ク オ ー ハ ` ー ラ ン

<スキューエラー> 原稿が傾いた状態でホッパから ADF に送り込まれた時に、以下のメッセージが表示されます。

スキューチェック

<ホッパフルまたはピックユニット無し> 原稿がホッパにセットされた状態で、ピックアップユニットが完全に装着されていないか、ホッパにセットした原稿の量が多すぎた時、以下のメッセージが表示されます。

ホッパフル または
ピックアップユニット ナシ

<ピックアップユニット無し> 原稿がホッパにセットされていない状態で、ピックアップユニットが完全に装着されていない時、以下のメッセージが表示されます。

ピックアップユニット ナシ

<ピックアップユニットノットリリース> ピックローラユニットが上方に退避されたまま読み取りをおこなった時、以下のメッセージが表示されます。

ピックアップユニット ノットリリース

<ブレーキローラ無し> ブレーキローラユニットが完全に装着されていない時、以下のメッセージが表示されます。

ブレーキローラ ナシ

<分離ローラ磨耗> 分離ローラを回転させたときにブレーキローラが全く回転しなかった場合に、以下のメッセージが表示されます。

分離ローラ チェック

<消耗品チェック>

消耗品カウンタ値が、消耗品交換メッセージの通知設定値を超えた時、以下のメッセージが表示されます。

シ ョ ウ モ ウ ヒ ン チ ェ ッ ク

<プリントカートリッジ無し>

fi-486PRFR（プレインプリンタ）または fi-486PRRE（ポストインプリンタ）にプリントカートリッジが挿入されていない時、以下のメッセージが表示されます。

フ ° レ
イ ン ク カ ー ト リ ッ シ ッ ナ シ

ホ ° ス ト
イ ン ク カ ー ト リ ッ シ ッ ナ シ

■ アラームメッセージ（装置異常：Check LED が点灯）

スキャナに異常が起きると、以下のメッセージのどれかが表示されます。その場合は電源を切断してから、もう一度電源を投入してください。もし再び同じメッセージが表示された場合は販売代理店、またはイメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。

＜光学系異常
（表面）＞

表面側光学ユニットに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

コ ウ カ ` ク ケ イ イ シ ` ヨ ウ オ モ テ

＜光学系異常
（裏面）＞

裏面側光学ユニットに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

コ ウ カ ` ク ケ イ イ シ ` ヨ ウ ウ ラ

＜モーターヒューズ
アラーム＞
（搬送モーター）

各種モーター（搬送モーター、分離モーター、ピックモーター、ホッパモーター）のヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
ハ ン ソ ウ モ ー タ

（分離モーター）

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
フ ` ン リ モ ー タ

（ピックモーター）

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
ヒ ° ッ ク モ ー タ

（ホッパモーター）

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
ホ ッ ハ ° モ ー タ

<ランプヒューズ
アラーム
(表面) >

表面のランプのヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
オモテメンランプ。

<ランプヒューズ
アラーム
(裏面) >

裏面のランプのヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
ウラメンランプ。

<ウラアテ切替え
ヒューズアラーム
(表面) >

表面側のウラアテ切替えヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
ウラアテキリカエ : オモテメン

<ウラアテ切替え
ヒューズアラーム
(裏面) >

裏面側のウラアテ切替えヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
ウラアテキリカエ : ウラメン

<ウラアテ切替え
異常 (表面) >

表面側のウラアテの切替えができなくなった時、以下のメッセージが表示されます。

オモテメン
ウラアテキリカエエラー

<ウラアテ切替え
異常 (裏面) >

裏面側のウラアテの切替えができなくなった時、以下のメッセージが表示されます。

ウラメン
ウラアテキリカエエラー

<ホッパオーバー
ラン>

ホッパが止まるべき位置を超えて上昇または下降をした時、以下のメッセージが表示されます。

ホ ッ ハ ー オ ー ハ ー ラ ン

<センサー制御異常>

センサー制御部に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

セ ン サ セ イ キ ャ ャ イ シ ャ ャ ウ

<各種センサー汚れ
異常>

センサーの汚れが原因で異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

* * * * セ ン サ ャ コ ー レ エ ラ ー



[x x x x] には、センサーの名称 (SF0, SA4 等) が入ります。

<各種センサー
アラーム>

センサーに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

* * * * セ ン サ エ ラ ー



[x x x x] には、センサーの名称 (SF0, SA4 等) が入ります。

<温度異常>

装置内の温度が決められた温度より高くなった時、以下のメッセージが表示されます。

オ ン ト ー ア ラ ー ム

<電源異常>

電源に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

テ ` ン ケ ` ン イ シ ` ヨ ウ

<EEPROM 異常>

EEPROM に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

ア ト ` レ ス X X H
E E P R O M イ シ ` ヨ ウ



[x x] には、異常発生した番地が表示されます。

<VDDC リード/
ライトアラーム>

VDDC 領域のリード/ライトアクセスに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

V D C C 2 R / W エ ラ ー

(MDC タイムアウト)

M D C タ イ ム ア ウ ト

<ディザ、ガンマ
RAM リードライト
アラーム>

ディザおよびガンマ用 RAM へのリード/ライトアクセスに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

テ ` ィ サ ` / カ ` ン マ
R / W エ ラ ー

<テンポラリ RAM
リードライト
アラーム>

テンポラリ用 RAM へのリード/ライトアクセスに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

テ ン ホ ` ラ リ メ モ リ R / W エ ラ ー

< MDC ファーム
ダウンロード
アラーム>

MDC へのファームウェアのダウンロード中に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

M D C タ ッ ウ ン ロ ー ト ッ
エ ラ ー

<インプリンタ異常>

fi-486PRFR（プレインプリンタ）または fi-486PRRE（ポストインプリンタ）で異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

フ ° レ
インフ ° リンタ イシ ッ ヨ ウ

ホ ° ス ト
インフ ° リンタ イシ ッ ヨ ウ

<コマンドアラーム>

パソコンからのコマンドシーケンスにおいて異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

(MDC コマンド
タイムアウト 1)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 1

(MDC コマンド
タイムアウト 2)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 2

(SDC コマンド
シーケンス
アラーム)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 3

(MDC 異常応答)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 4

(SCSI 応答タイム
アウト)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 5

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスによりお客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

■ 定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

■ 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

■ センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

SENDバック修理サービス	持込基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中に代替機を貸出します。 （引取りと併用）

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承下さい。

キャンセル料	持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。
--------	---

■ オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間 = 1 時間まで）+ 部品費 + オプション料金 + 加算料金（技術料金。その他加算料金）
-------------	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	PFU イメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 消耗品の購入先

ピックアップなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279（お客様総合センター）

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

電話お問い合わせ受け付け時間：月～金／9：00～17：30（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

- 本製品の修理はお客様自身ではおこなわないでください。
- 本製品の保証条件については製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。保証書には所定事項をご記入の上大切に保管願います。
- 本製品の修理部品の最低供給期間は製品の製造打ち切り後5年間です。

索引

あ行

上搬送ユニット	65, 110
裏面ランプ	63, 104, 124
エラー	6
オプション	
fi-486PRFR	252, 253
fi-486PRRE	252, 254
オフラインセットアップモード	168
表面ランプ	63, 99, 119
オンラインセットアップモード	168

か行

外形寸法	260, 262
ガイドプレート	22, 66
重なるの検出	58
傾き補正 (原稿の)	59
ガラスシートガイド	63, 90
ガラス面	87
基本操作	
エラーの解除	6
原稿のセット	18, 21
原稿の読み取り	23
省電力モードからの復帰	5
スタッカーのセット	15
セットアップモードの入り方	10
操作パネルの使い方	6
テストモードの入り方	10
電源の切断	4
電源の投入	2
ホッパの上げ下げ	7
ホッパのセット	14
空白ページをスキップ	55
クリーナ F1	62
クリーナ F2	78, 62
クリーニングシート	62, 68
原稿	
穴をあけてはいけない領域	162
印字禁止領域	163
原稿サイズ	158
原稿の厚さ	159, 258

原稿の紙質	159
原稿の種類	159
事前の注意	159
ジョブ区切りシート	165
セットできる原稿の枚数	166
背景色の領域の制限	164
原稿詰まり	130
原稿の読み取り	23
原稿幅検出センサ	63, 93
原稿分離力の調整	131
交換	
裏面ランプ	124
表面ランプ	119
パッドユニット	110, 113
ピックアップユニット	114
ブレーキローラユニット	116
困ったときには	127

さ行

サービスセンター	154
サイドガイド	19, 22
サイドカバー	104
省電力モード	5
消耗品	108
カウンタ	9, 109
交換周期	108
交換メッセージ	9
番号	108
仕様 (装置基本仕様)	
イメージセンサー	258
インターフェース	258
原稿搭載容量	258
原稿の厚さ	258
光学解像度	258
光源	258
出力解像度	258
出力モード	258
スキャナタイプ	258
その他の機能	258
読み取り階調	258
読み取り速度	258

読み取り範囲	258
除電ブラシ	63, 83
スキャナドライバの設定	
FUJITSU ISIS	36
FUJITSU TWAIN32	30
スキャナドライバの使い方	27
スキャナの仕様	257
スタッカー	15, 16, 17
スタッカーエクステンション	17
ストップ	17
清掃	
裏面ランプ	104
表面ランプ	99
ガラスシートガイド	90
ガラス面	87
クリーニングシート	68
原稿幅検出センサ	93
除電ブラシ	83
センサー	93, 97, 95
パッド	65
搬送路	81
ピックアップローラ	70
ピンチローラ	79
フィードローラ	77
ブレーキローラ	73
ブンリローラ	70
リムーバブルシートガイド	87
清掃用具	
クリーナ F1	62
クリーナ F2	62
クリーニングシート	62
設置諸元	
外形寸法	260
重量	260
消費電力	260
設置スペース	260
装置寿命	261
動作環境	261
入力電源	260
発熱量	261
セットアップモード	10, 168

概要	168
画面遷移	170
詳細	182
設定内容	175
ボタン機能	170
センサー	93
操作パネル	6, 109
装置ラベル	156

た行

テストモード	10, 232
概要	232
画面遷移	234
詳細	238
設定内容	237
ボタン機能	233
手挿入	21
電源の切断	4
電源の投入	2
電源ボタン	3
ドロップアウトカラー	53

な行

日常のお手入れ	61
---------	----

は行

パッド	63, 65
パッドユニット	110, 113
搬送路	63, 81
ピックアップローラ	63, 70
ピックアップローラユニット	21, 114
ピンチローラ	63, 79
フィードローラ	63, 77
ブレーキローラ	63, 73
ブレーキローラユニット	116
ブンリローラ	63, 70
ホッパ	7, 14, 18
ホッパエクステンション	20
ホッパの上げ下げ	7

ま行

マグネットキャッチ21

や行

読み取り方法

PDF47

サイズの違う原稿46

ドロップアウトカラー53

読み取り枚数カウンタ109

ら行

ランプ

ランプソケット101, 105

ランプソケットカバー103

累計点灯時間126

リムーバブルシートガイド63, 87

A

ADF 上シートガイド65

ADF レバー65

Adobe Acrobat 7.047

F

fi-486PRFR253

fi-486PRRE254

FUJITSU ISIS スキャナドライバ33

FUJITSU TWAIN32 スキャナ
ドライバ27

L

LCD9

P

PDF47

S

ScandAll 2123, 26

SF0 センサ63

SF0 センサー95

SF1 センサ63

SF1 センサー95

SF1.5 センサ63, 97

SF2 センサ63

SF2 センサー97

T

TWAIN ドライバ25, 53

fi-4860C2 イメージスキャナ オペレーターガイド

P3PC-1692-02Z0

発行日 2006年12月

発行責任 株式会社 PFU

- ・本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております
- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります
- ・本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません
- ・本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規定をご覧ください
- ・本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後5年間です
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします